



当初設計

2026年度

新涯箕島線（橋梁下部）・8-1

福山市箕島町地内

道路改良工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=21.7m 場所打杭工 一式 橋脚躯体工 一式 護床工 一式 仮設工 一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路改良工事（新涯箕島線（橋梁下部）・8-1）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。
- ・受注者は、街路樹を植樹する近隣の地権者に街路樹を植樹する位置等の説明を行い、承諾を得ること。

第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第6節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第7節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第9節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

・鉄筋コンクリート（呼び強度30）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 施工箇所の制限

・本工事は重要港湾福山港内において、港湾管理者および海岸管理者（広島県東部建設事務所港湾課）の同意を得て実施する行為であるため、工事の施工に当たっては、事故防止及び海洋汚染防止に万全を期すと共に、港湾管理者及び海岸管理者の指示に従うこと。

第2節 関連する別途工事

- ・工事名：新涯ポンプ場ポンプ棟耐震化工事（福山市上下水道局施設部施設整備課発注）
- ・他工事の内容：ポンプ棟耐震補強工事

第3節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：福山市上下水道局施設部水づくり課
- ・協議内容：仮設盛土等撤去、護床工施工時の新涯ポンプ場の運用について（施工スケジュール・安全管理）
：工事期間中における新涯ポンプ場の出入口確保及び既設埋設（電気・通信）ケーブルの養生について
- ・協議先機関名：福山市建設局土木部農林整備課
- ・協議内容：仮設盛土等撤去、護床工及び護岸工施工時の唐樋排水機場の運用について（施工スケジュール・安全管理）
- ・協議先機関名：広島県警察本部福山東警察署
- ・協議内容：工事施工中の交通規制について
大型車通行禁止区域の通行許可について

第4節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第5節 水替・流入防止施設

- ・内容：汚濁防止フェンス（L=70.0m）の維持管理を行うこと。
（連続フロート）Φ300、カーテン#300 生地引張強度（N/3cm）2000以上3000未満
汚濁防止フェンスは2024年度工事で設置済であるが、今後も継続的に使用する。
本工事期間中、海洋汚染防止のため、維持管理を行うこと。
- ・期間：本工事着手から本工事竣工まで

第6節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第7節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日からの次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第8節 指定仮設

- ・内容：仮設工 土留・仮締切工
- ・理由：本工事は重要港湾福山港内に施工している仮設盛土上で仮締切を施工し、下部工（橋脚）を整備する。仮締切工については、施工中の既設海洋保全施設の安定を確保するため、施設管理者と協議の上、形状を決定しているため、上記工種は指定仮設とする。設計図書に定める方法により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

- ・内容：仮設工 工事用道路工（敷鉄板）
- ・理由：仮設盛土（工事用道路）の下部にある既設海洋保全施設を保護するため、施工中は敷鉄板を施設することを施設管理者との協議により決定しているため、上記工種は指定仮設とする。

第9節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあつては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第10節 建設発生土（搬出）（ストックヤード）

- ・当該工事により発生する建設発生土は、次の指定地に搬出（仮置き）するものとする。
- ・搬出場所：一文字町17番地の一文字緑地
- ・条件：当該工事により発生する建設発生土の仮置きのみを使用すること。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第11節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第12節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
 - ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
 - ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
 - ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
 - ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第13節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和7年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-08.05.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 02 河川・道路構造物工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁下部					Y1E05 レベル1
道路土工	1	式			Y1E0503 レベル2
掘削工	1	式			Y1E050301 レベル3
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】	1	式			Y1E05030101 レベル4
仮設盛土撤去 Cブロック 潮待ち補正係数 1.29	750	m3			V0001 00 単第0 -0001 表
大型土のう撤去		袋			Y1A01150111 レベル4 F=0.3
大型土のう撤去 Cブロック 設置作業半径_6mを超え20m以下 潮待ち補正係数 1.30	422	袋			S1050057 00 単第0 -0002 表
暗渠排水管撤去 【作業区分】		m			Y1A01140805 レベル4 F=0.45

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
高耐圧ポリエチレン管撤去 撤去 パイプ径1,200mm超1,800mm以下 潮待ち補正	40	m			SPK25040101 00 単第0 -0003 表
運搬処理工	1	式			Y1A011416 レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1A01141601 レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離27.5km以下(23.5km超)	1.48	t			SPK25040411 00 単第0 -0004 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離4.0km以下(2.0km超)	0.25	t			SPK25040411 00 単第0 -0005 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離14.0km以下(11.5km超)	12	t			SPK25040411 00 単第0 -0006 表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t積2.9t吊	13.7	t			SPK25040412 00 単第0 -0007 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1A01141602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
廃プラスチック処理費 大型土のう袋 3.5kg/袋	1.48	t			F000000021 00
廃プラスチック処理費 砂防シート 不織布(長繊維化繊系) 質量0.5kg/m2	0.25	t			F000000022 00
廃プラスチック処理費 高耐圧ポリエチレン管 0.3t/m	12	t			F000000023 00
残土処理工	1	式			Y1E050310 レベル3
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05031002 レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	750	m3			SPK25040002 00 単第0 -0008 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)	350	m3			SPK25040002 00 単第0 -0009 表
残土等処分		m3			Y1E05031003 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土受入費 岩塊玉石混じり土	750	m3			T90031 00
発生土受入費 砂質土等	350	m3			T9003 00
RC橋脚工	1	式			Y1E0506 レベル2
作業土工	1	式			Y1E050601 レベル3
床掘り 【土質】		m3			Y1E05060102レベル4
床掘り 土砂 標準 切梁腹起式 障害無し	180	m3			SPK25040015 00 単第0 -0010 表
床掘り 土砂 標準 切梁腹起式 障害有り	420	m3			SPK25040015 00 単第0 -0011 表
床掘り 土砂 掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式 障害有り	190	m3			SPK25040015 00 単第0 -0012 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E05060103レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 最大埋戻幅4m以上	410	m3			SPK25040020 00 単第0 -0013 表
基面整正		m2			Y1E05060104レベル4
基面整正	72	m2			SPK25040017 00 単第0 -0014 表
積込(ルーズ) 【土質,作業内容】		m3			Y1E05060107レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	460	m3			SPK25040007 00 単第0 -0015 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05060111レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離1.5km以下(1.0km超)	460	m3			SPK25040002 00 単第0 -0016 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離1.5km以下(1.0km超)	460	m3			SPK25040002 00 単第0 -0016 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	320	m3			SPK25040002 00 単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	10	m3			SPK25040002 00 単第0 -0008 表
残土等処分		m3			Y1E05031003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費 粘性土	320	m3			T9004 00
発生土受入費 岩塊玉石混じり土	10	m3			T90031 00
場所打杭工	1	式			Y1E050604 レベル3
場所打杭 【杭径,杭長(設計長)】		本			Y1E05060401レベル4
基礎杭工 杭1本当り掘削長 13.8m 設計杭径 2,000mm	4	本			S1030033 00 単第0 -0017 表
杭頭処理工	4	本			S0385 00 単第0 -0021 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD345_D35 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上	12.83	t			SS000099 00 単第0 -0022 表
鉄筋工 SD345_D16 ~ D25 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上	5.29	t			SS000099 00 単第0 -0023 表
鉄筋工 SD345_D13 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上	0.12	t			SS000099 00 単第0 -0024 表
積込(ルーズ) 【土質】		m3			Y1E05060402レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	50	m3			SPK25040007 00 単第0 -0015 表
積込(ルーズ) 破碎岩 土量50,000m3未満	50	m3			SPK25040007 00 単第0 -0025 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E05060103レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	70	m3			SPK25040020 00 単第0 -0026 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05060405レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)	50	m3			SPK25040002 00 単第0 -0009 表
土砂等運搬 標準 硬岩 DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	50	m3			SPK25040002 00 単第0 -0027 表
残土等処分 【土質】		m3			Y1E05060406レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費 砂質土等	50	m3			T9003 00
発生土受入費 硬岩	50	m3			T90041 00
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1E05060407レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	12	m3			SPK25040155 00 単第0 -0028 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1E05060408レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	29	t			#0041 T9005 00
橋脚躯体工	1	式			Y1E050609 レベル3
T型橋脚 【高さ区分,打設量化粧型枠の有無】		m3			Y1E05060801 レベル4
T形橋脚 100m3以上300m3未満 (H5m以上10m未満) 生コンクリート(各種)	240	m3			S3070 00 単第0 -0029 表
円筒型枠 呼び径150mm 管厚0.4mm	44	m			F0000000003 00
鉄筋 【鉄筋材料規格・径】		t			Y1E05060904 レベル4
鉄筋工 SD345_D35 一般構造物 [規]10t以上	10.66	t			SS000099 00 単第0 -0031 表
鉄筋工 SD345_D29 ~ D32 一般構造物 [規]10t以上	2.23	t			SS000099 00 単第0 -0032 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD345_D22 エポキシ樹脂塗装 一般構造物 [規] 10t以上	6.56	t			V0002 00 単第0 -0033 表
鉄筋工 SD345_D19 エポキシ樹脂塗装 一般構造物 [規] 10t以上	2.48	t			V0003 00 単第0 -0035 表
鉄筋工 SD345_D16 エポキシ樹脂塗装 一般構造物 [規] 10t以上	2.15	t			V0004 00 単第0 -0036 表
護床工	1	式			Y1E0508 レベル2
布製型枠復旧工	1	式			Y1E050803 レベル3
布製型枠復旧		m			Y1E05080301 レベル4
布製型枠工 全面水中施工 標準型(水抜部無し)・平均厚100mm	245	m2			V0005 00 単第0 -0037 表
仮設工	1	式			Y1E0512 レベル2
工事用道路工	1	式			Y1E051201 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
敷鉄板 【鋼材規格,作業区分】		m2			Y1E05120104 レベル4
敷鉄板設置		m2			S1050041 00
	158	m2			単第0 -0042 表
敷鉄板撤去		m2			S1050043 00
	158	m2			単第0 -0044 表
敷鉄板賃料 22 × 1524 × 3048, 802kg/枚 賃貸期間138日		枚			S1050029 00
	34	枚			単第0 -0045 表
土留・仮締切工		式			Y1E051204 レベル3
	1	式			
鋼矢板 【鋼矢板型式,平均鋼矢板長さ】 【鋼矢板打込長,平均鋼矢板引抜長】		枚			Y1E05120402 レベル4
鋼矢板圧入 (50 < Nmax 600) 250 < Nmax 375 4型 圧入長(m)_15以下(12超)		枚			V0008 00
	108	枚			単第0 -0046 表
鋼矢板継足し溶接工 型 L = 14.5+1.5 = 16.0m		箇所			V0006 00
	14	箇所			単第0 -0050 表
鋼矢板引抜き 陸上施工 4型 引抜長(m)_15以下(12超)		枚			S0454 00
	108	枚			単第0 -0053 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ガス切断 鋼矢板	14	箇所			S0180 00 単第0 -0055 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入 (180<Nmax 600) IV型	1	回			S0458 00 単第0 -0056 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 引抜き IV型	1	回			S0458 00 単第0 -0057 表
鋼矢板4型賃料 1回使用 供用日数148日	114.8	t			S0850 00 単第0 -0058 表
異形加工鋼矢板 L=14.500 開先加工費・異形矢板加工費含む	2	枚			F000000009 00
鋼矢板4型買取	1.6	t			F000000010 00
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ(鋼矢板) 鉄屑(ヘビーHS)	2.1	t			F000000011 00
現場発生品運搬		回			Y1101060621レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離2.0km以下	2.1	t			SPK25040411 00 単第0 -0059 表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t積2.9t吊	2.1	t			SPK25040412 00 単第0 -0007 表
切梁・腹起し		t			Y1E05120414 レベル4
切梁・腹起し設置,撤去 設置	50.6	t			SHD10019 00 単第0 -0060 表
切梁・腹起し設置,撤去 撤去	50.6	t			SHD10019 00 単第0 -0061 表
山留材質料 H-500 300kg/m 供用日数148日	36.6	t			V0007 00 単第0 -0062 表
山留材質料 H-300 100kg/m 供用日数148日	3.6	t			SHD10013 00 単第0 -0063 表
水替工	1	式			Y1E051206 レベル3
ポンプ排水 【排水量,排水方法】		日			Y1E05120601 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ運転 排水量_0以上120未満(m3/h) 全揚程_10m 作業時排水	29	日			S1050053 00 単第0 -0064 表
ポンプ設置・撤去	1	箇所			SHD10037 00 単第0 -0067 表
交通管理工	1	式			Y1E051221 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1E05122101 レベル4
交通誘導警備員B	138	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
建設機械運搬費					YZZ04001001レベル4
		台			
建設機械の貨物自動車等による運搬 油圧式杭圧入引抜機(硬質地盤専用) 片道運搬距離 42km 往復運搬	1	回			S1000013 00 単第0 -0069 表
重建設機械分解組立輸送費					YZZ04001003レベル4
		回			
重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系 35t吊超え80t吊以下	1	回			S1000017 00 単第0 -0072 表
重建設機械分解組立輸送 オールケーシング掘削機(クローラ式)	1	回			S1000017 00 単第0 -0073 表
仮設材運搬費					YZZ04001004レベル4
		t			
仮設材等(敷鉄板)運搬 運搬距離 6km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0074 表
仮設材等(鋼矢板 型)運搬 運搬距離 75km 往路 製品長 12m超～15m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0077 表
仮設材等(鋼矢板 型)運搬 運搬距離 75km 復路 製品長 12m超～15m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0080 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材等(異形加工鋼矢板)運搬 運搬距離 242km 往路 製品長 12m超 ~ 15m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0083 表
仮設材等(山留材 H-500)運搬 運搬距離 198km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0086 表
仮設材等(山留材 H-300)運搬 運搬距離 6km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0089 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					

本工事費 内訳表

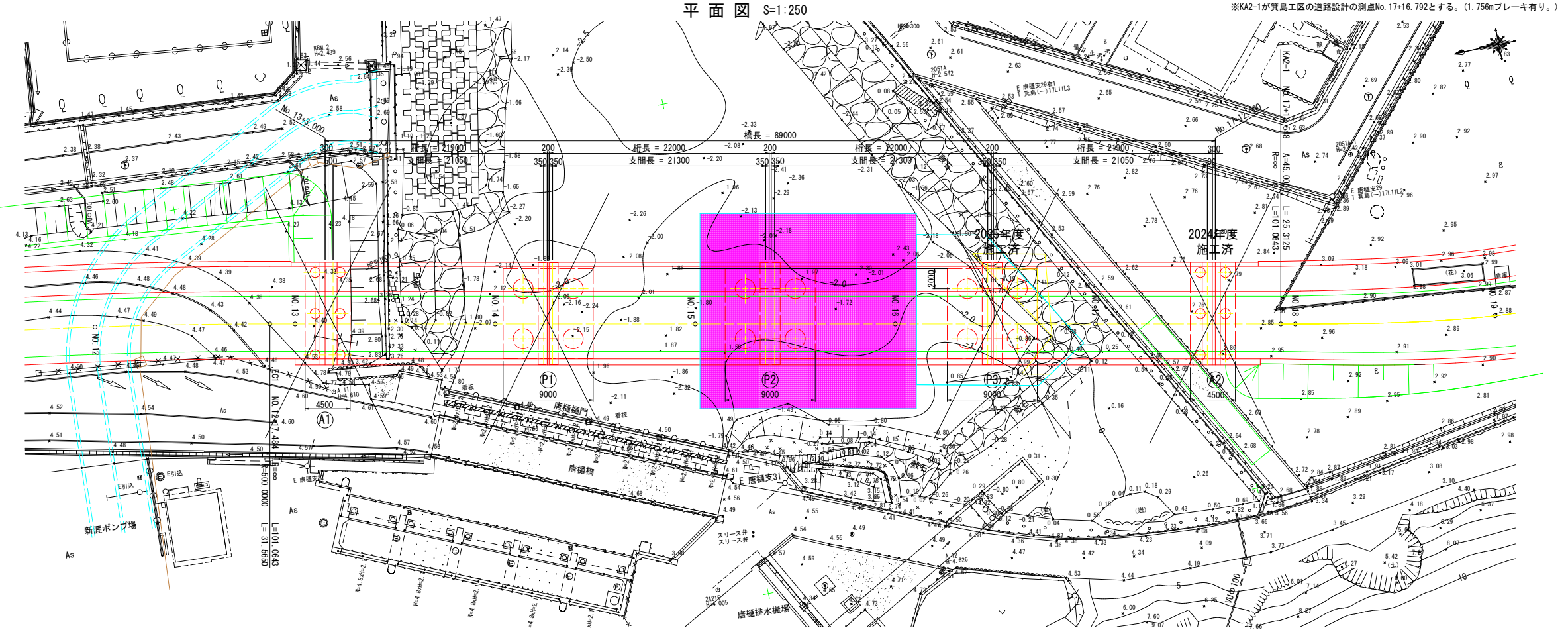
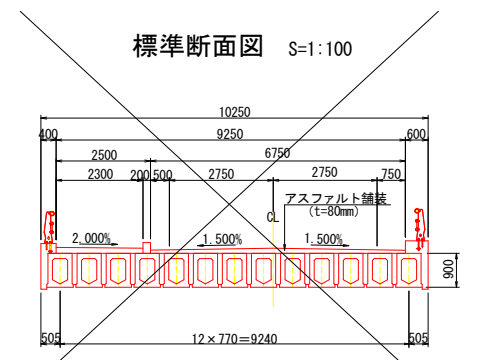
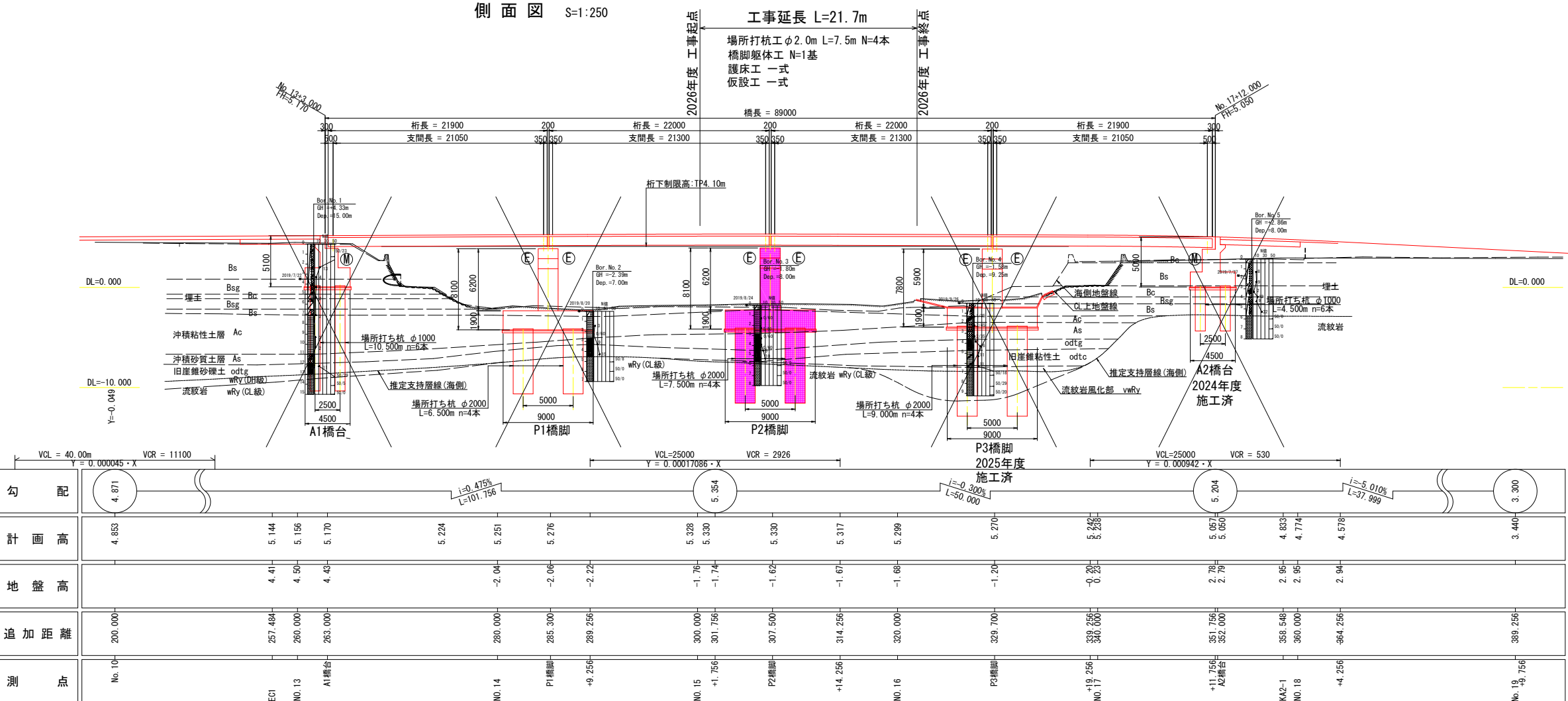
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

図面番号	1 / 17	縮尺	S=1:10,000
工種	道路改良工事		
種別	位置図	番	号
路線名	新涯箕島線 (橋梁下部) ・ 8 - 1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
福山市			



橋梁一般図

側面図 S=1:250



設計条件	
橋名	(仮称)新唐橋
路線名	市道新運箕島線
道路規格	第3種 第4級
橋長	89,000m
支間長	21,050m+21,300m+21,300m+21,050m
幅員	有効幅員 2,500+0,500+2,750+2,750+0,750=9,250m 全幅員 0,400+9,250+0,600=10,250m
設計速度	V=30 km/h
横断勾配	車道: 1.500%, 歩道: 2.000%
縦断勾配	0.475%~0.300%~-5.010%
斜角	90°00'00"
設計荷重	A活荷重
橋の重要度区分	A種の橋
上部工	プレテンション方式4径間連続ホロー桁橋
橋台	逆T式橋台
橋脚	張出し式橋脚
基礎工	杭基礎
適用方書	道路橋示方書-同解説1~V (平成29年11月)

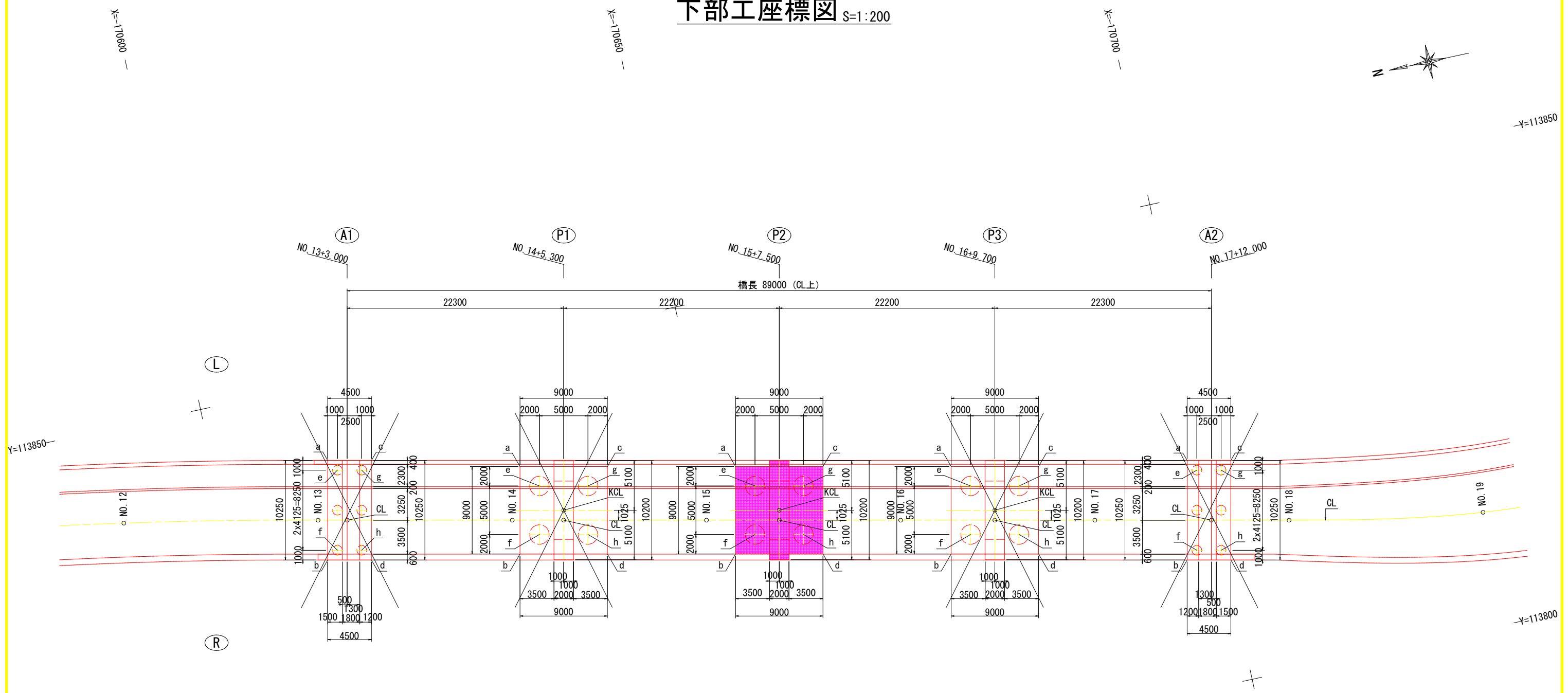
福山港潮位表			
潮位種別		C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高潮面	4.96	3.00
H.H.W.L	最高高潮面	4.20	2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87	1.91
M.S.L	平均水面	2.10	0.14
T.M.S.L(旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96	0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01	-0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18	-1.78
C.D.L	最低水面	0.00	-1.96

※T.M.S.L(旧称:T.P)で図示している。

令和8年度
国補
※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2026年(令和8年)5月

図面番号	2 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	橋梁一般図	番号	1 / 1
路線名	新運箕島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

下部工座標図 S=1:200



A1橋台座標値

	X座標	Y座標
CL	-170612.3554	113835.6736
a	-170611.6972	113842.1070
b	-170609.5357	113832.0875
c	-170616.0960	113841.1581
d	-170613.9345	113831.1386
e	-170612.4639	113840.9186
f	-170610.7241	113832.8542
g	-170614.9076	113840.3915
h	-170613.1679	113832.3270

P1橋脚座標値

	X座標	Y座標
CL	-170634.1539	113830.9710
KCL	-170634.3700	113831.9730
a	-170630.9202	113837.3207
b	-170629.0223	113828.5231
c	-170639.7178	113835.4228
d	-170637.8199	113826.6252
e	-170632.4534	113834.9439
f	-170631.3991	113830.0564
g	-170637.3410	113833.8895
h	-170636.2866	113829.0020

P2橋脚座標値

	X座標	Y座標
CL	-170655.8547	113826.2895
KCL	-170656.0708	113827.2915
a	-170652.6210	113832.6392
b	-170650.7231	113823.8416
c	-170661.4186	113830.7413
d	-170659.5207	113821.9437
e	-170654.1542	113830.2625
f	-170653.0998	113825.3749
g	-170659.0418	113829.2081
h	-170657.9874	113824.3205

P3橋脚座標値

	X座標	Y座標
CL	-170677.5554	113821.6081
KCL	-170677.7716	113822.6100
a	-170674.3217	113827.9578
b	-170672.4238	113819.1601
c	-170683.1193	113826.0599
d	-170681.2214	113817.2622
e	-170675.8550	113825.5810
f	-170674.8006	113820.6934
g	-170680.7426	113824.5266
h	-170679.6882	113819.6390

A2橋台座標値

	X座標	Y座標
CL	-170699.3540	113816.9055
a	-170698.2071	113823.4444
b	-170696.0456	113813.4249
c	-170702.6058	113822.4954
d	-170700.4444	113812.4759
e	-170699.9737	113822.2560
f	-170697.2340	113814.1915
g	-170701.4175	113821.7288
h	-170699.6778	113813.6643

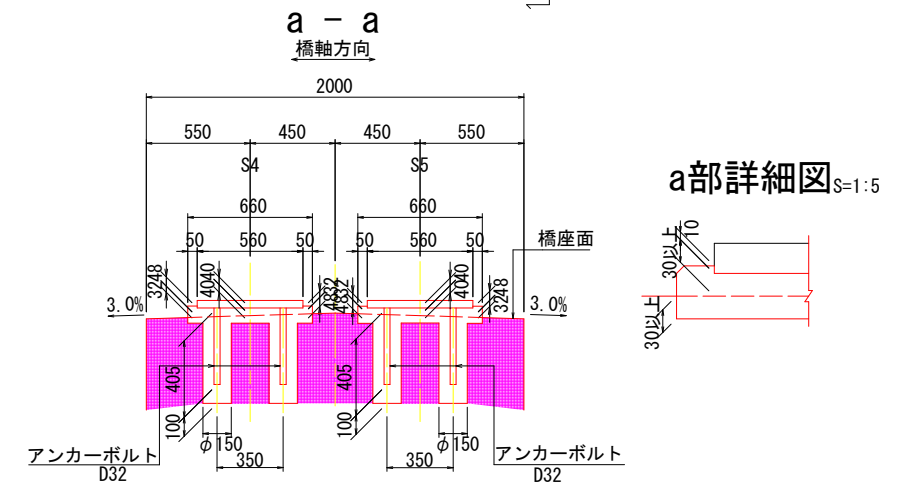
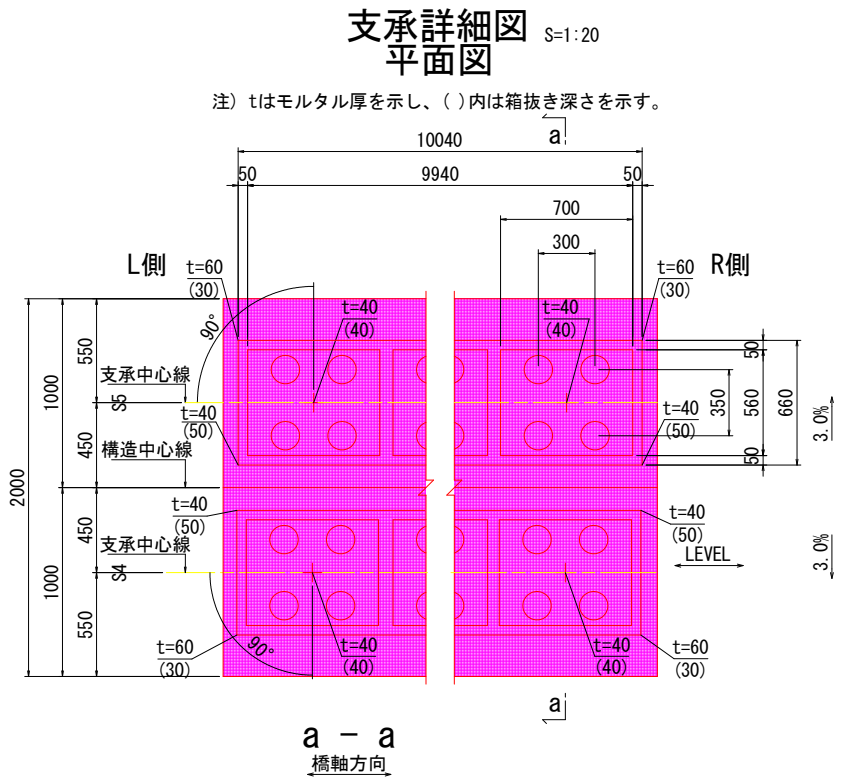
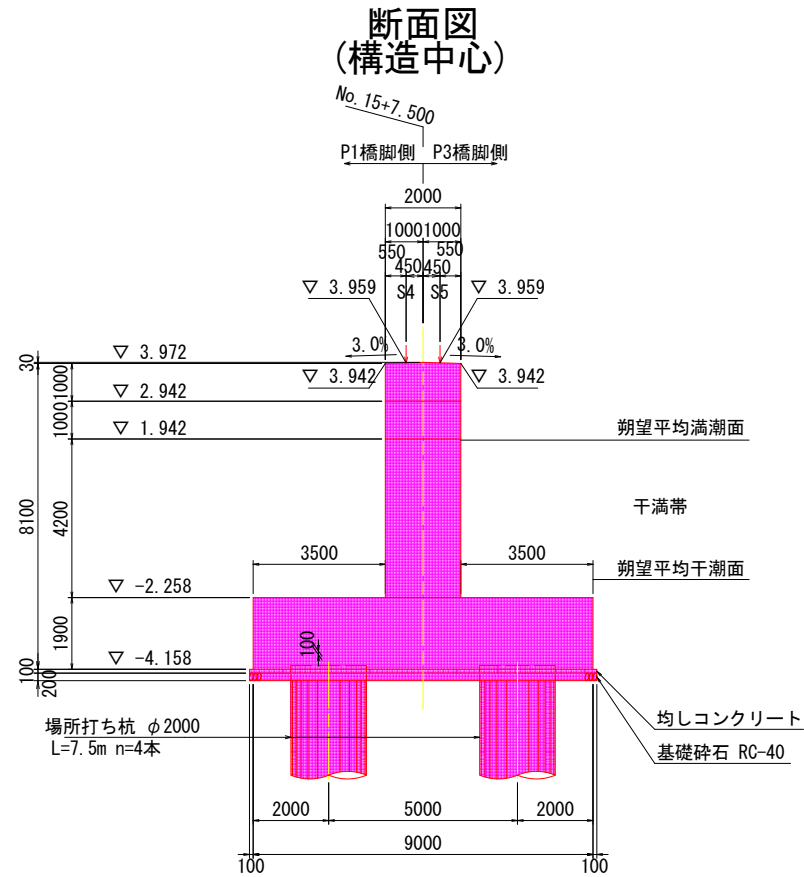
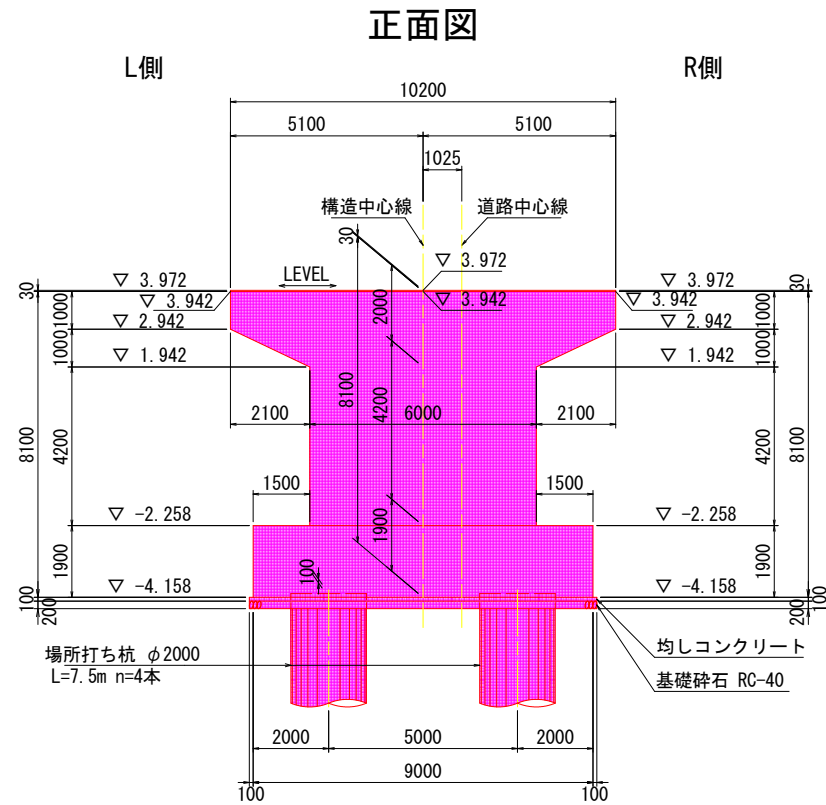


※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2026年(令和8年)5月

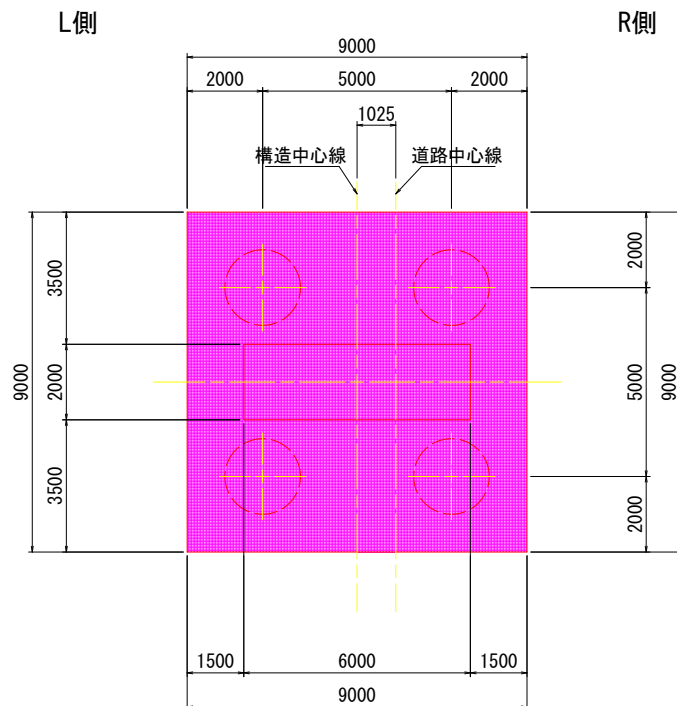
図面番号	3 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	下部工座標図	番号	1 / 1
路線名	新湊箕島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P2橋脚構造一般図 S=1:100

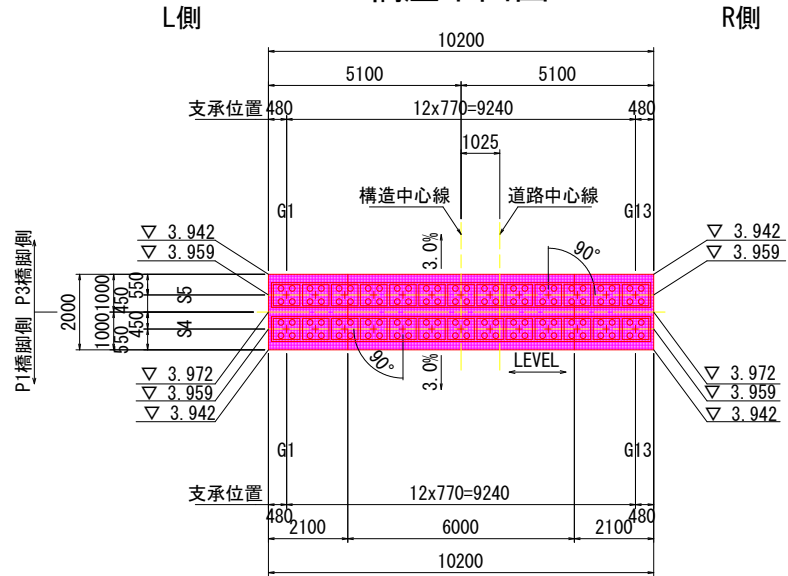
(E)



底板平面図



橋座平面図



下部工計画高表

(単位:m)

	P2橋脚(S4)			P2橋脚(S5)		
	G1	CL	G13	G1	CL	G13
計画高	5.3792	5.3301	5.5276	5.3784	5.3293	5.5268
舗装厚	0.1819	0.1327	*0.3302	0.1816	0.1325	*0.3300
桁天端高	5.197	5.197	5.197	5.197	5.197	5.197
主桁高	0.900	0.900	0.900	0.900	0.900	0.900
レアー厚	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010
支承厚	0.288	0.288	0.288	0.288	0.288	0.288
モルタル厚	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040
橋座高	3.959	3.959	3.959	3.959	3.959	3.959
支承線方向勾配	LEVEL			LEVEL		

注1) *印の舗装厚(t)は、地覆高を含んだ厚さを示す。
 注2) G13の計画高(Z1)、舗装厚(t)は、地覆天端勾配を考慮しない値とする。

下部工設計条件

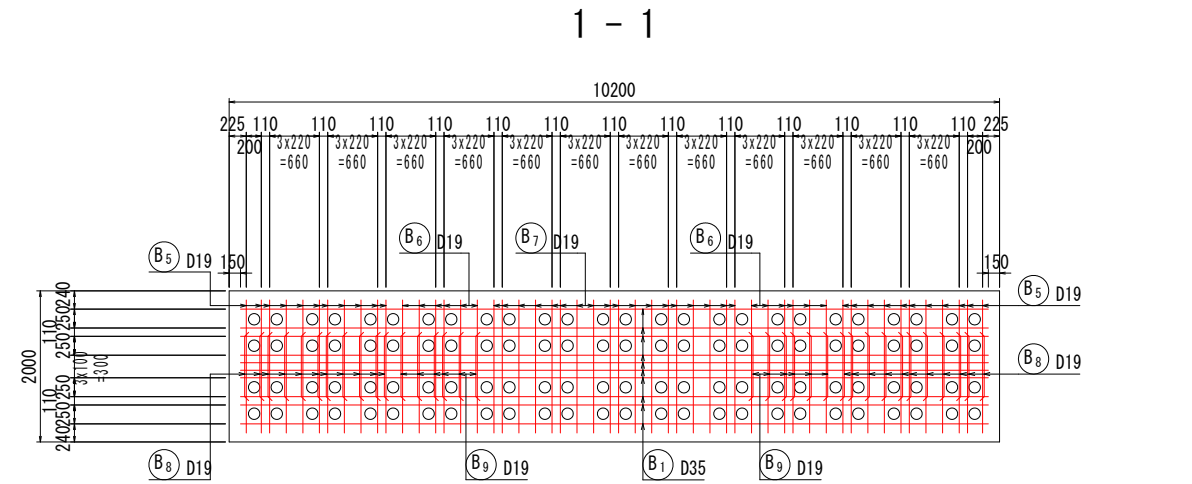
名称	仕様
上部工形式	プレテンション方式PC4径間連続ホロー桁橋
下部工形式	張出式橋脚
支承条件	分散支承
下部工設計基準強度	30 N/mm ² -20(25)-12
下部工鉄筋種別	SD 345
鉄筋定尺長	30φ
鉄筋最大尺長	12m
基礎工形式	場所打ち杭 φ2000
基礎工設計基準強度	30 N/mm ² -20(25)-18
基礎工鉄筋種別	SD 345
基礎工定尺長	杭頭 : 30φ+10φ 杭体内 : 45φ
塩害対策区分	塩害対策区分 S区分

令和8年度
国補

※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2026年(令和8年)5月

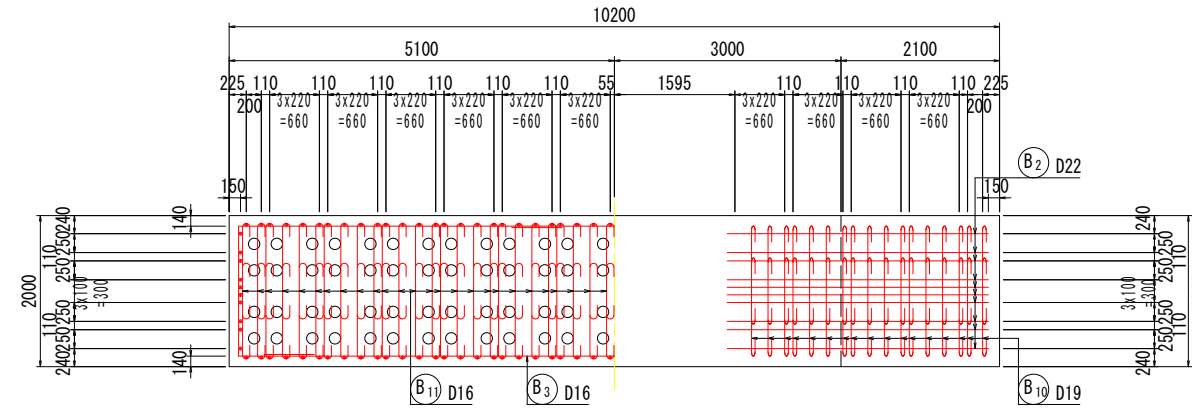
図面番号	4 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P2橋脚構造一般図	番号	1 / 1
路線名	新渥箕島線 (橋梁下部) ・ 8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P2橋脚配筋図(その1) S=1:50



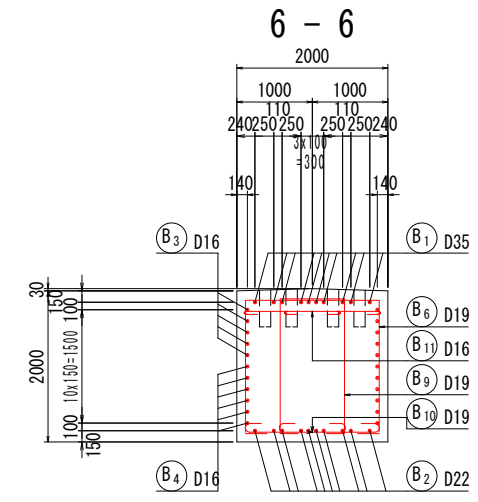
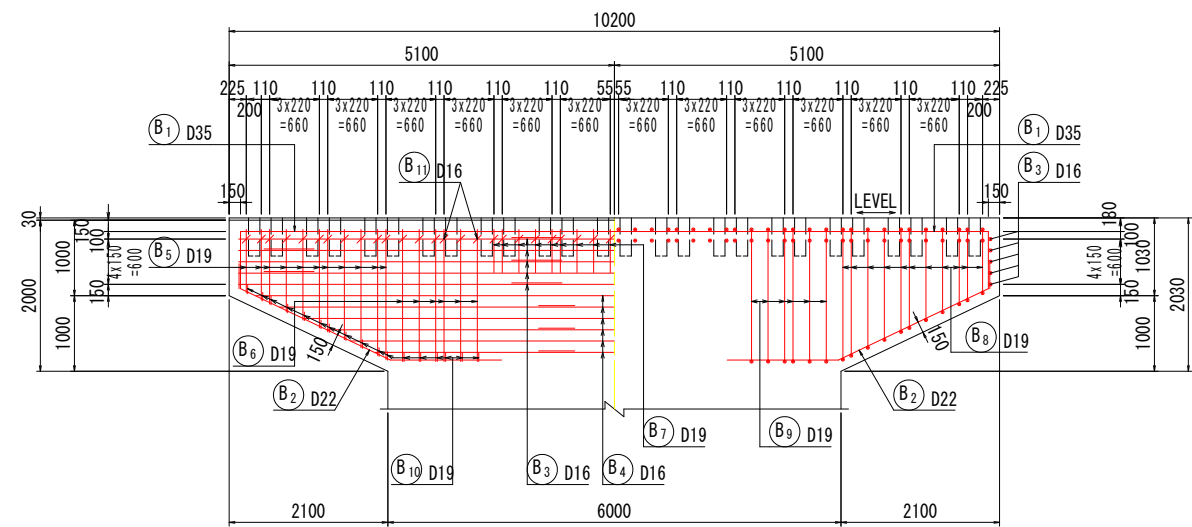
2 - 2

3 - 3

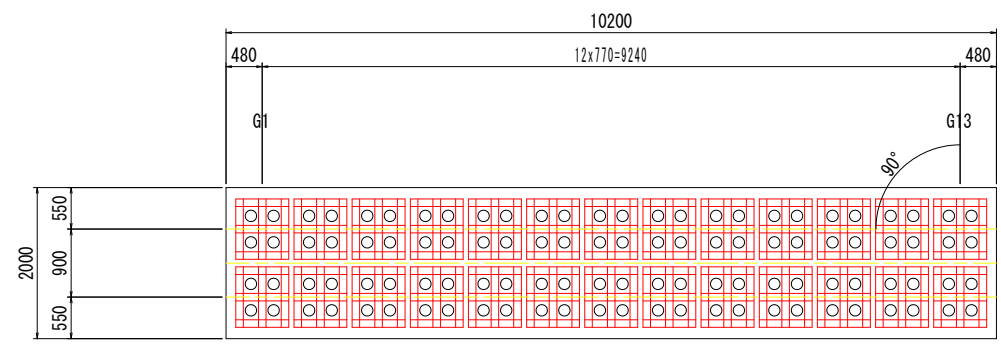


4 - 4

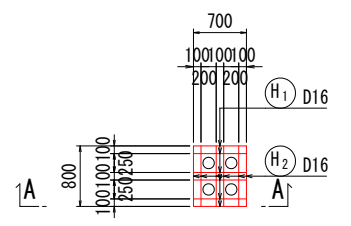
5 - 5



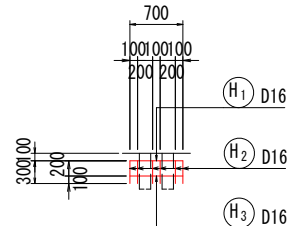
沓座補強鉄筋平面図



沓座補強筋詳細図

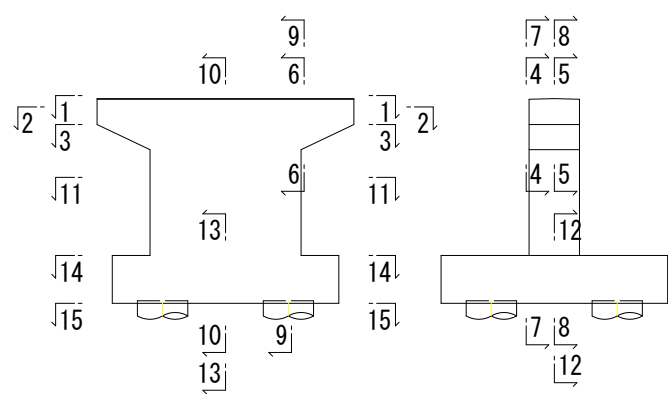


A - A

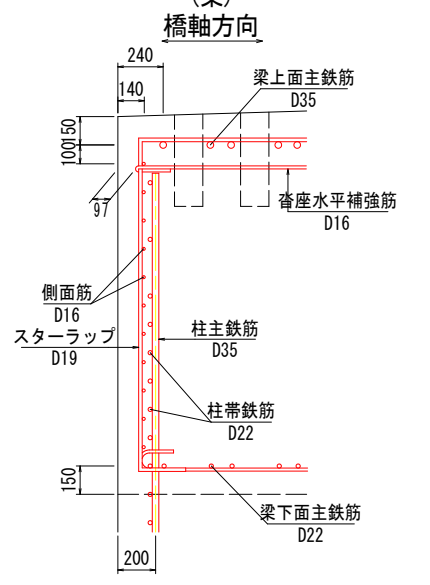


注) 純かぶり90mmを確保できるように鉄筋を配置すること。

位置図



かぶり詳細図 S=1:20



下部工設計条件

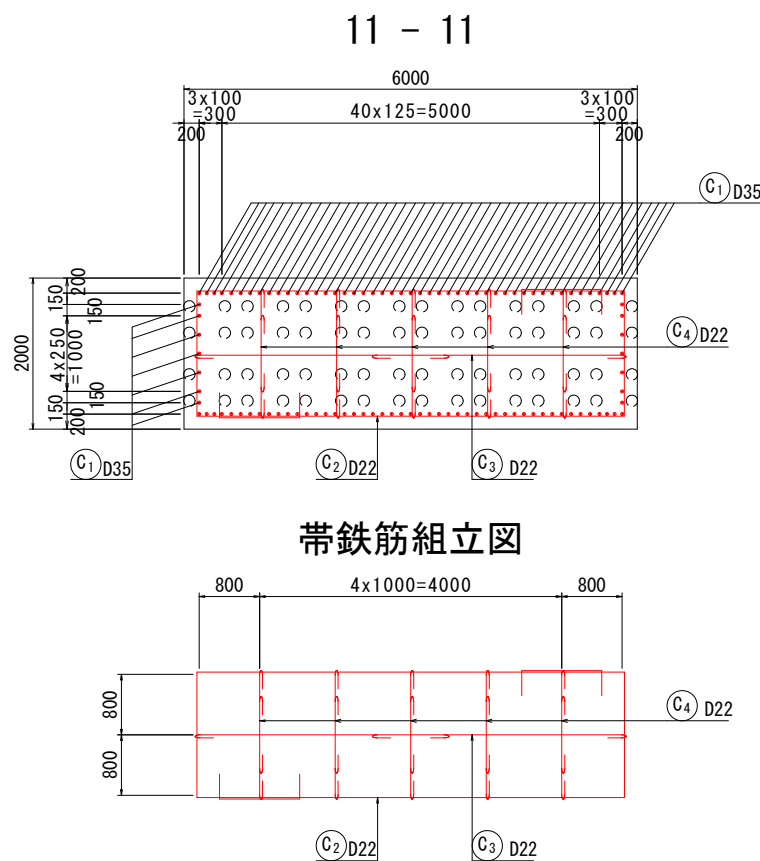
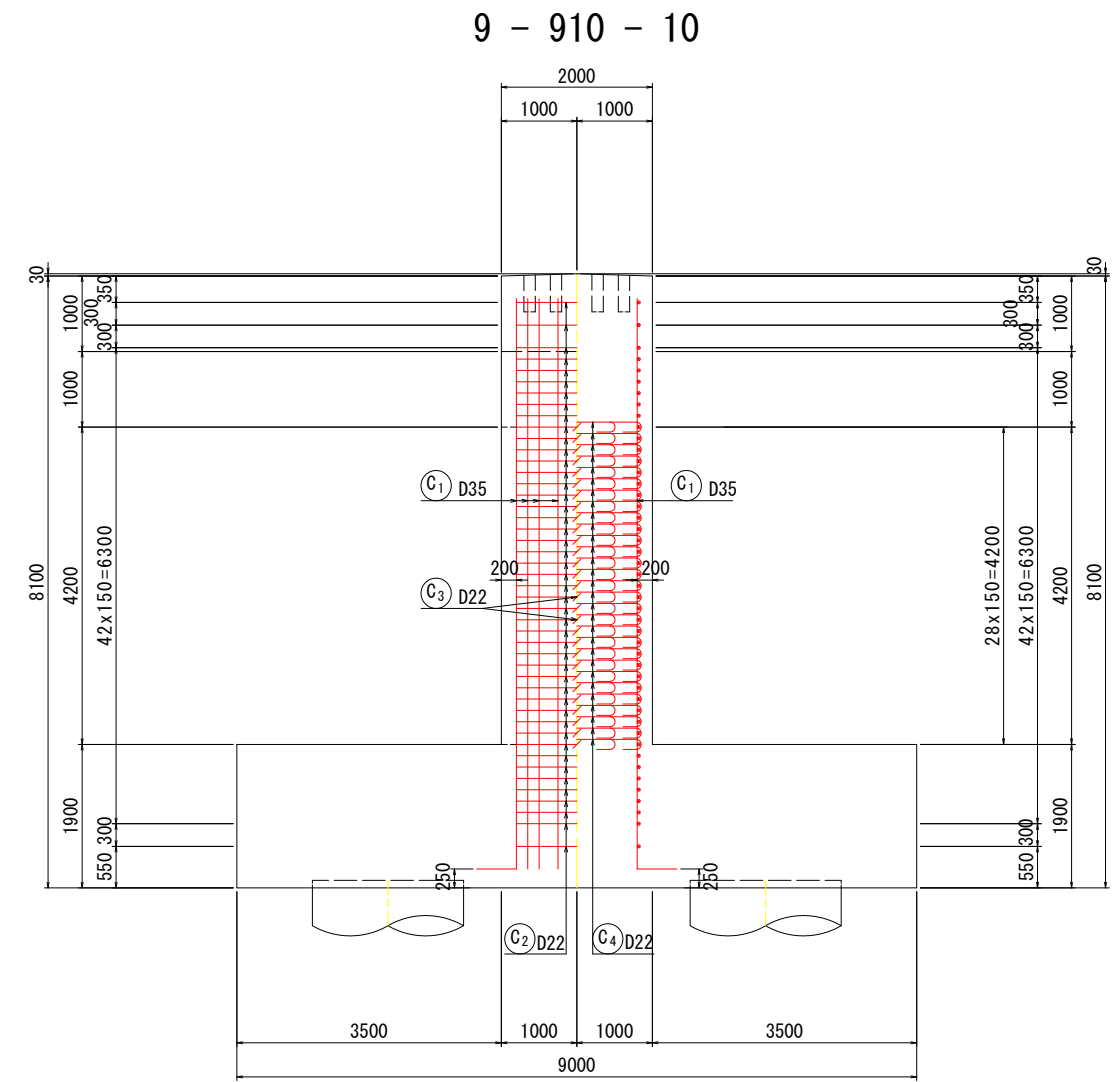
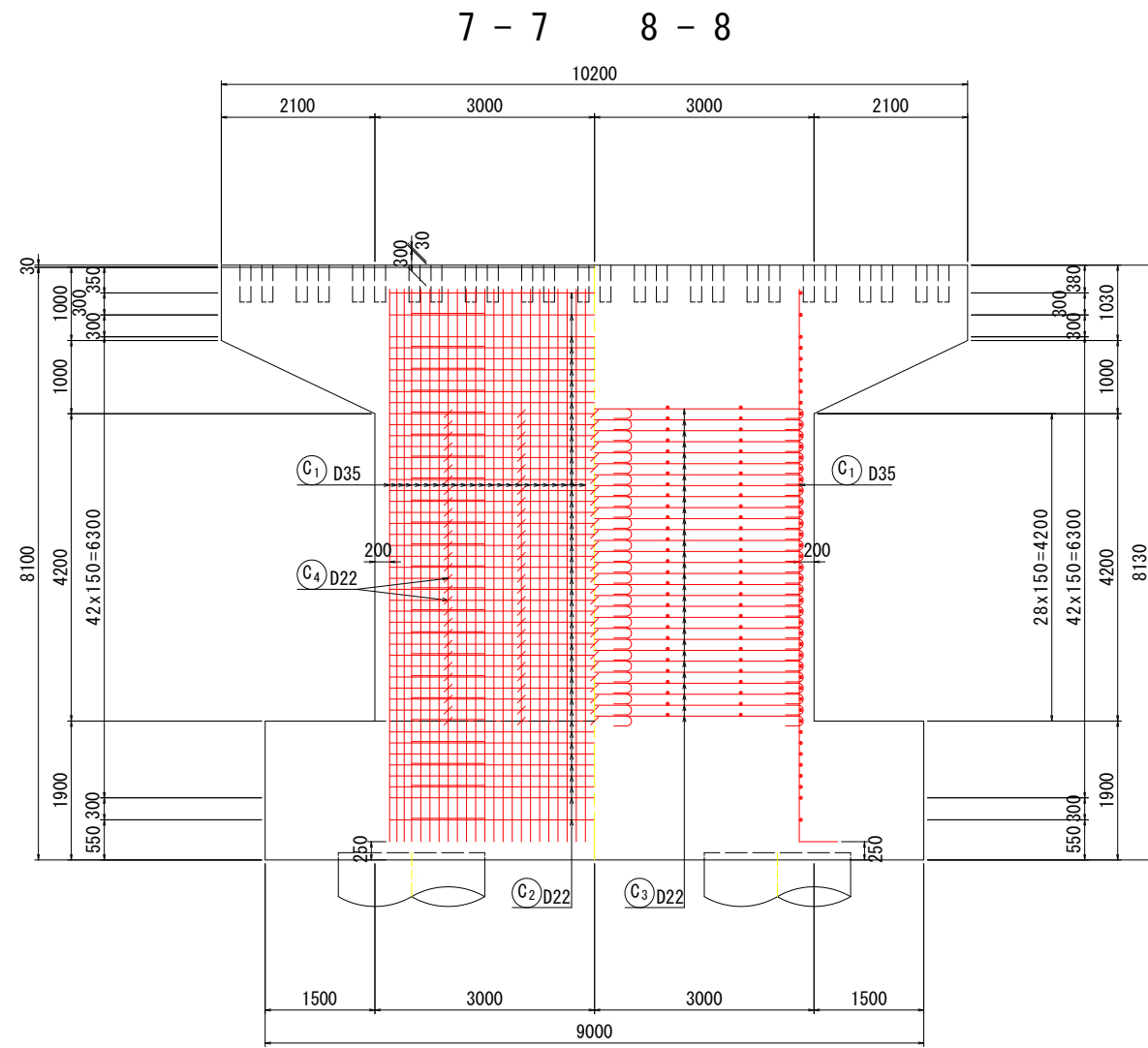
名称	仕様
下部工設計基準強度	30 N/mm ²
下部工鉄筋種別	SD 345
鉄筋定着長	30φ
鉄筋最大定尺長	12m
塩害対策区分	塩害対策区分 S区分

※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2026年(令和8年)5月

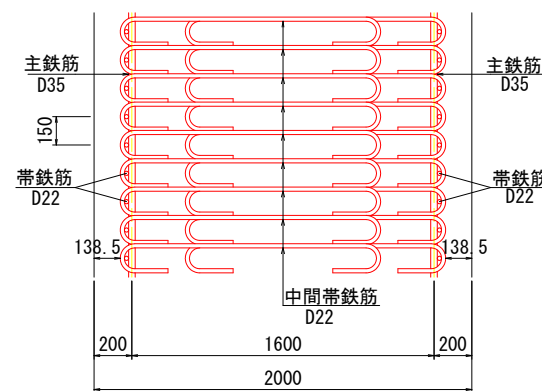
図面番号	5 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P2橋脚配筋図(その1)	番号	1 / 4
路線名	新渥美島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		



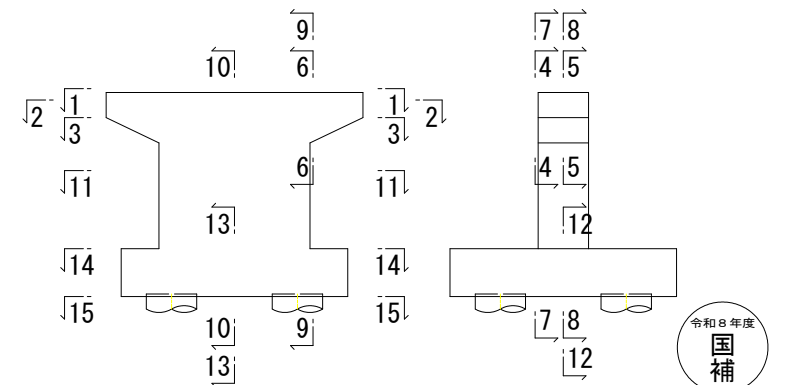
P2橋脚配筋図(その2) S=1:50



かぶり詳細図 S=1:20
(柱)
橋軸方向



位置図



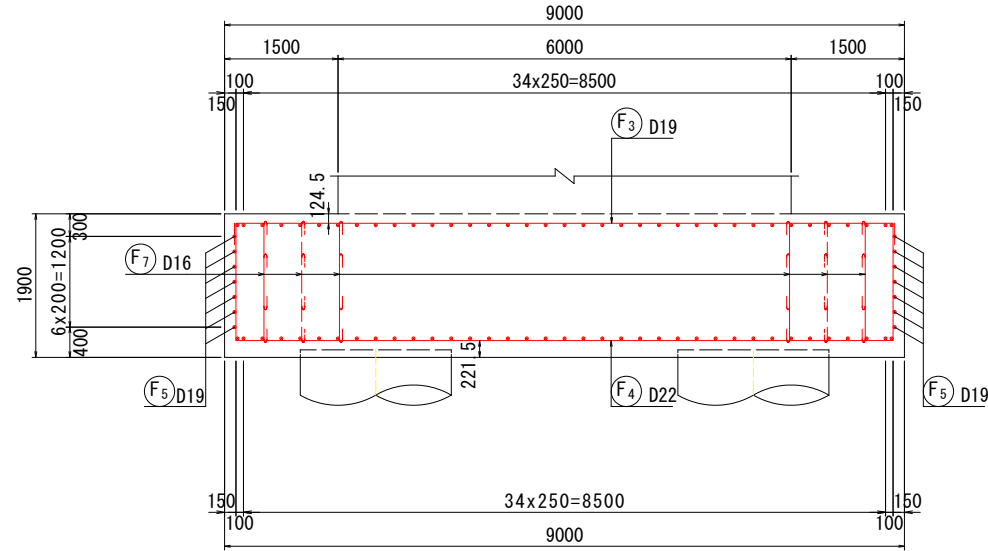
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月 2026年(令和8年)5月

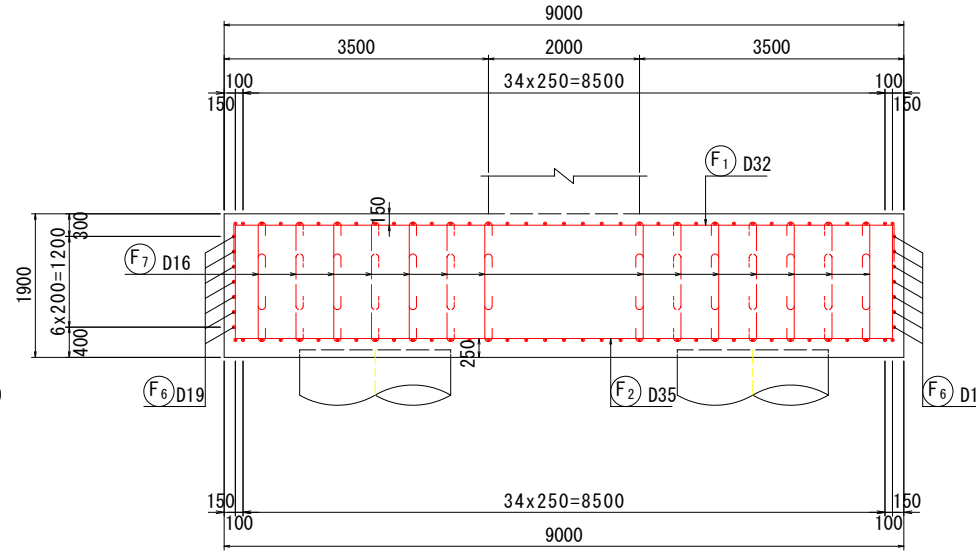
図面番号	6 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P2橋脚配筋図(その2)	番号	2 / 4
路線名	新湊箕島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P2橋脚配筋図(その3) S=1:50

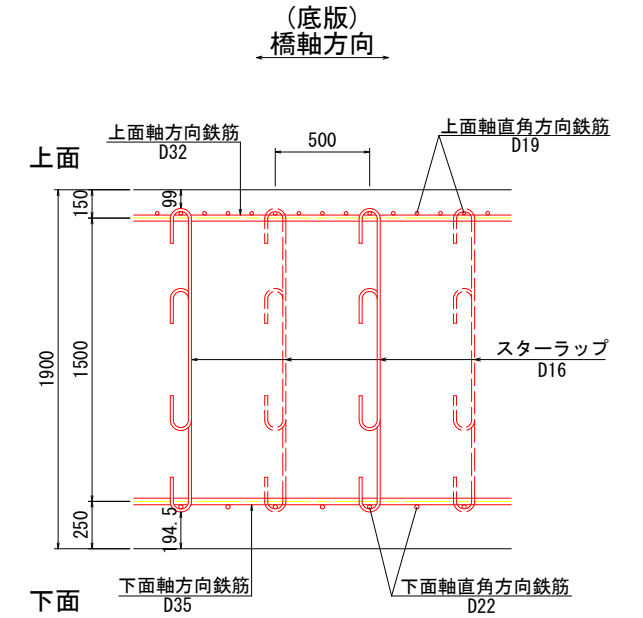
12 - 12



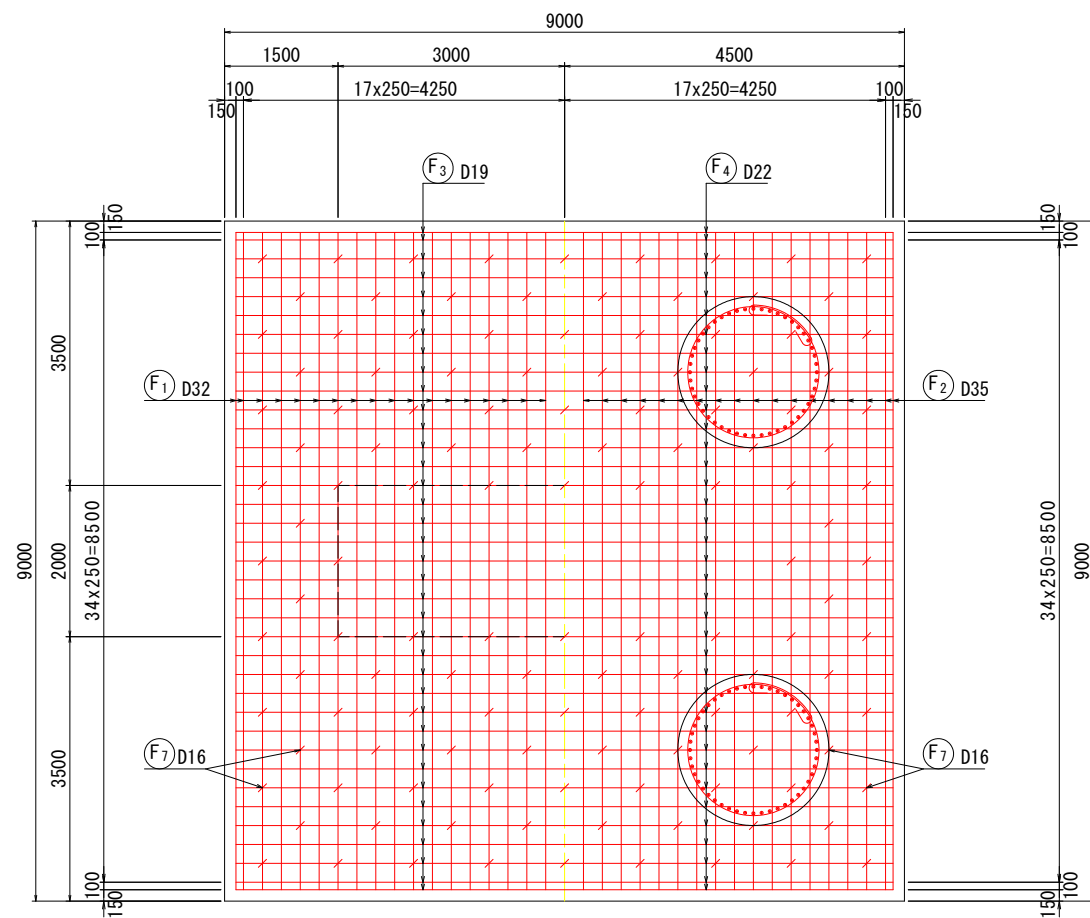
13 - 13



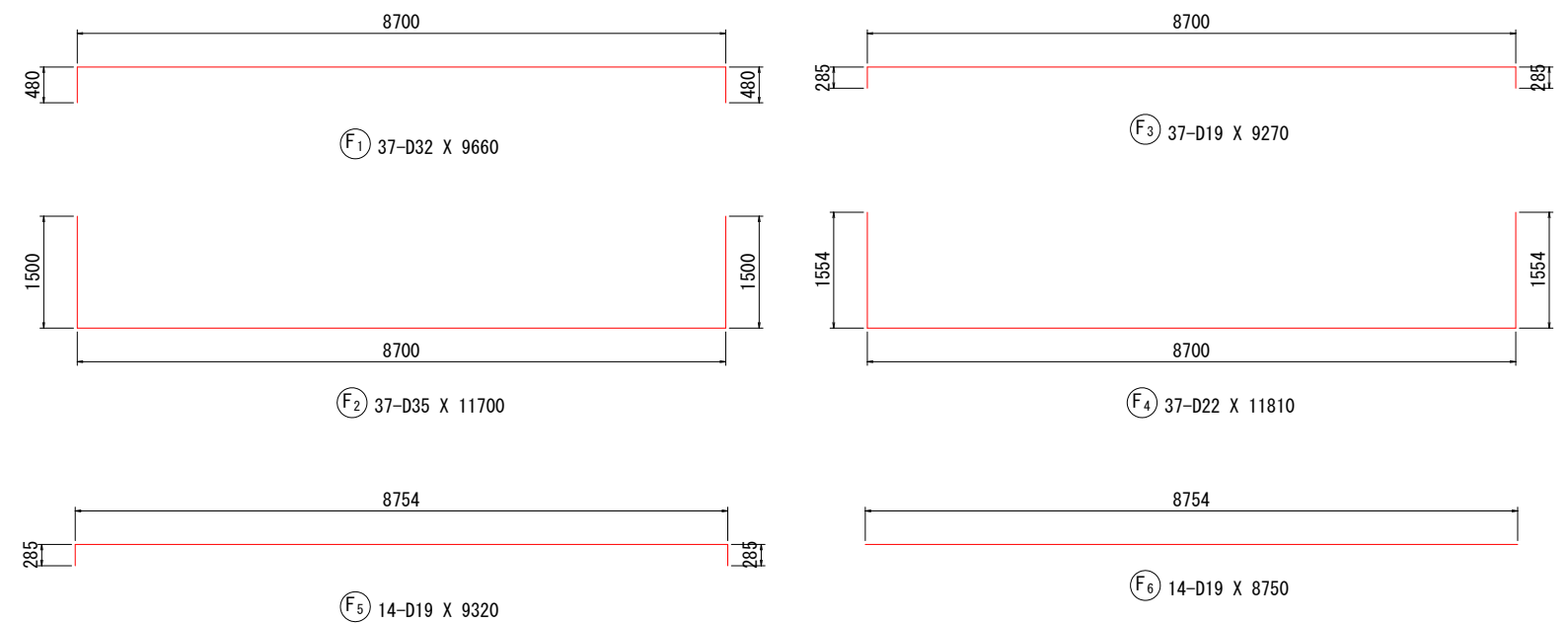
かぶり詳細図 S=1:20



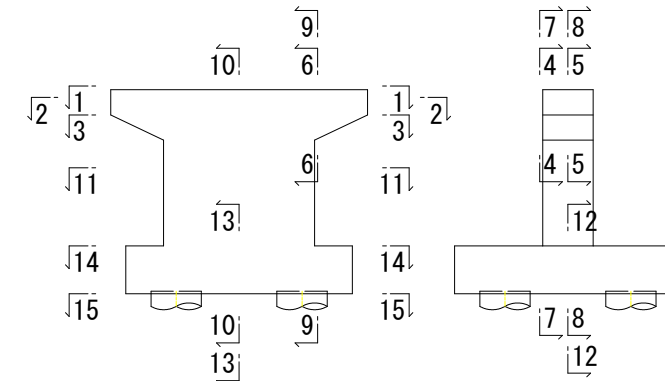
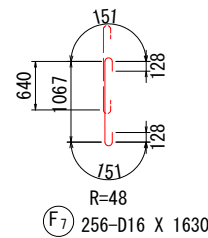
14 - 14



15 - 15



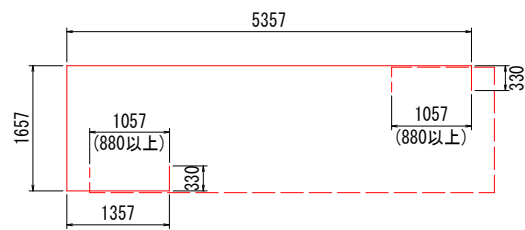
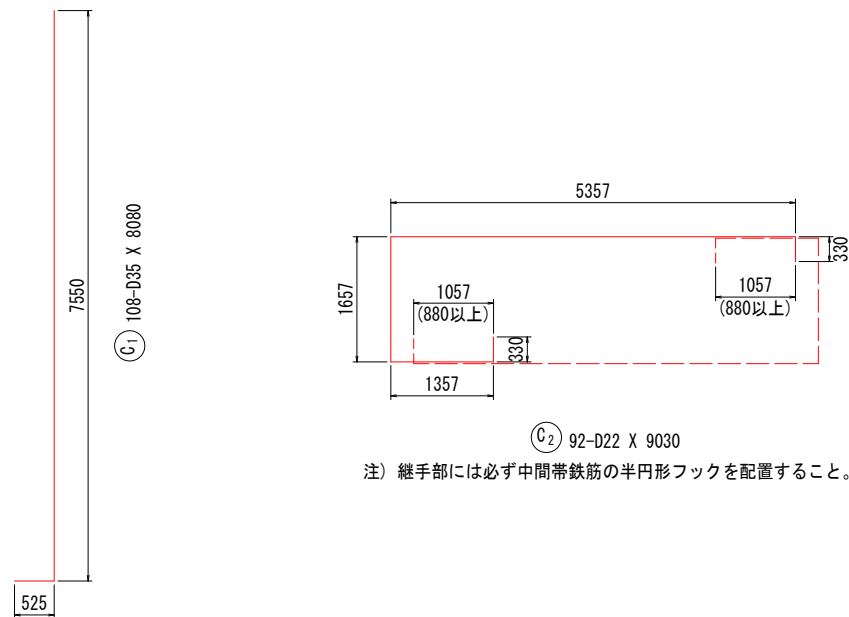
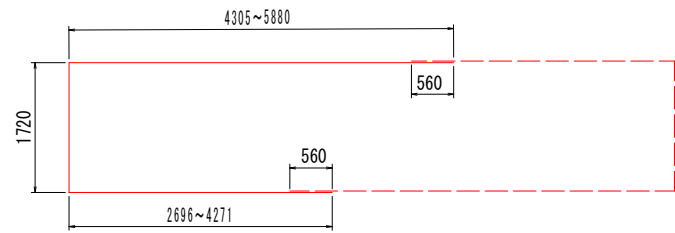
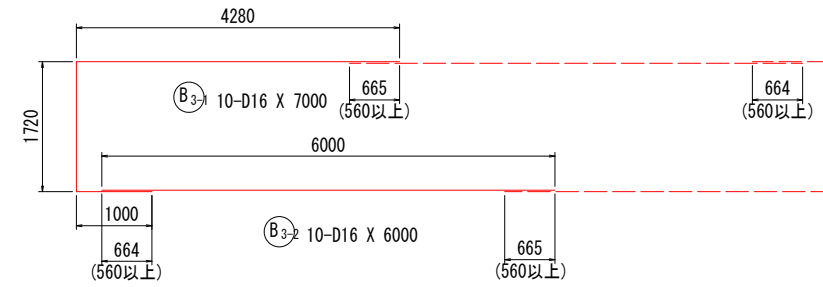
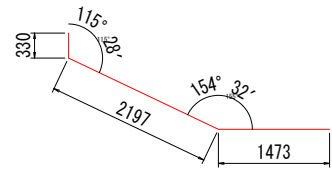
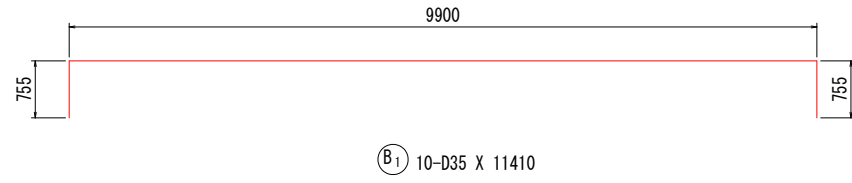
位置図



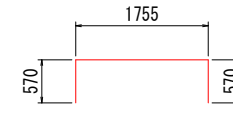
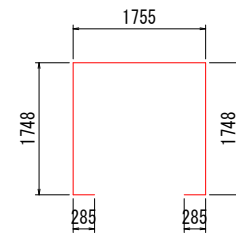
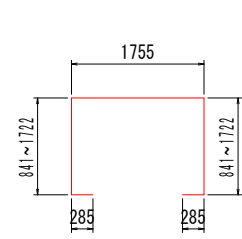
※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2026年(令和8年)5月

図面番号	7 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P2橋脚配筋図(その3)	番号	3 / 4
路線名	新渥美島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P2橋脚配筋図(その4) S=1:50



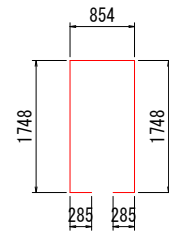
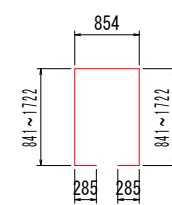
注) 継手部には必ず中間帯鉄筋の半円形フックを配置すること。



B5 22-D19 X 4890 (平均長)

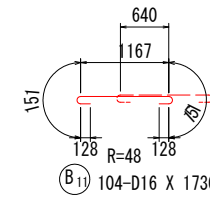
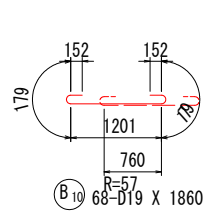
B6 12-D19 X 5820

B7 18-D19 X 2900



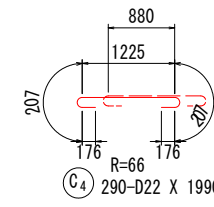
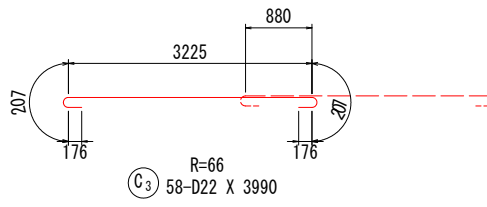
B8 22-D19 X 3990 (平均長)

B9 12-D19 X 4920



B10 68-D19 X 1860

B11 104-D16 X 1730



C3 58-D22 X 3990

C4 290-D22 X 1990

鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
B1	D35	11410	10	7.51	85.69	857	—
B2	D22	4000	20	3.04	12.16	243	—
B3-1	D16	7000	10	1.56	10.92	109	—
B3-2	"	6000	10	"	9.36	94	—
B4	"	10300	12	"	16.07	193	(平均長)
B5	D19	4890	22	2.25	11.00	242	(平均長)
B6	"	5820	12	"	13.10	157	□
B7	"	2900	18	"	6.53	118	□
B8	"	3990	22	"	8.98	198	(平均長)
B9	"	4920	12	"	11.07	133	□
B10	"	1860	68	"	4.19	285	—
B11	D16	1730	104	1.56	2.70	281	—
2910							
C1	D35	8080	108	7.51	60.68	6553	
C2	D22	9030	92	3.04	27.45	2525	□
C3	"	3990	58	"	12.13	704	—
C4	"	1990	290	"	6.05	1755	—
11537							
F1	D32	9660	37	6.23	60.18	2227	—
F2	D35	11700	37	7.51	87.87	3251	—
F3	D19	9270	37	2.25	20.86	772	—
F4	D22	11810	37	3.04	35.90	1328	—
F5	D19	9320	14	2.25	20.97	294	—
F6	"	8750	14	"	19.69	276	—
F7	D16	1630	256	1.56	2.54	650	
8798							
H1	D16	1300	156	1.56	2.03	317	□
H2	"	1400	156	"	2.18	340	□
H3	"	2010	52	"	3.14	163	□
820							
合計 D35				10661 kg			
D32				2227 kg			
D22				6555 kg			
D19				2475 kg			
D16				2147 kg			
総質量				24065 kg			
鉄筋は、全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。							



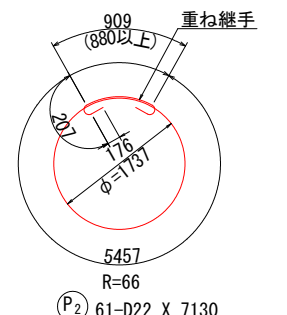
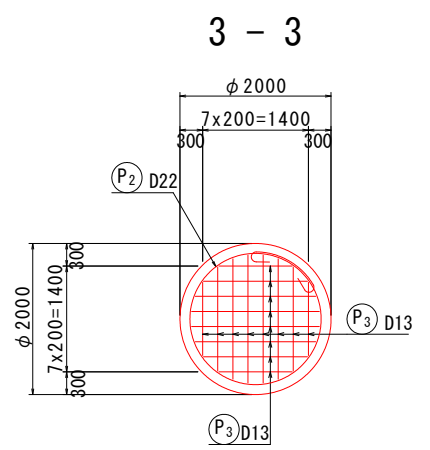
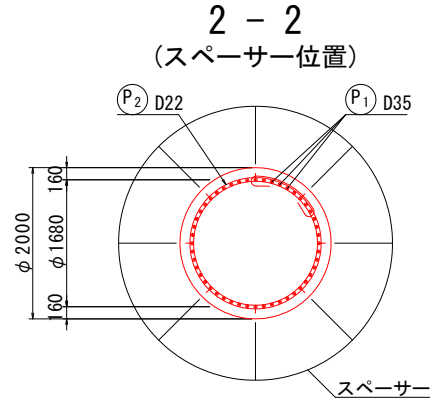
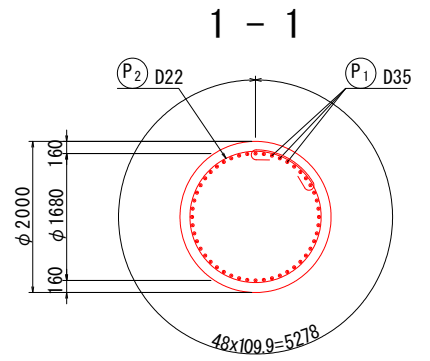
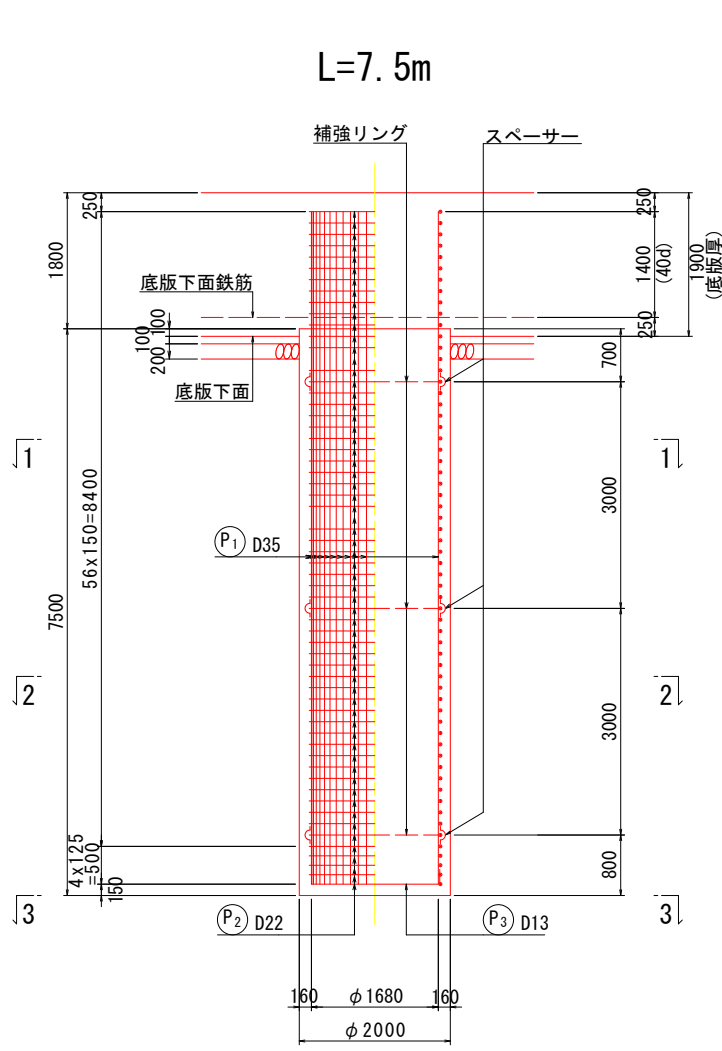
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月 2026年(令和8年)5月

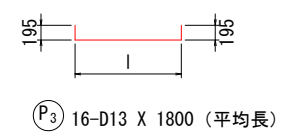
図面番号	8 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P2橋脚配筋図(その4)	番号	4 / 4
路線名	新湊箕島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P2橋脚場所打ち杭配筋図 S=1:50

注) 鉄筋の組立においては、組立上の形状保持などの溶接を行ってはいけません。



注) 継手部は高さ方向に千鳥状に配置すること。



本数	l	L
4	968	1360
4	1377	1770
4	1593	1980
4	1690	2080
16		1800

鉄筋質量表 (SD345) (杭1本当り)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P1	D35	8900	48	7.51	66.84	3208	1
P2	D22	7130	61	3.04	21.68	1322	○
P3	D13	1800	16	0.995	1.79	29	○ (平均長)
						4559	
合計D35						3208 kg	x 4本 = 12832 kg
D22						1322 kg	x 4本 = 5288 kg
D13						29 kg	x 4本 = 116 kg
総質量						4559 kg	x 4本 = 18236 kg

補強リング, 固定金具 (杭1本当り)

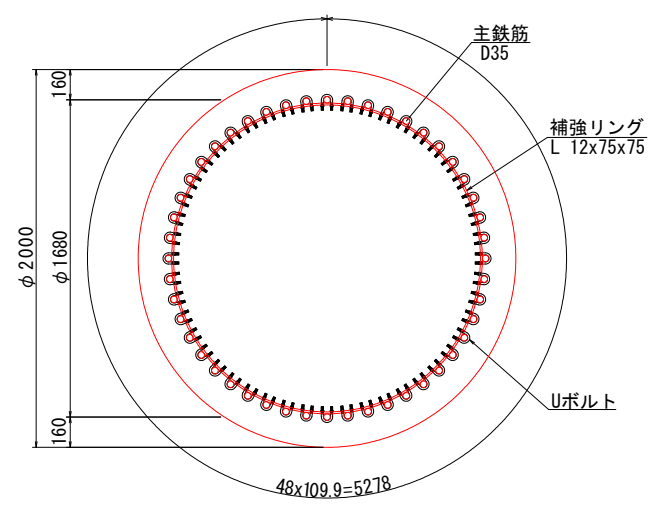
種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L 12 x 75 x 75	5168	3	13.0	67.18	202	補強リング
Uボルト D35用	-	144	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

スペーサー固定金具 (杭1本当り)

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
Uボルト D35用	-	48	-	-	-	スペーサーと主鉄筋の固定
FB 30 x 4	80	48	0.942	0.08	4	Uボルト固定用

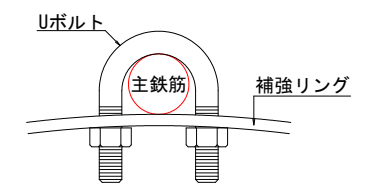
※Uボルト規格 D35用, SS400, 変形耐荷重30kN以上 「場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご溶接工法 設計・施工に関するガイドライン」に準拠する。

補強リング固定金具配置図 S=1:20



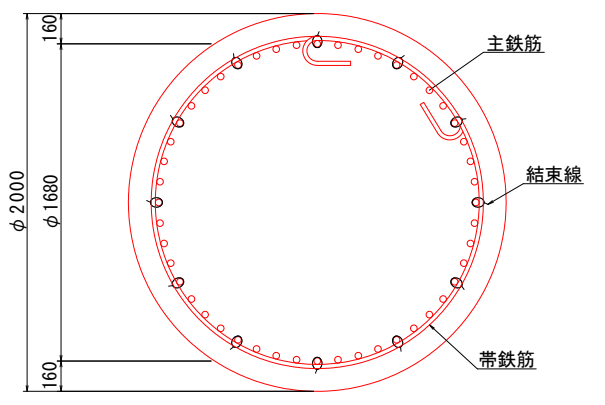
注) 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定する。

固定金具参考図 S=1:2



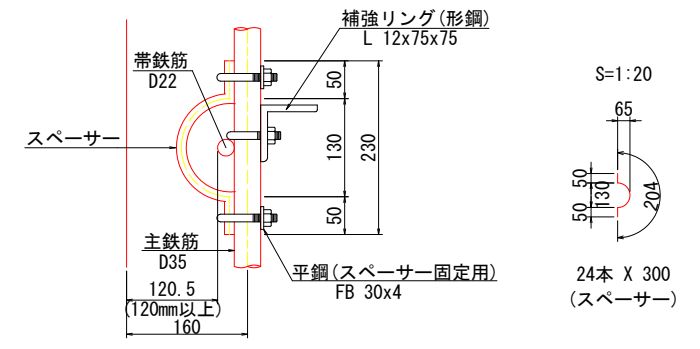
注) 1. 固定金具は、Uボルト又は同等品とする。
2. 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定する。

主鉄筋, 帯鉄筋結束参考図 S=1:20



注) 主鉄筋と帯鉄筋の交点は、主鉄筋3~4本おき程度に結束線等で固定する。

かぶり詳細図 S=1:5



注) スペーサーは、1断面当り8箇所以上に配置する。また、上下を1箇所ずつ金具で固定すること。

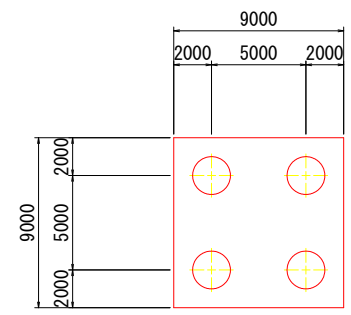
基礎工設計条件

名称	仕様
基礎工設計基準強度	30 N/mm ² -20(25)-18
基礎工鉄筋種別	SD 345
鉄筋定着長	杭頭 : 30φ+10φ 杭体内 : 45φ
鉄筋最大定尺長	12m
塩害対策区分	塩害対策区分 S区分

※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月 2026年(令和8年)5月

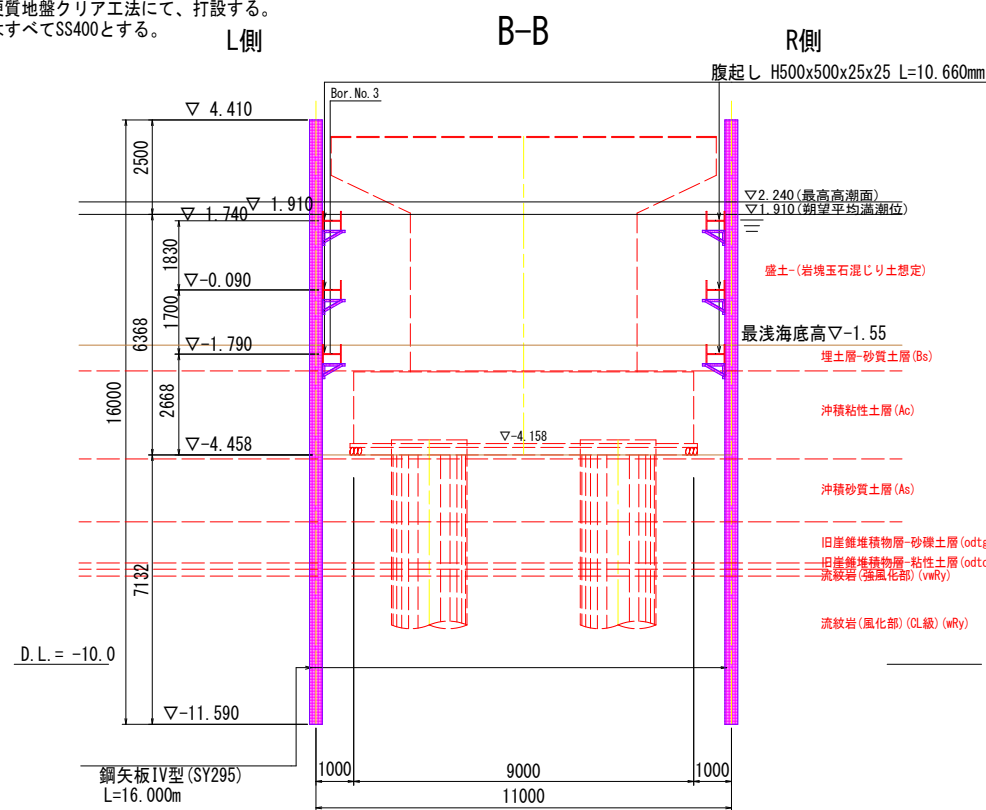
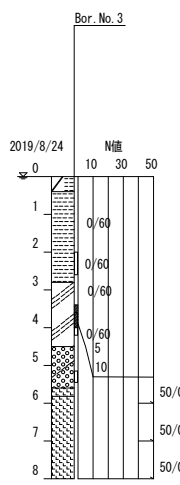
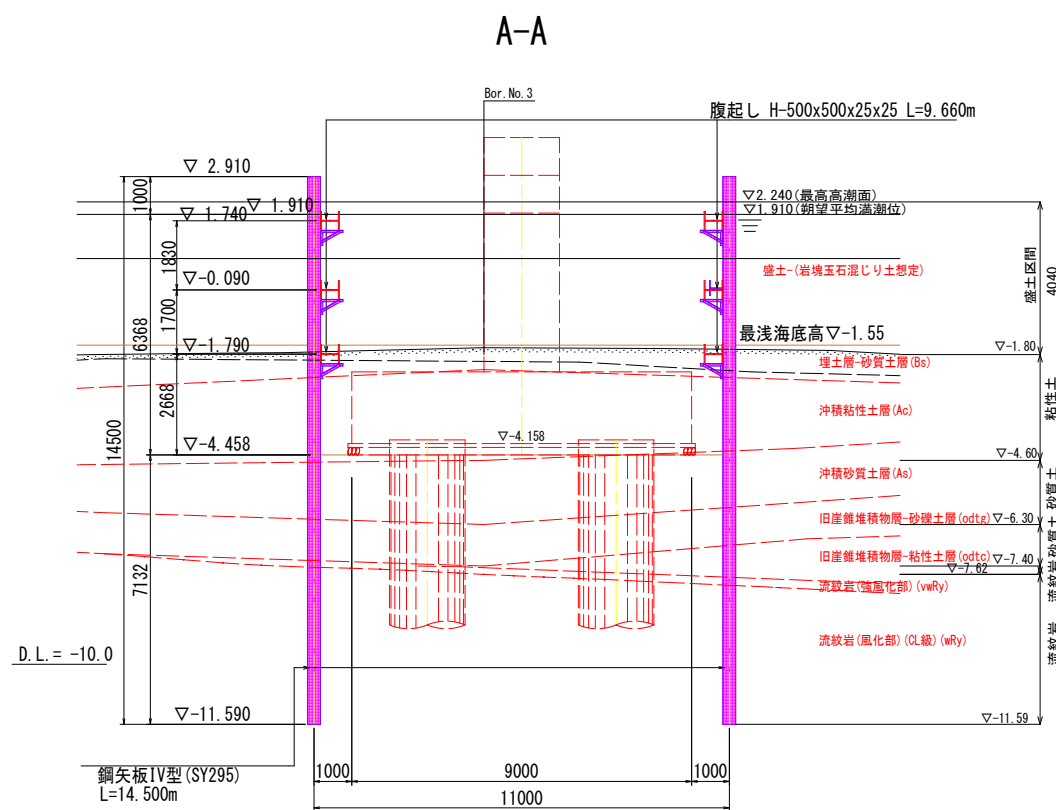
杭配置図 S=1:200



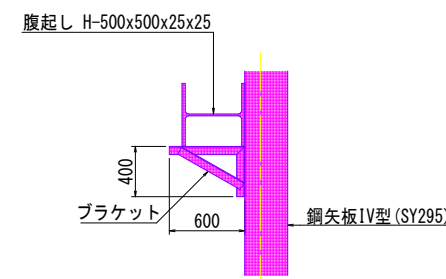
図面番号	9 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P2橋脚場所打ち杭配筋図		
路線名	新渥美島線 (橋梁下部) ・ 8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P2橋脚仮締切工詳細図(1/2) S:1:100

注1) 鋼矢板打設は硬質地盤クリア工法にて、打設する。
注2) 特記無き部材はすべてSS400とする。



ブラケット詳細図 S:1:30



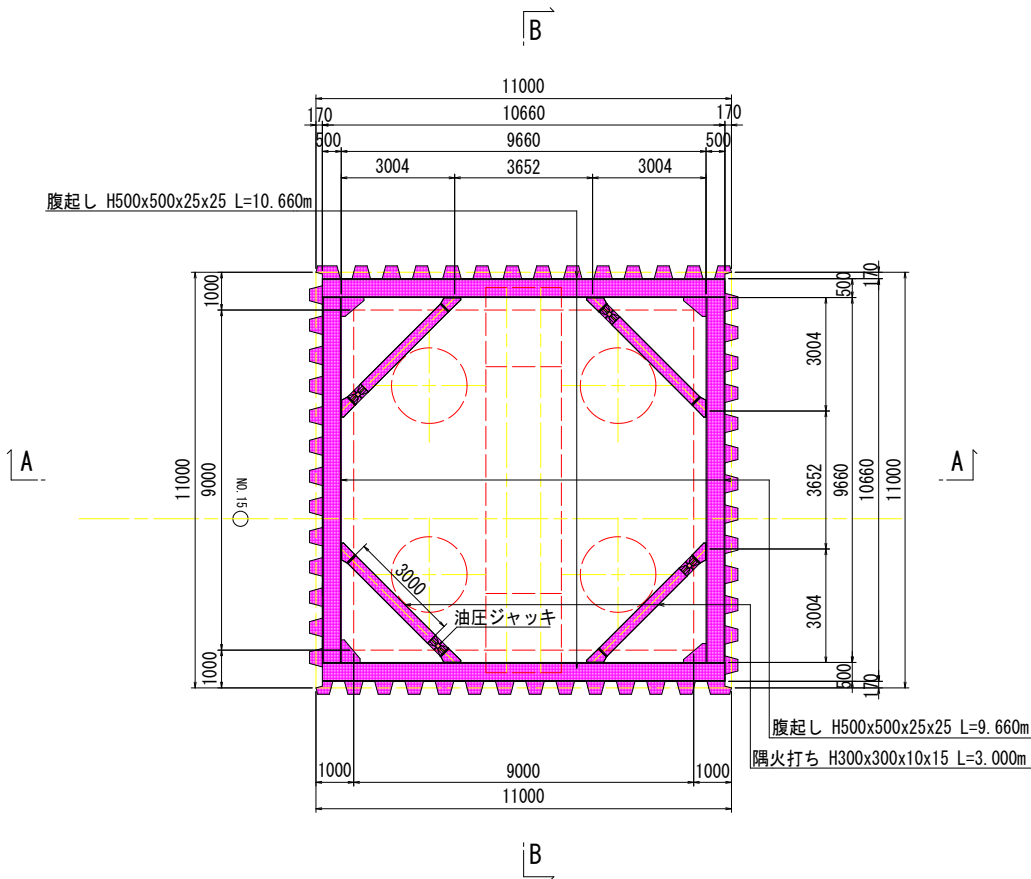
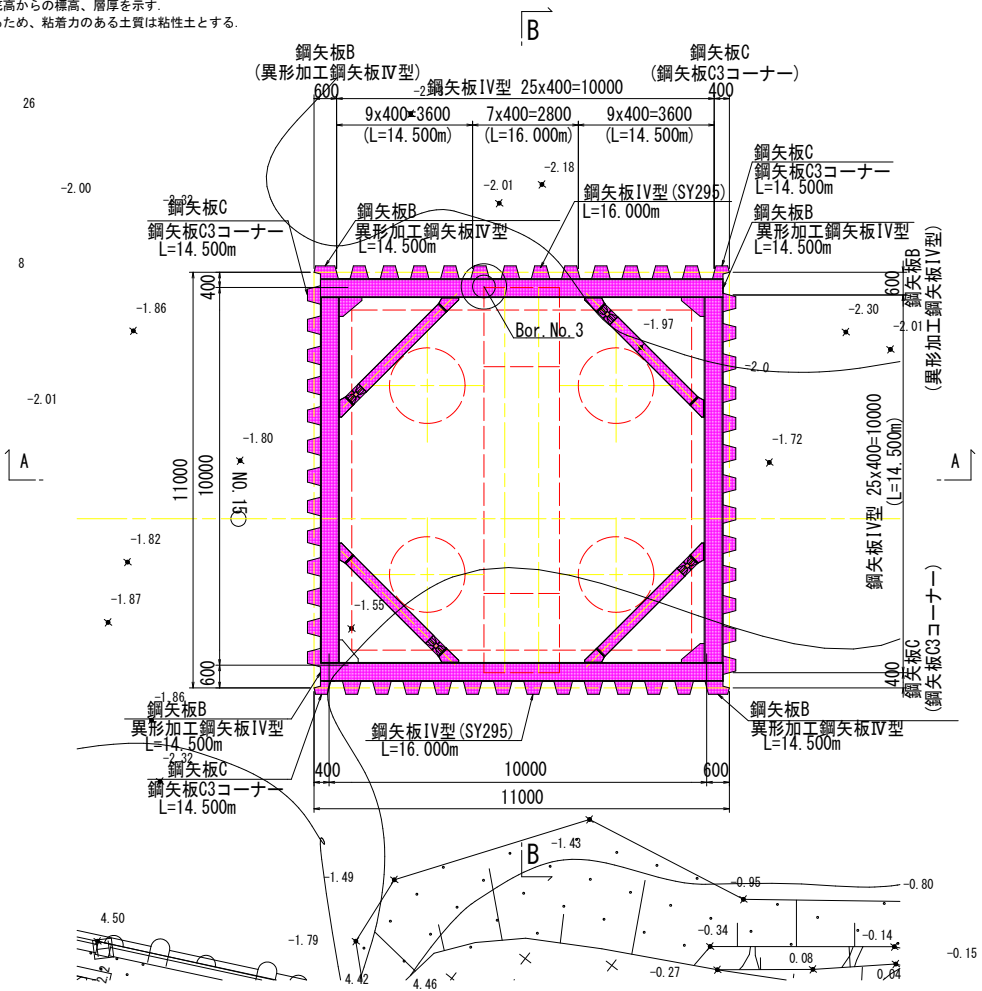
土質定数一覧表(P2)

層高	層厚	土質	平均N値	単位重量	内部摩擦角	粘着力	変形係数
(m)	(m)		(回)	(kN/m ³)	(°)	(kN/m ²)	(kN/m ²)
①	0.000	砂質土	8	17.0	32	0	22,400
②	1.800	粘性土	1	14.0	0	6	3,200
③	1.700	砂質土	2	17.0	25	0	460
④	1.100	砂質土	11	18.0	34	0	30,800
⑤	0.000	粘性土	10	18.0	0	60	28,000
⑥	0.220	砂質土	12	18.0	35	0	33,600
⑦	5.000	粘性土	300	21.0	38	170	544,000

※1 層高、層厚は海底高からの層高、層厚を示す。
※2 粘着力を考慮するため、粘着力のある土質は粘性土とする。

鋼矢板平面図

支保工平面図



注) クラッシュパイラーの施工に伴いパイピングが生じる可能性があるため、生じた場合には薬注を行うこと。



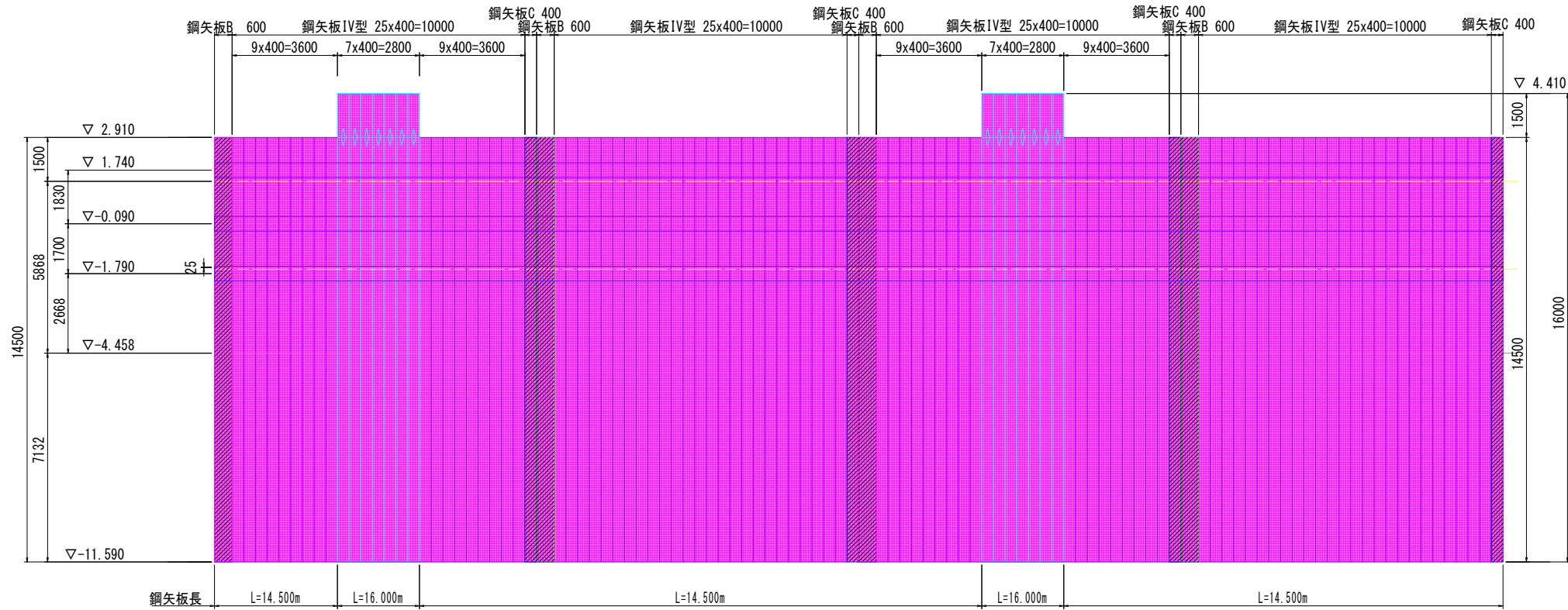
※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2026年(令和8年)5月

図面番号	10 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P2橋脚仮締切工詳細図(1/2)	番号	1 / 2
路線名	新渥美島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P2橋脚仮締切工詳細図(2/2) S=1:100

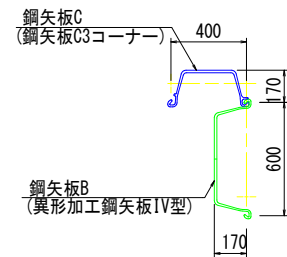
継手位置図

注1) ♪は継手位置を示す。
注2) ハッチングは異形加工鋼矢板およびコーナー鋼矢板を示す。



異形加工鋼矢板詳細図 S=1:20

異形加工鋼矢板接続部



加工後	材 料	
鋼矢板B (異形加工鋼矢板IV型)	鋼矢板IV型	鋼矢板IV型

鋼材質量表

種別	寸 法	材質	長さ	本数	単位質量	質量	備考	
鋼矢板	IV型	SY295	14500	86	76.1	94897	引抜き	
鋼矢板	IV型	SY295	14500	14	76.1	15448	引抜き	
鋼矢板	IV型	SY295	1500	14	76.1	1598	引抜き	
鋼矢板	鋼矢板C: 鋼矢板C3コーナー	SY295	14500	4	76.1	4414	引抜き	
鋼矢板	鋼矢板B:	SY295	14500	2	114.2	3312	引抜き	
鋼矢板	鋼矢板B: 流用品	SY295	14500	2	114.2	3312	引抜き	
腹起し	H - 500 x 500 x 25 x 25	SS400	10660	6	300.0	19188	加工材	
腹起し	H - 500 x 500 x 25 x 25	SS400	9660	6	300.0	17388	加工材	
隅火打ち	H - 300 x 300 x 10 x 15	SS400	3000	12	100.0	3600	加工材	
合計							163157 kg	
鋼矢板	IV型	(SY295) (引抜き)	L=16.000m			17046 kg		
	IV型	(SY295) (引抜き)	L=14.500m			94897 kg		
	鋼矢板C: 鋼矢板C3コーナー	(SY295) (引抜き)	L=14.500m			4414 kg		
	鋼矢板B:	(SY295) (引抜き)	L=14.500m			3312 kg		
	鋼矢板B: 流用品	(SY295) (引抜き)	L=14.500m			3312 kg		
小計						122981 kg		
主部材	H - 500 x 500 x 25 x 25	(SS400) (加工材)				36576 kg		
	H - 300 x 300 x 10 x 15	(SS400) (加工材)				3600 kg		
小計 (主部材)						40176 kg		
副部材 (A)	主部材 x 0.22					8839 kg		
副部材 (B)	主部材 x 0.04					1607 kg		
小計 (副部材)						10446 kg		
合計 (主部材+副部材)						50622 kg		
運搬質量 (主部材+副部材 (A))						49015 kg		
異形加工鋼矢板								
鋼矢板B: 異形加工鋼矢板IV型			L=14.500m	2 枚				
鋼矢板B: 異形加工鋼矢板IV型 (流用品)			L=14.500m	2 枚				
継手箇所 (IV型)				N= 14 箇所				



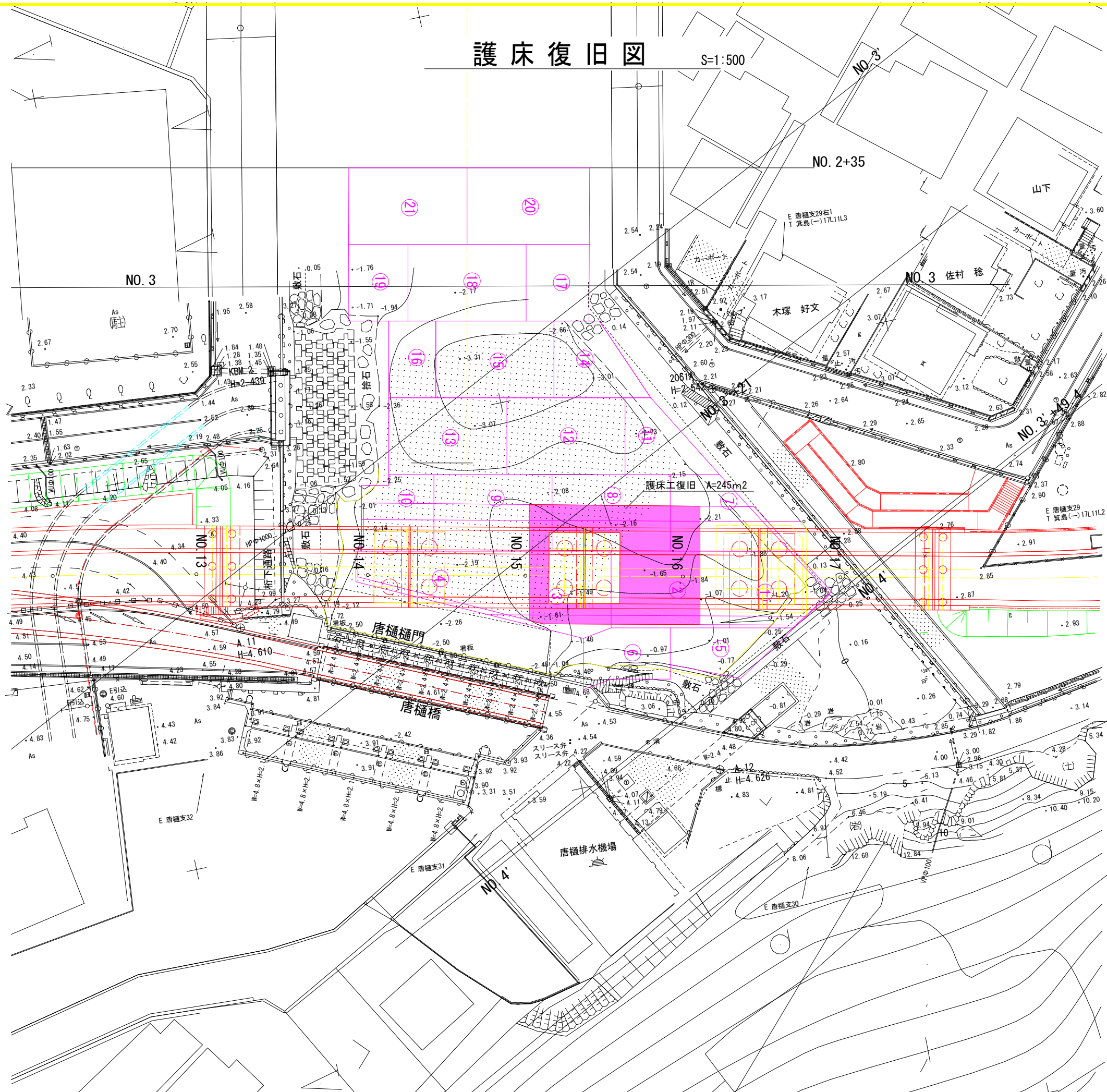
※この図面は実際の図面を約50%縮小している

作成年月 2026年(令和8年)5月

図面番号	11 / 17	縮 尺	図 示
工種	道路改良工事		
種別	P2橋脚仮締切工詳細図 (2/2)	番 号	2 / 2
路線名	新渥美島線 (橋梁下部) ・ 8 - 1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福 山 市		

護床復旧図

S=1:500



※護床工復旧面積は、CAD計測による
 ※護床工の復旧は、フーチングを除く範囲を復旧する



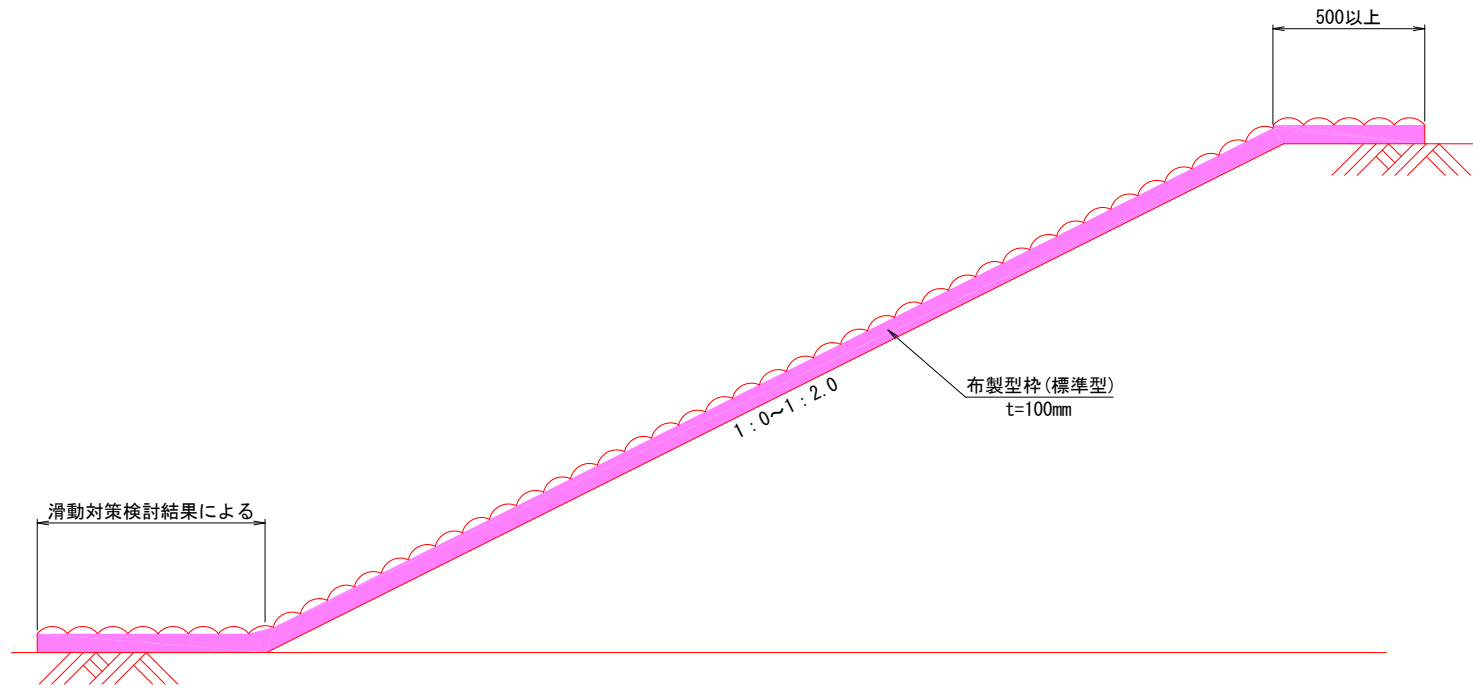
※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2026年(令和8年)5月

図面番号	12 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	護床復旧・護岸復旧	番号	1 / 1
路線名	新湊箕島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

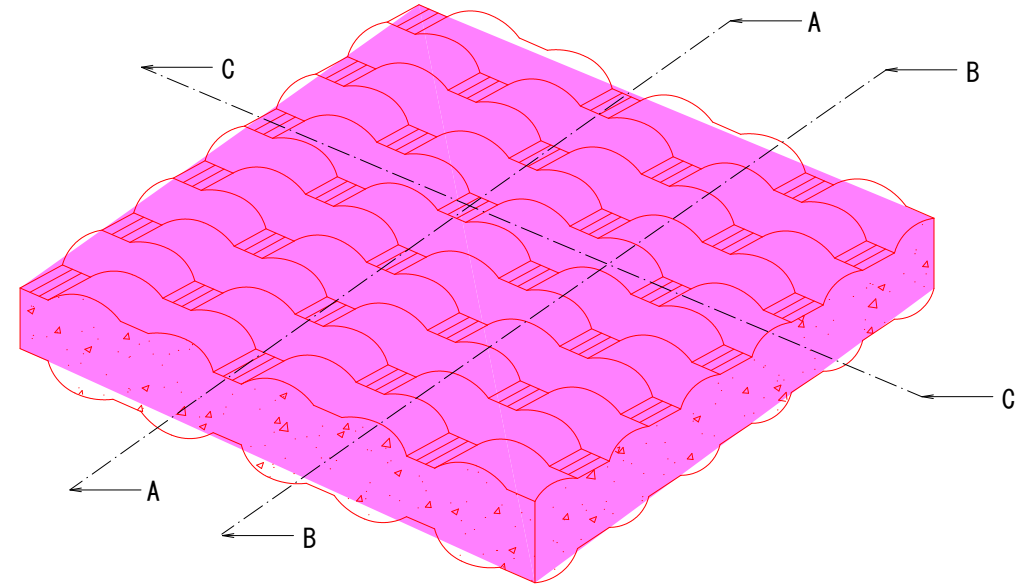
布製型枠標準図

(水抜部無し 平均厚100mm)

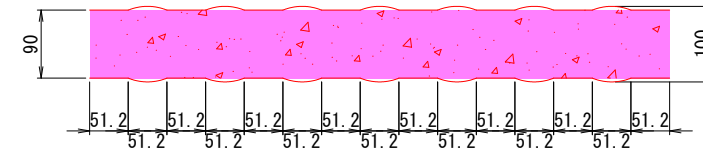
標準断面図 S=1:20



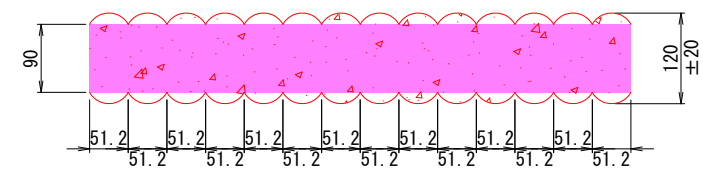
構造図 S=1:5



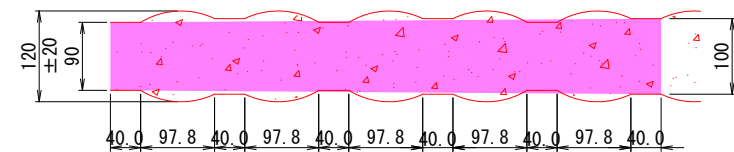
A-A断面



B-B断面



C-C断面



仕様 (* 施工面積100m²当り)

規格	平均厚さ(mm)	最大厚さ(mm)	最小厚さ(mm)	注入材料	注入量(m ³)*
標準型 (水抜部無し)	100	120±20	90	モルタル	12.0

* 現場条件により厚み公差がある。

注入モルタル配合表 (参考)

単位量 (kg/m ³)				水・セメント比 (%)	フロー値 (秒)	備考
セメント	細骨材(粗砂)	細骨材(細砂)	水			
C	S1	S2	W	(W/C)	18±3	フロー値はPロートで測定 現地状況により流動化剤を添加
585	871	372	380	65		

* 但し上記配合表は参考であり、現地条件によりそれぞれ検討し(試験練により)決定すること。

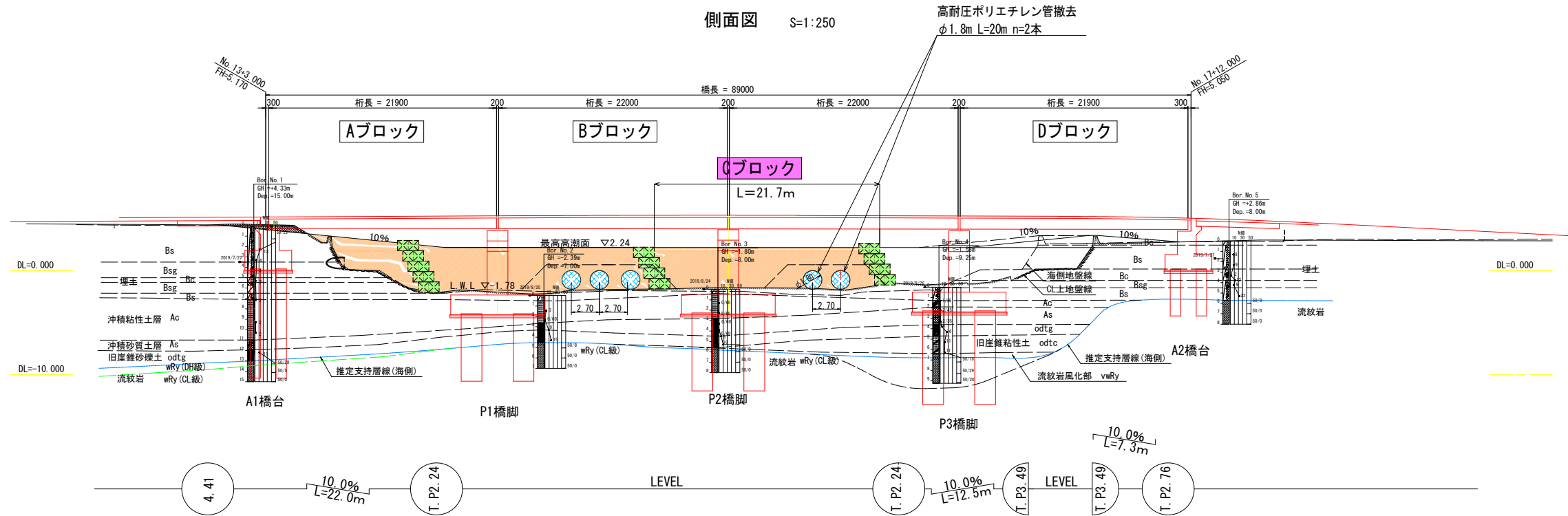


※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2026年(令和8年)5月

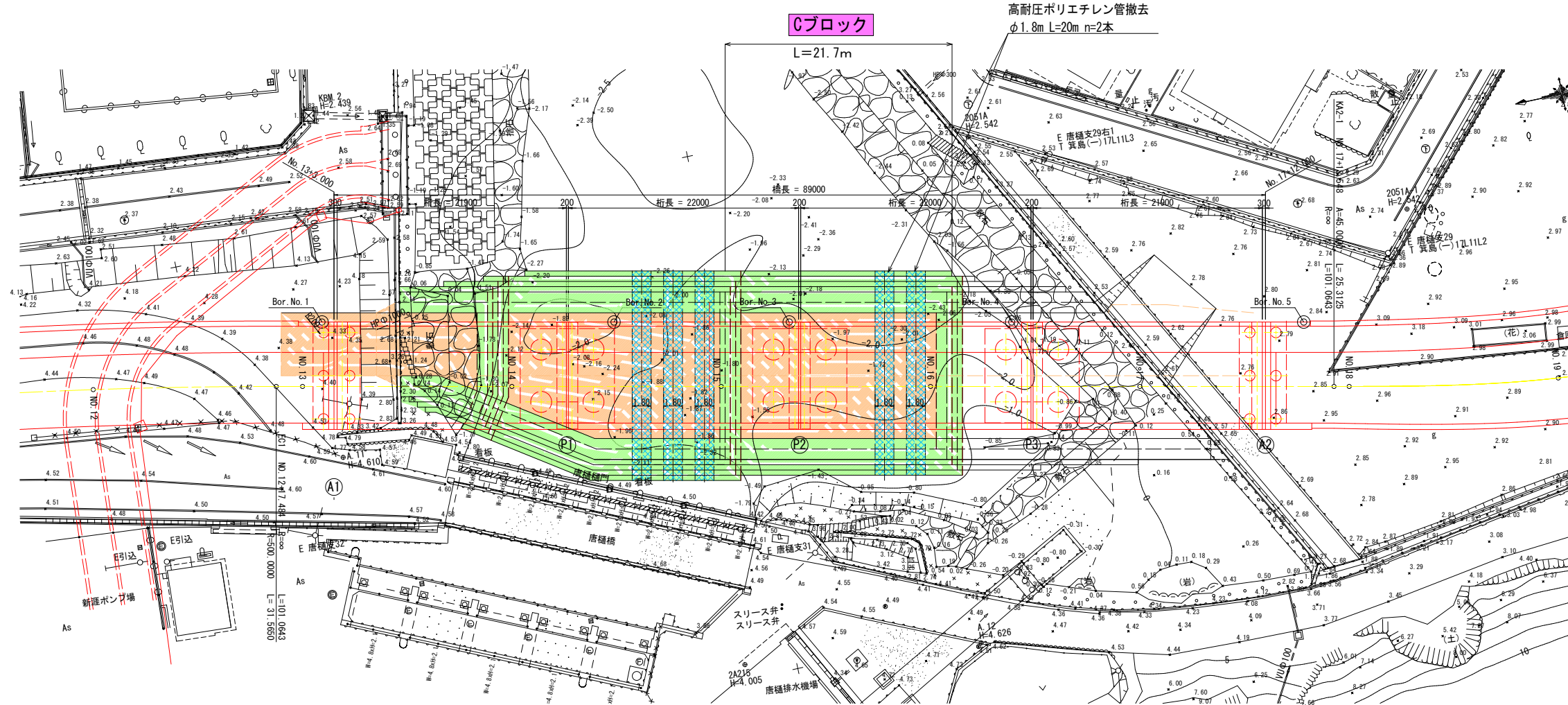
図面番号	13 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	布製型枠標準図	番号	1 / 1
路線名	新渥箕島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

仮設盛土撤去図(1)

側面図 S=1:250



平面図 S=1:250



仮設盛土撤去(Cブロック)

仮設盛土撤去 V= 754m³
 大型土のう撤去 N= 422個
 仮設管渠撤去φ1.8m L= 40m

潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高潮面	4.96 3.00
H.H.W.L	最高潮面	4.20 2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M.S.L	平均水面	2.10 0.14
T.M.S.L(旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01 -0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C.D.L	最低水面	0.00 -1.96

※T.M.S.L(旧称T.P)で図示している。

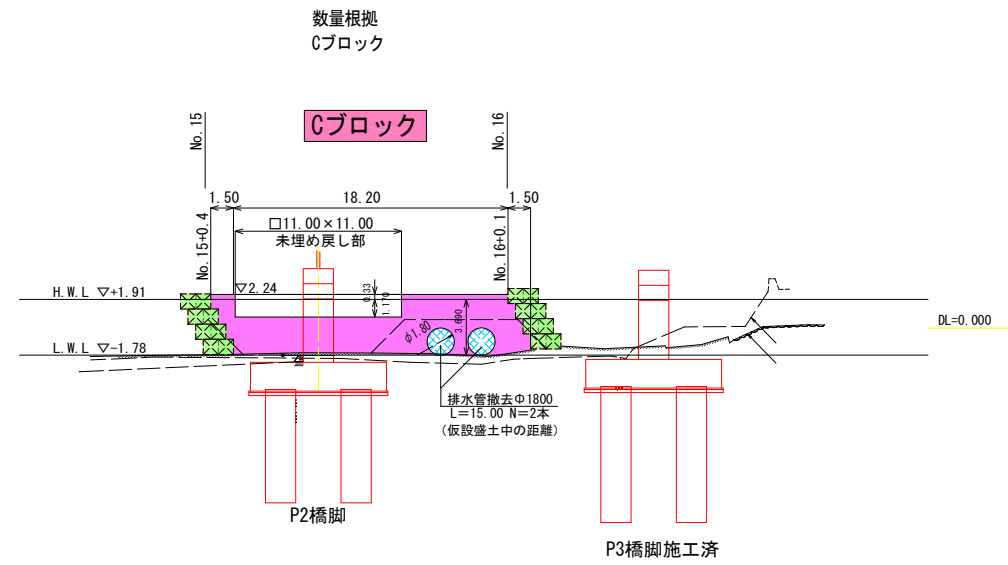


※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2026年(令和8年)5月

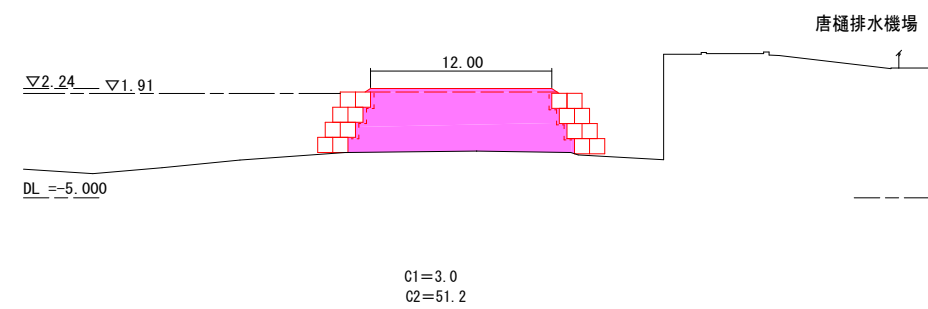
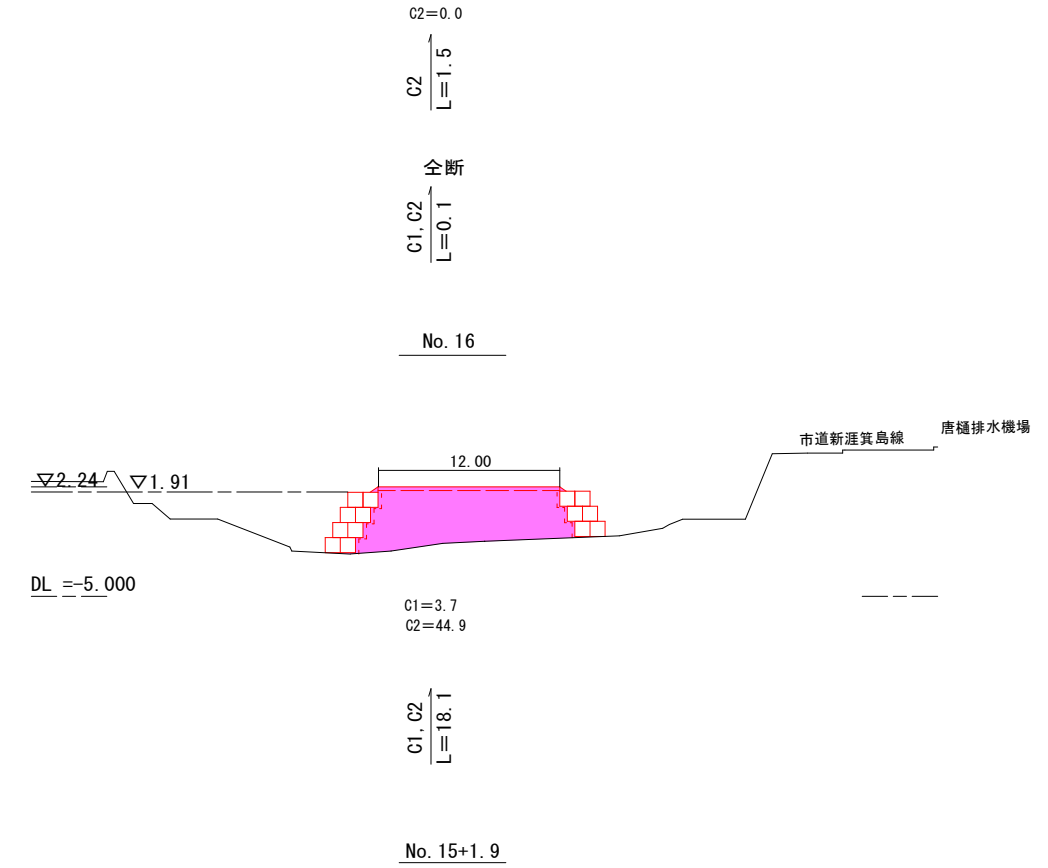
図面番号	14 / 17	縮尺	1:200
工種	道路改良工事		
種別	仮設盛土撤去図(1)	番号	1 / 2
路線名	新湊箕島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

仮設盛土撤去図(2) S=1:250

側面図 S=1:250



横断面 S=1:200



C1:掘削 (期望平均満潮位EL=1.91~盛土高EL=2.24)
 C2:掘削 (期望平均満潮位EL=1.91より下部)

C1, C2
 L=1.5

C1=全断
 C2=0.0

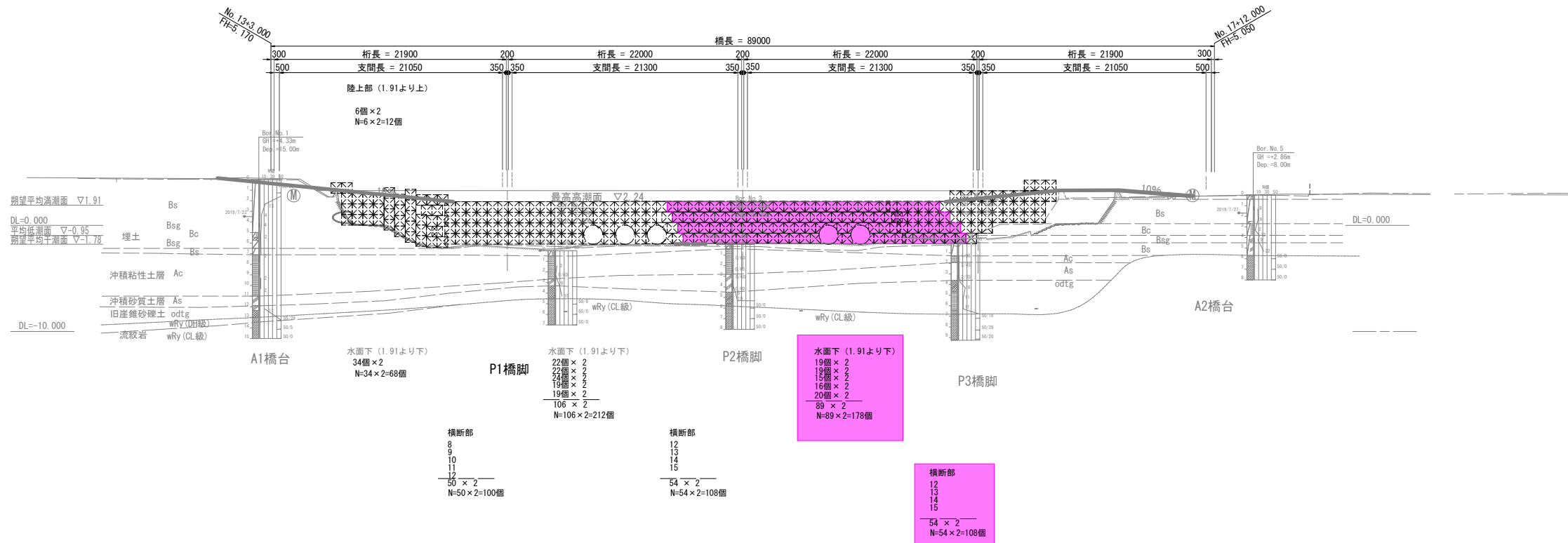


※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2026年(令和8年)5月

図面番号	15 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	仮設盛土撤去図(2)	番号	2 / 2
路線名	新湊箕島線 (橋梁下部) ・ 8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

大型土のう撤去図 S=1:250

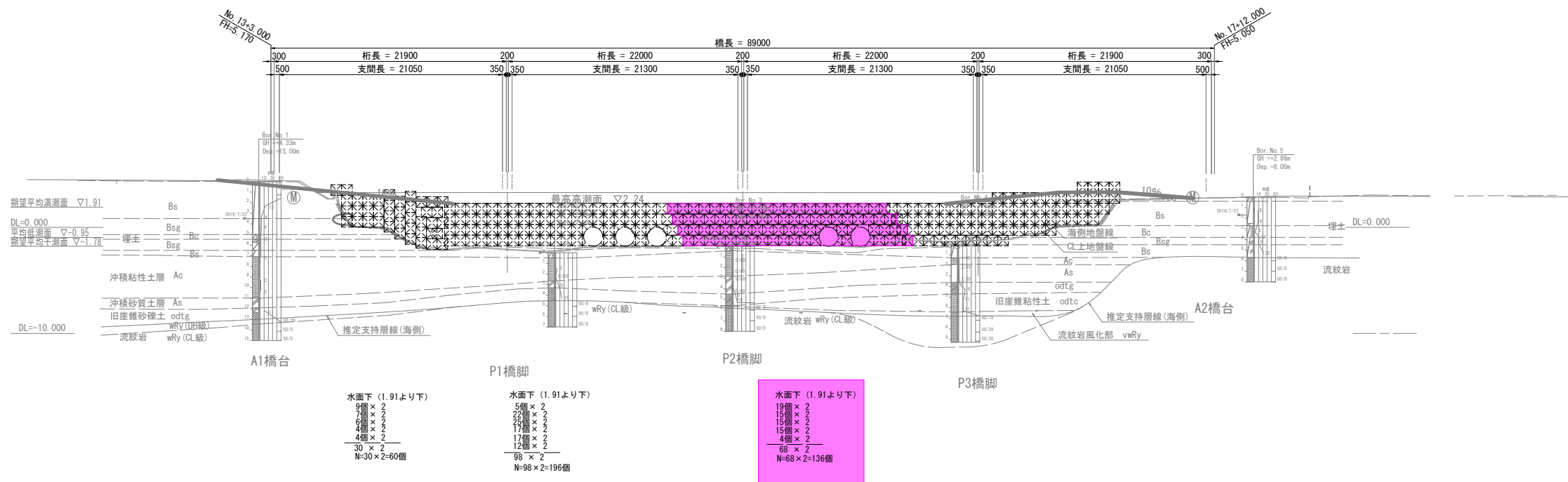
沖側側面図 S=1:250



水面下数量

施工箇所	沖側	陸側	横断部	合計(個)
Cブロック	178	136	108	422

陸側側面図 S=1:250

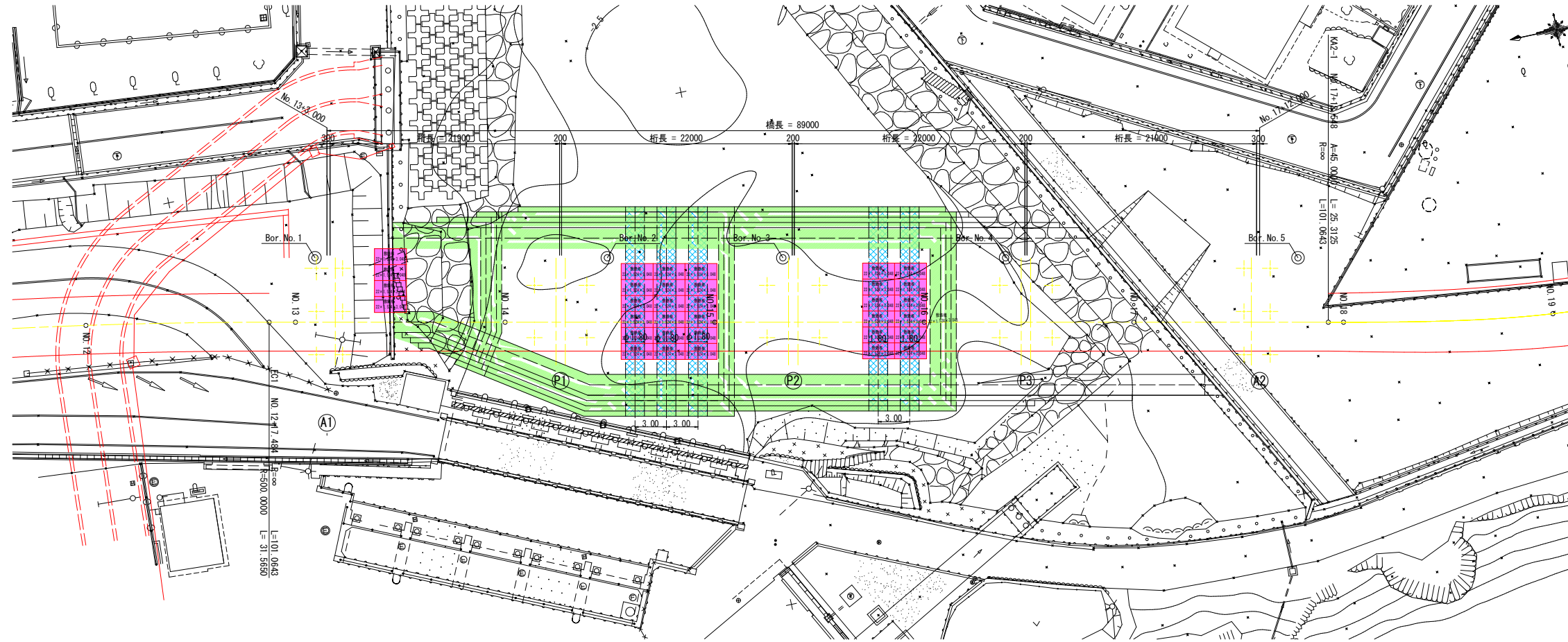


※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2026年(令和8年)5月

図面番号	16 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	大型土のう撤去図	番号	1/1
路線名	新湊箕島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

敷鉄板敷設計画図

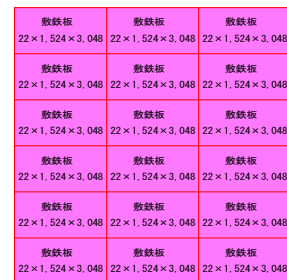
平面図 S=1:250



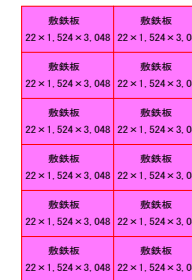
展開図 S=1:125



敷鉄板 4枚



敷鉄板 18枚



敷鉄板 12枚

敷鉄板数量 $N=4+18+12=34$ 枚
(規格: $22 \times 1,524 \times 3,048$)

指定仮設 (工用道路工 (敷鉄板))

仮設盛土 (工用道路) の下部にある既設海洋保全施設を保護するため、施設管理者と協議の上、施工中は敷鉄板を施設することを決定している。



※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2026年(令和8年)5月

図面番号	17 / 17	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	敷鉄板敷設計画図	番号	1 / 1
路線名	新湊箕島線 (橋梁下部) ・ 8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

参 考 图 书

施工単価表

仮設盛土撤去 Cブロック
潮待ち補正係数 1.29

V0001

単第0 -0001 表

1

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.070	人			R0140
普通作業員	0.093	人			R0020
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	2.8	L			TTPC00013
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.13m3(平積0.1) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.015	日			KH000001
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3, 2011, 2014	0.015	日			KR085005
賃 ベッセル V = 1m3	0.015	日			F0000000001
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50t吊, オペレータ付 排1~3, 2011, 2014	0.015	日			KR006007
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

高耐圧ポリエチレン管撤去

SPK25040101

単第0 -0003 表

撤去

パイプ径1,200mm超1,800mm以下 潮待ち補正

1

m 当り

機械構成比: 10.83%

労務構成比:

82.59%

材料構成比:

6.58%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

6,043.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排2,3,2011,2014	10.77%		バックホウ(クローラ型)(後方超小旋回型) クレーン機能付 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t		KTPC00067 KTPT00067
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.45)	33.53%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.45)	29.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.45)	14.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.45)	5.12%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK25040411

単第0 -0004 表

クレーン装置付BT2t積2.9t吊

片道運搬距離27.5km以下(23.5km超)

1

t 当り

機械構成比: 13.79% 労務構成比:

83.40% 材料構成比: 2.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

15,227.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=19 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離27.5km以下(23.5km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK25040411

単第0 -0005 表

クレーン装置付BT2t積2.9t吊

片道運搬距離4.0km以下(2.0km超)

1

t 当り

機械構成比: 13.79% 労務構成比:

83.40% 材料構成比: 2.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,989.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=4 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離4.0km以下(2.0km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK25040411

単第0 -0006 表

クレーン装置付BT2t積2.9t吊

片道運搬距離14.0km以下(11.5km超)

1

t 当り

機械構成比: 13.79% 労務構成比:

83.40% 材料構成比: 2.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,750.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=13 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離14.0km以下(11.5km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し

SPK25040412

単第0 -0007 表

クレーン装置付BT2t積2.9t吊

1

t 当り

機械構成比: 13.73% 労務構成比: 83.47%

材料構成比: 2.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,566.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.73%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	41.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t積2.9t吊					

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0008 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,217.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=37 距離14.0km以下(11.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0009 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

875.29000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=13 距離4.0km以下(3.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

床掘り

土砂 標準

機械構成比: 11.60% 労務構成比: 76.18%

SPK25040015

切梁腹起式 障害無し

材料構成比: 12.22%

単第0 -0010 表

1

m3 当り

標準単価: 472.72000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	11.60%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	48.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	27.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

床掘り

土砂 標準

機械構成比: 12.72% 労務構成比: 73.89%

SPK25040015

切梁腹起式 障害有り

材料構成比: 13.39%

単第0 -0011 表

1

m3 当り

標準単価: 526.91000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	12.72%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	43.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	30.49%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.39%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=2 障害有り		

施工単価表

床掘り

SPK25040015

単第0 -0012 表

土砂 掘削深さ5m超20m以下

切梁腹起式 障害有り

1

m3 当り

機械構成比: 37.43% 労務構成比:

51.74% 材料構成比: 10.83%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,292.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ドラグライン及びクラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m3	32.84%		ドラグライン及びクラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m3		MTPC00066 MTPT00066
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.08/平積0.06m3	4.59%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.08/平積0.06m3		MTPC00061 MTPT00061
普通作業員	17.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	17.19%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	16.83%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	10.83%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=3 掘削深さ5m超20m以下 D=2 障害有り		

施工単価表

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0013 表

最大埋戻幅4m以上

1

m3 当り

機械構成比: 12.31% 労務構成比:

76.19%

材料構成比: 11.50%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,096.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	10.59%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5~0.6t	1.65%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5~0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.07%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	28.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	25.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	21.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.40%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0016 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離1.5km以下(1.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44% 材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

554.35000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=5 距離1.5km以下(1.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

基礎杭工
杭1本当り掘削長 13.8m

S1030033
設計杭径 2,000mm

単第0 -0017 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.360	人			RTPC00009
とび工	1.360	人			RTPC00004
特殊作業員	1.360	人			RTPC00001
普通作業員	1.360	人			RTPC00002
機-18_オールケーシング掘削機運転 全回転式 CD 最大掘削径2000mm	1.360	日			S9142 単第0-0018 表
機-18_クローラクレーン運転 (油)ラチスジブ型・基礎工事用100t吊 排出ガス対策型2014年規制	1.360	日			S9069 単第0-0019 表
機-28_バックホウ運転(賃料) クローラ型山積0.5m3_後方超小型旋回型	1.360	日			S9035 単第0-0020 表
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度30,スランプ18,粗骨材20(25) W/C(55%),セメント量350kg,種別(高炉)	25.683	m3			T1030291
諸雑費	41	%			#09
ビット等損耗費	42.2	%			#06
*** 単位当たり ***	1	本			
A=5.6 C=0 E=4.16	レキ質土・粘性土・砂・砂質土の掘削長(m) 軟岩1の掘削長(m) 中硬岩の掘削長(m)		B=4.04 D=0 F=0	岩塊・玉石の掘削長(m) 軟岩2の掘削長(m) 硬岩1の掘削長(m)	

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK25040007

単第0 -0025 表

破碎岩

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 44.36%

労務構成比:

37.42%

材料構成比:

18.22%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

297.32000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	44.36%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	37.42%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 破碎岩			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0026 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 9.29% 労務構成比:

82.13%

材料構成比:

8.58%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,025.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	7.79%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5~0.6t	1.41%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5~0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.09%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	40.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	15.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.45%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0027 表

標準 硬岩

DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.50%

労務構成比:

39.10%

材料構成比: 14.40%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,142.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.50%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.10%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.40%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=3 硬岩 E=37 距離14.0km以下(11.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0028 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)

1

m3 当り

機械構成比: 40.77% 労務構成比:

44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,105.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		

施工単価表

T形橋脚
100m3以上300m3未満 (H5m以上10m未満)

S3070
生コンクリート(各種)

単第0 -0029 表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.600	人			RTPC00009 0.6*1
特殊作業員	0.200	人			RTPC00001 0.2*1
型わく工	1.800	人			RTPC00010 1.8*1
とび工	0.600	人			RTPC00004 0.6*1
普通作業員	1.600	人			RTPC00002 1.6*1
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度30,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%以下),種別(高炉)	10.200	m3			F000000091
機-20_コンクリートポンプ車運転 トラック架装ブーム式 90~110m3/h	0.060	日			S9238 単第0-0030 表
雑工種(基礎材敷設転圧)	2	%			#06
雑工種(均しコンクリート打設)	4	%			#06
諸雑費	26	%			#09
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

鉄筋工
SD345 D35

SS000099

単第0 -0031 表

一般構造物 [規]10t以上

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			TSPC00001
異形棒鋼<JISG3112> SD345, D35 単位質量7.51kg/m	1.030	t			TTPCD0074 1*1.03
異形棒鋼工ポキシ樹脂塗装費 D29 ~ D38	1.030	t			T1010075 1*1.03
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 異形棒鋼に工ポキシ樹脂を塗装する場合 D=1 一般構造物 F=1 [規]10t以上			B=8 SD345_D35 E=1 - G=1 -		
H=1 - J=1 -			I=1 - K=2 切梁のある構造物		

施工単価表

鉄筋工
SD345 D29 ~ D32

SS000099
一般構造物 [規]10t以上

単第0 -0032 表

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			TSPC00001
異形棒鋼<JISG3112> SD345, D29 ~ 32	1.030	t			TTPCD0073 1*1.03
異形棒鋼エポキシ樹脂塗装費 D29 ~ D38	1.030	t			T1010075 1*1.03
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 異形棒鋼にエポキシ樹脂を塗装する場合 D=1 一般構造物 F=1 [規]10t以上			B=7 SD345_D29 ~ D32 E=1 - G=1 -		
H=1 - J=1 -			I=1 - K=2 切梁のある構造物		

施工単価表

敷鉄板設置

S1050041

単第0 -0042 表

頁0 -0047

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.152	人			RTPC00009
とび工	0.152	人			RTPC00004
普通作業員	0.152	人			RTPC00002
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.152	日			S9035 単第0-0043 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100 m2 当り

施工単価表

鋼矢板圧入(50 < Nmax 600)
250 < Nmax 375 4型

V0008
圧入長(m) 15以下(12超)

単第0 -0046 表

10 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.778	人			RTPC00009
特殊作業員	2.778	人			RTPC00001
とび工	5.556	人			RTPC00004
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 硬質地盤専用圧入機 普通鋼矢板用 800kN 排出ガス対策型3次基準	2.778	日			S9128 単第0-0047 表 10/3.6
機-18_ラフテレーンクレーン運転 50~51t吊 排出ガス対策型2011年規制	2.778	日			S9000053 単第0-0048 表 10/3.6
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	2.778	日			S9000053 単第0-0049 表 10/3.6
雑材料	18	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			

施工単価表

鋼矢板継足し溶接工
型 L=14.5+1.5=16.0m

V0006

単第0 -0050 表

10

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.86	人			R0250
とび工	1.73	人			R0060
溶接工	1.73	人			R0130
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.86	日			V00061 単第0-0051 表
機-12_電気溶接機運転 DE駆動・直流アーク式 250A 排出ガス対策型1次基準	1.73	日			S9085 単第0-0052 表
被膜アーク溶接棒 高張力鋼用 棒径4.0mm	23.00	kg			F000000012
*** 合計 ***	10	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

鋼矢板引抜き
陸上施工 4型

S0454
引抜長(m) 15以下(12超)

単第0 -0053 表

10 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.303	人			RTPC00009
特殊作業員	0.303	人			RTPC00001
とび工	0.606	人			RTPC00004
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.303	日			S9128 単第0-0054 表 10/33
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.303	日			S9000053 単第0-0049 表 10/33
諸雑費	0.1	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=4 引抜長(m)_15以下(12超)			B=3 4型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
圧入 (180<Nmax 600)

S0458

単第0 -0056 表

1

回 当り

IV型

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.100	人			RTPC00009
特殊作業員	1.100	人			RTPC00001
とび工	2.190	人			RTPC00004
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 硬質地盤専用圧入機 普通鋼矢板用 800kN 排出ガス対策型3次基準	0.590	日			S9128 単第0-0047 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 50~51t吊 排出ガス対策型2011年規制	0.900	日			S9000053 単第0-0048 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	回			
A=4 圧入 (180<Nmax 600) C=1 陸上施工			B=3 IV型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜き機据付・解体
引抜き

S0458

単第0 -0057 表

1

回 当り

IV型

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.190	人			RTPC00009
特殊作業員	0.190	人			RTPC00001
とび工	0.390	人			RTPC00004
機-24_油圧式杭圧入引抜き機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.130	日			S9128 単第0-0054 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.190	日			S9000053 単第0-0049 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	回			
A=5 引抜き C=1 陸上施工			B=3 IV型		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK25040411

単第0 -0059 表

クレーン装置付BT2t積2.9t吊

片道運搬距離2.0km以下

1

t 当り

機械構成比: 13.79% 労務構成比:

83.40%

材料構成比: 2.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

960.27000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=2 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離2.0km以下			B=1 DID区間無し		

施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去
設置

SHD10019

単第0 -0060 表

頁0 -0065

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.700	人			R0250
とび工	3.200	人			R0060
溶接工	1.700	人			R0130
普通作業員	1.700	人			R0020
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.700	日			KTPC00014
諸雑費	5	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 設置 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去
撤去

SHD10019

単第0 -0061 表

頁0 -0066

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			R0250
とび工	1.900	人			R0060
溶接工	1.000	人			R0130
普通作業員	1.000	人			R0020
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.000	日			KTPC00014
諸雑費	7	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 撤去 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

山留材質料

SHD10013

単第0 -0063 表

H-300 100kg/m

供用日数148日

1

t

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鋼製山留材 H-300, 100kg/m 180日(6か月)以内	1.000	t			K0100139
修理費及び損耗費:主部材	1.000	t			E0001
(賃料)鋼製山留材 部品 180日(6か月)以内	0.220	t・日			K0100169
修理費及び損耗費:副部材(A)	0.220	t			E0002
修理費及び損耗費:副部材(B)	0.040	t			E0003
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 山留材質料 C=1 - E=2 修理費及び損耗費:副部材(A) G=148 賃料期間(日)			B=2 鋼製山留材 H-300, 100kg/m D=2 修理費及び損耗費:主部材 F=2 修理費及び損耗費:副部材(B)		

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単 位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
道路改良工事（新渥美島線（橋梁下部）・8-1）								
橋梁下部								
	道路土工							
		掘削工						
			掘削	仮設盛土撤去 Cブロック 土砂 狭小箇所あり 潮待ち補正1.29	m3	754.0	750	計第1表 25.6+728.4
			大型土のう撤去	大型土のう撤去 Cブロック 作業半径6mを超え20m以内 潮待ち補正1.30	袋	422	422	計第2表
			高耐圧ポリエチレン管撤去	管径1800mm 潮待ち補正1.45	m	40	40	計第2表
		残土処理工						
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	m2	754.0	750	計第1表 25.6+728.4
				標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)	m3	351.7	350	大型土のう中詰材 422/1.2
			残土等処分	岩塊玉石混じり土	m3	754.0	750	仮設盛土
				砂質土等	m3	351.7	350	大型土のう
		運搬処理工						
			現場発生品運搬	大型土のう袋 距離27.5km以下(23.5km越) DID区間有 クレーン装置付BT2t級2.9t吊	t	1.48	1.48	422*3.5/1000
				砂防シート 距離4.0km以下(2.0km越) DID区間有 クレーン装置付BT2t級2.9t吊	t	0.249	0.25	498.0*0.5/1000
				ポリエチレン管 距離14.0km以下(11.5km越) DID区間有 クレーン装置付BT2t級2.9t吊	t	12.0	12	40*0.3
				現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付きBT2t級2.9t吊	t	13.7	14	1.48+0.249+12.0
			殺処分	廃プラスチック処理費 対候性土のう(長期) 3.5kg/袋	t	1.48	1.48	見積
				廃プラスチック処理費 砂防シート(不織布(長繊維化繊系)) 0.5kg/m2	t	0.249	0.25	見積
				廃プラスチック処理費 高耐圧ポリエチレン管 0.3t/m	t	12	12	見積
	P 2 橋脚工							
		作業土工						
			床掘り	A領域 土砂 標準 切梁腹起式 障害無し	m3	181.5	180	計第4表
			床掘り	B領域 土砂 標準 切梁腹起式 障害有り	m3	423.5	420	計第4表
			床掘り	C領域 土砂 掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式 障害有り	m3	187.9	190	計第4表
			埋戻し	最大埋戻幅4m以上	m3	413.7	410	計第4表
			基面整正		m2	72.1	72	計第4表
			横込(ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	m3	459.7	460	計第4表
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離1.5km以下(1.0km超)	m3	459.7	460	計第4表
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離1.5km以下(1.0km超)	m3	459.7	460	計第4表
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	m3	322.0	320	計第4表
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	m3	11.2	10	計第4表
			残土等処分	粘性土	m3	322.0	320	計第4表
			残土等処分	岩塊玉石混じり土	m3	11.2	10	計第4表

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
道路改良工事 (新渥美島線 (橋梁下部) ・ 8-1)								
橋梁下部								
		場所打杭工						
			場所打杭	基礎杭工 杭1本当り掘削長13.80m 設計杭径 2,000mm レキ質土・粘性土・砂・砂質土の掘削長5.60m 岩塊・玉石の掘削長4.04m中硬岩の掘削長4.16m	本	4.0	4	計第6表
			杭頭処理工	設計杭計2000mm	本	4.0	4	計第6表
			鉄筋工	SD345_D35 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上	t	12.832	12.83	計第6表
				SD345_D16~D25 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上	t	5.288	5.29	計第6表
				SD345_D13 場所打杭用かご筋(無溶接工法) [規]10t以上	t	0.116	0.12	計第6表
			積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	m3	47.6	50	計第6表
				破碎岩 土量50,000m3未満	m3	52.4	50	計第6表
			埋戻し	最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	66.4	70	計第6表
			土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	m3	47.6	50	計第6表
				標準 硬岩 DID区間無し 距離3.0km以下(2.0km超)	m3	52.4	50	計第6表
			残土等処分	砂質土等	m3	47.6	50	計第6表
				硬岩	m3	52.4	50	計第6表
			コンクリート殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	m3	12.4	12	計第6表
			コンクリート殻処分	コンクリート殻処分費 再生工場搬入	t	29.1	29	12.4*2.35
		橋脚躯体工(構造物単位)						
			T型橋脚	100m3以上300m3未満 (H5m以上10m未満) 生コンクリート(各種)	m3	240.0	240	計第8表
				円筒型枠 150×0.04	m	44.2	44	計第8表
			鉄筋工	SD345_D35 一般構造物 [規]10t以上	t	10.661	10.66	計第8表
				SD345_D32 一般構造物 [規]10以上	t	2.227	2.23	計第8表
				SD345_D22 一般構造物 [規]10t以上	t	6.555	6.56	計第8表
				SD345_D19 一般構造物 [規]10t以上	t	2.475	2.48	計第8表
				SD345_D16 一般構造物 [規]10t以上	t	2.147	2.15	計第8表
	護床工							
		護床復旧工						
			布製型枠工	全面水中施工 標準型(水抜部無し)・平均厚t=100mm	m2	245.0	245	護床復旧図面(12/17) 見積
	仮設工							
		工事用道路工						
			敷鉄板	敷鉄板設置	m2	157.9	158	計第10表
				敷鉄板撤去	m2	157.9	158	計第10表
				敷鉄板賃料 22×1524×3048、802kg/枚 貸貸期間137日	枚	34.0	34	計第10表

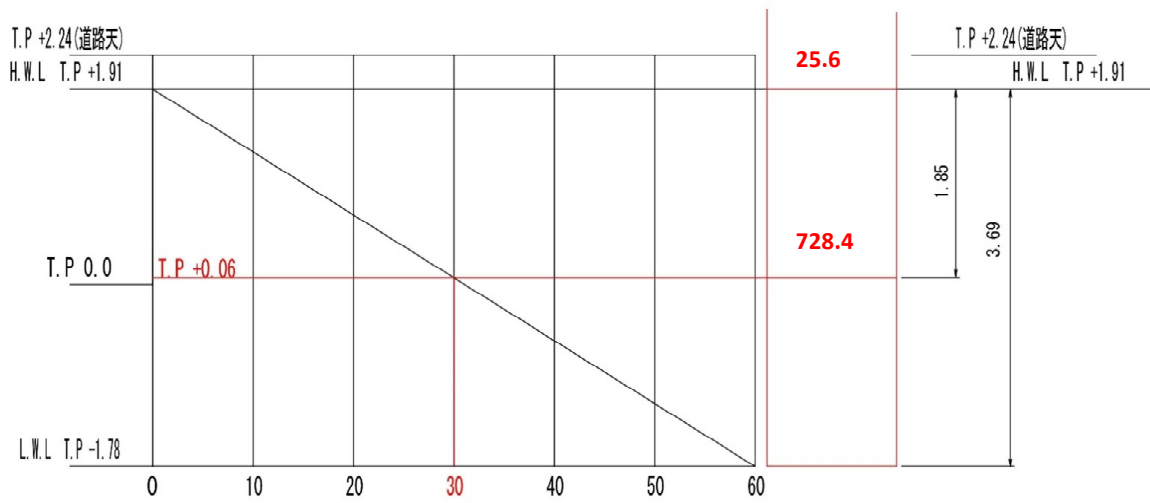
本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単 位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
道路改良工事 (新渥美島線 (橋梁下部) ・ 8-1)								
橋梁下部								
		土留・仮締切工						
			鋼矢板	鋼矢板圧入(50<Nmax≤600) 補助クレーン有り	箇所	108	108	計第11表
				鋼矢板継足し溶接工 IV型 L=14.50+1.50=16.00m	箇所	14	14	計第11表
				鋼矢板引抜き 陸上施工 IV型 引抜き長(m)15m以下(12m超)	枚	108	108	計第11表
				ガス切断 鋼矢板	箇所	14	14	計第11表
				油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入(50<Nmax≤600) IV型 陸上施工	回	1	1	計第11表
				油圧式杭圧入引抜機据付・解体 引抜き IV型 陸上施工	回	1	1	計第11表
				鋼矢板(IV型)賃料 1回使用 供用日数148日	t	114.76	114.8	計第11表
				鋼矢板(IV型)買取	t	1.60	1.6	計第11表
				異形加工鋼矢板 新品買取 材料費・加工費	t	3.31	3.3	計第11表
				鋼矢板スクラップ	t	2.1	2.1	計第11表
			山留材(腹起し・隅火打ち)	山留材(腹起し・隅火打ち)設置	t	50.62	50.6	計第11表
				山留材(腹起し・隅火打ち)撤去	t	50.62	50.6	計第11表
				山留材(腹起しH-500)主部材 賃料 供用日数148日	t	36.58	36.6	計第11表
				山留材(隅火打ちH-300)主部材 賃料 供用日数148日	t	3.60	3.6	計第11表
		水替工						
			ポンプ排水	排水量 0以上40未満(m ³ /h) 作業時排水	日	28.0	28	
	運搬費							
		運搬費						
			建設機械運転費	油圧式杭圧入引抜機(硬質地盤専用) 往復運搬 片道運搬距離 42km	回	1	1	
			重建設機械分解組立輸送費	クローラクレーン系 35t吊超え80t吊以下	回	1	1	
				重建設機械分解組立輸送 オールケーシング掘削機(クローラ式)	回	1	1	
			仮設材運搬費	仮設材等(敷鉄板)運搬 往復 運搬距離 6km 製品長 12m以内 V=27.3 t	式	1	1	802kg/枚×34枚/1000=27.27
				仮設材等(鋼矢板IV型)運搬 往路 運搬距離 75km 製品長 12m超～15m以内 V=116.4t	式	1	1	
				仮設材等(鋼矢板IV型)運搬 復路 運搬距離 75km 製品長 12m超～15m以内 V=114.2t	式	1	1	
				仮設材等(異形加工鋼矢板)運搬 往路 運搬距離 242km 製品長 12m超～15m以内 V=3.3t	式	1	1	
				仮設材等(山留材H500)運搬 往復 運搬距離 198km 製品長 12m以内 V=44.6t	式	1	1	副部材(A)含む
				仮設材等(山留材H300)運搬 往復 運搬距離 6km 製品長 12m以内 V=4.4t	式	1	1	副部材(A)含む

Cブロック 仮設盛土

潮待ち作業割増表

Cブロック

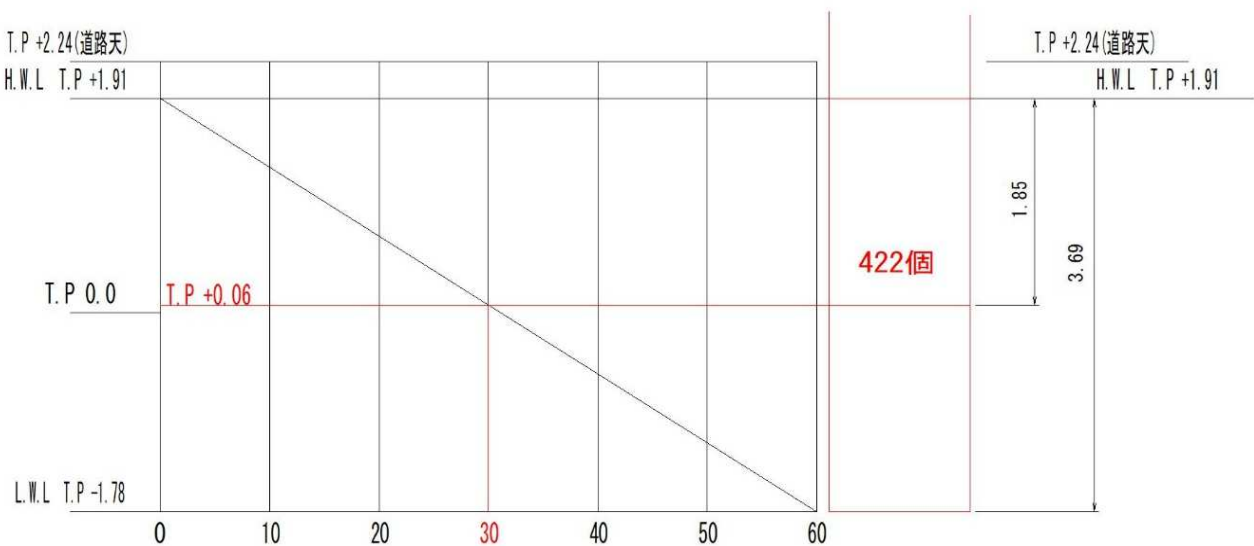


$$\begin{aligned} \text{補正係数} &= \frac{728.4 \times 1.3 + 25.6 \times 1.0}{728.4 + 25.6} \\ &= 1.29 \end{aligned}$$

Cブロック 大型土のう

潮待ち作業割増表

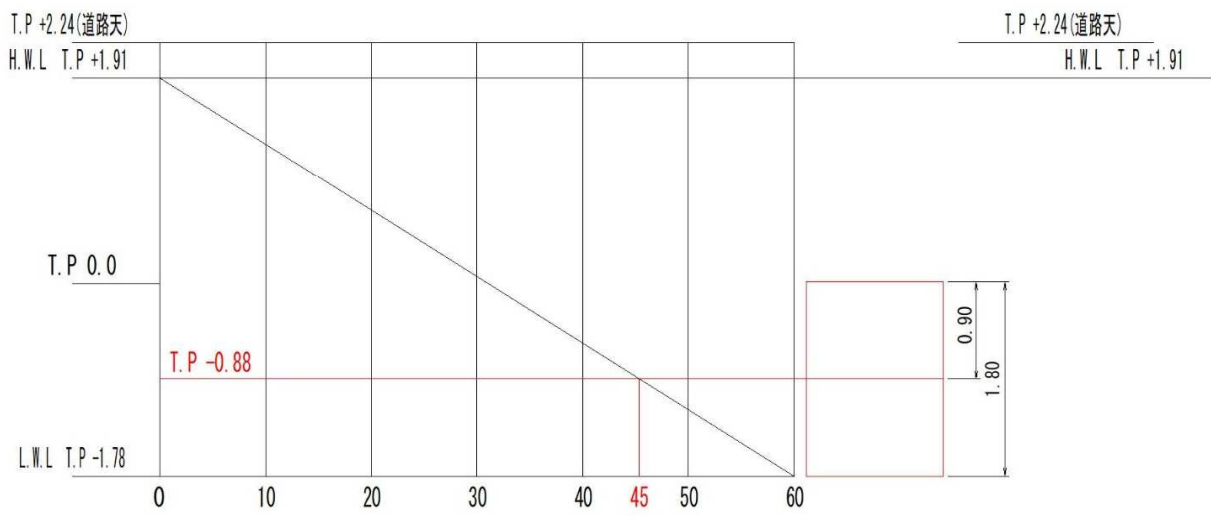
Cブロック



$$\begin{aligned} \text{補正係数} &= \frac{422 \times 1.3 + 0 \times 1.0}{422 + 0} \\ &= 1.30 \end{aligned}$$

潮待ち作業割増表

Cブロック



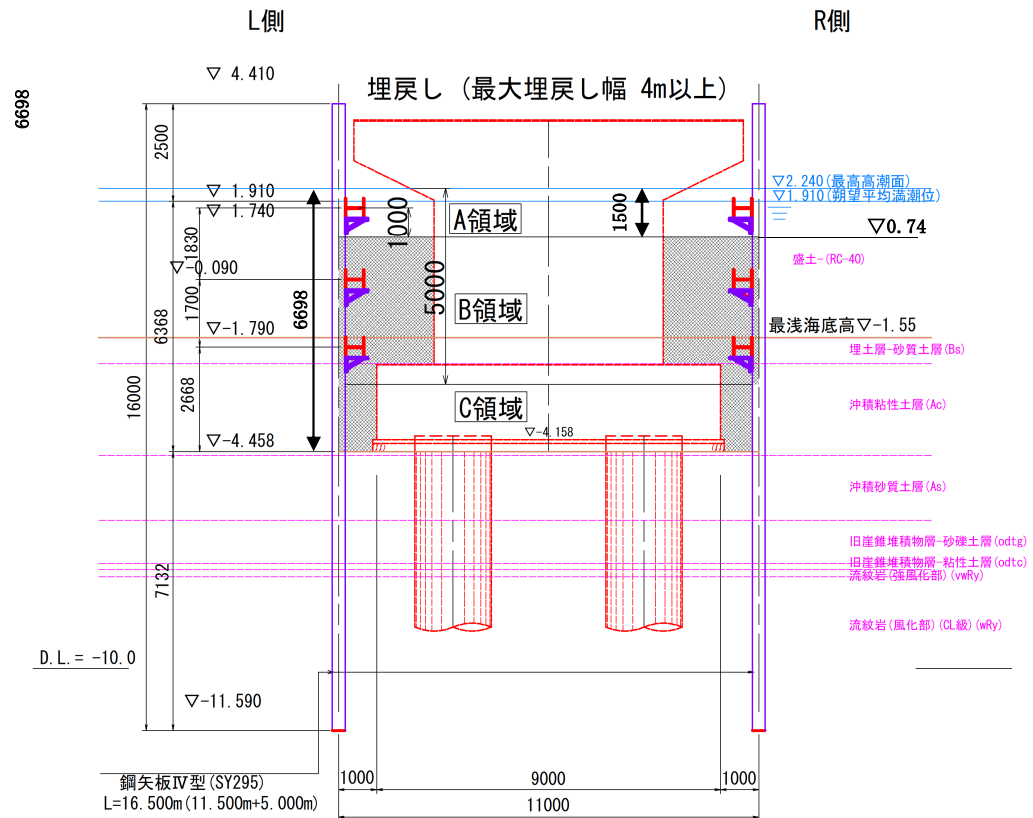
$$\begin{aligned} \text{補正係数} &= \frac{1 \times 1.45 + 0 \times 1.0}{1 + 0} \\ &= 1.45 \end{aligned}$$

P2橋脚(作業土工) 数量総括表

種 別	規 格		単 位	P2橋脚		合 計
床掘り	標準・切梁腹起式・障害無し	A領域	土砂	m ³	181.5	181.5
	標準・切梁腹起式・障害有り	B領域	土砂	m ³	423.5	423.5
	掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式・障害有り	C領域	土砂	m ³	187.9	187.9
	計			m ³	792.9	792.9
埋戻し	最大埋戻幅 4m以上		土砂	m ³	413.7	413.7
	最大埋戻幅 1m以上4m未満		土砂	m ³		
積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m ³ 未満		m ³	459.7		459.7
仮置土	往復運搬 413.7×1/0.9		m ³	459.7		459.7
残土			m ³	11.2		11.2
捨土	海底の軟弱土		m ³	322.0		322.0
基面整正			m ²	72.1		72.1

2. 埋戻し (最大埋戻し幅 4m以上, 土砂)

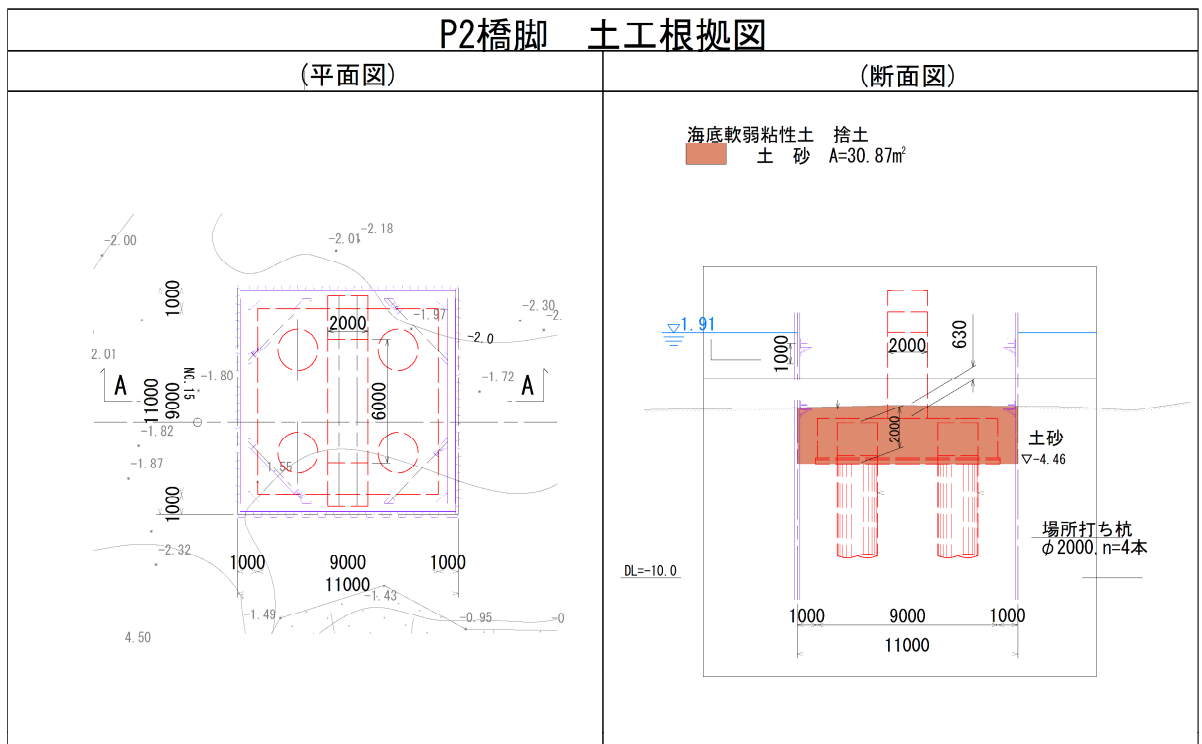
		盛土天	腹起し-1.0m		
埋戻高	=	6.698	- (2.240 - 0.74)	=	5.198 m
V1=		11.00	× 11.000	× 5.198	= 629.0 m ³
躯体控除 V2=	(-)	6.000	× 2.000	× 2.998	= -36.0 m ³
フーチング控除 V3=	(-)	9.000	× 9.000	× 1.900	= -153.9 m ³
均しコン控除 V4=	(-)	9.200	× 9.200	× 0.100	= -8.5 m ³
基礎碎石控除 V5=	(-)	9.200	× 9.200	× 0.200	= -16.9 m ³
		ΣV	=	413.7	m ³



3. 捨土

① C領域, 土砂

$$\begin{aligned}
 V1 &= \frac{m^2}{30.87} \times 11.000 &= 339.6 \text{ m}^3 \\
 \text{杭頭控除 } V2 &= (-) \frac{\pi}{4} \times 2.000^2 \times 1.400 \times 4 &= -17.6 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= 322.0 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$



4. 残土

$$V = \frac{792.9 \text{ m}^3}{\text{床掘り土量}} - \frac{322.0 \text{ m}^3}{\text{捨土}} - \frac{413.7}{\text{埋戻し土量}} \times 1 / 0.90 = 11.2 \text{ m}^3$$

5. 基面整正

$$\begin{aligned}
 A1 &= 9.200 \times 9.200 &= 84.64 \text{ m}^2 \\
 \text{杭控除 } A2 &= (-) \frac{\pi}{4} \times 2.000^2 \times 4 &= -12.57 \text{ m}^2 \\
 \hline
 \Sigma A &= 72.07 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

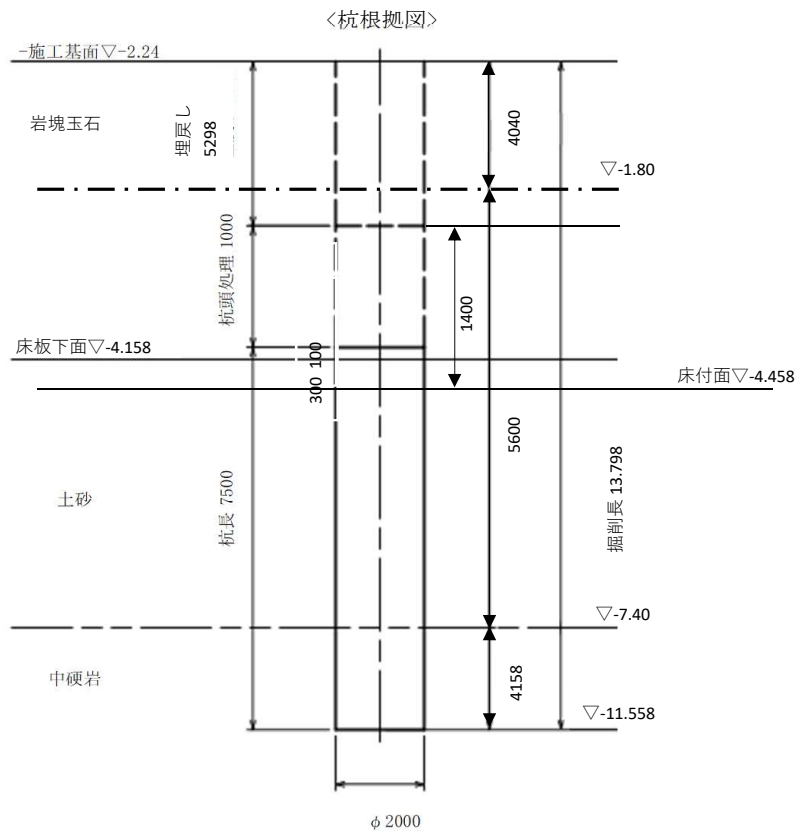
基礎工 数量総括表

種 別	規 格	単 位	P2橋脚		合 計	
			φ 2000, N=4本			
			1本当り	1基当り		
場所打ち杭		本			4 本	
杭 長		m				
	Φ 2000	m	7.5	30.0		
コンクリート	呼び強度 30N/mm ²	m ³	23.6	94.4		
鉄 筋	SD345 場所打ち杭用かご筋	D35	kg	3208	12832	
		D32~D29	kg			
		D25~D16	kg	1322	5288	
		D13	kg	29	116	
		合 計	kg	4559	18236	
杭頭処理	設計杭計 2000mm	本			4 本	
		m ³	3.1	12.4		
補強リング 固定金具	L6×50×50	kg				
	L12×75×75	kg	202	808		
	L9×75×75	kg				
	FB 9×65	kg				
	Uボルト	D35用, SS400	本	144	576	
D22用, SS400		本				
スペーサー	L=0.300m	本	24	96		
スペーサー 固定金具	Uボルト	D35用, SS400	本	48	192	
		D22用, SS400	本			
	FB30×4	kg	4	16		
土質別掘削長	岩塊玉石まじり土	m	4.0	16.0		
	土砂	m	5.6	22.4		
	中硬岩	m	4.2	16.8		
土 工	掘削	岩塊玉石まじり土	m ³	12.7	50.8	
		土砂	m ³	17.6	70.4	
		中硬岩	m ³	13.1	52.4	
	埋戻し		m ³	16.6	66.4	
			m ³			
	残土・積込	岩塊玉石まじり土	m ³			
		土砂	m ³	11.9	47.6	
中硬岩		m ³	13.1	52.4		

P2橋脚 場所打ち杭

杭 径 φ 2000 杭 長 L= 7.500 m
 杭本数 4 本 施工方法: 全回転式オールケーシング工

(杭1本当り数量)



1. コンクリート (呼び強度 30N/mm²)

$$V = \frac{\pi}{4} \times 2.000^2 \times 7.500 = 23.56 \text{ m}^3$$

2. 鉄筋 (SD345, 場所打ち杭用かご筋)

(kg)

径	本体	合計
D35	3208	3208
D32		
D29		
D25		
D22	1322	1322
D19		
D16		
D13	29	29
合計	4559	4559

3. 杭頭処理

$$V = \pi/4 \times 2.000^2 \times 1.000 = 3.14 \text{ m}^3$$

4. 補強リング、固定金具

a) L12×75×75

$$W = \text{場所打ち杭配筋図 補強リング、固定金具より} = 202 \text{ kg}$$

b) Uボルト (SS400)

(本)

	本数
D35用	144

5. スペーサー (L=0.300m)

$$N = 24 \text{ 本}$$

6. スペーサー固定金具

a) Uボルト (SS400)

(本)

	本数
D35用	48

b) FB 30×4

$$W = \text{場所打ち杭配筋図 スペーサー固定金具より} = 4 \text{ kg}$$

7. 土質別掘削長

土質別掘削長集計表 (m)

土質	掘削長
岩塊玉石混じり土	4.04
土砂	5.60
中硬岩	4.16
合計	13.80

P2橋脚 場所打ち杭
杭土工

1. 掘削

土質	掘削径(m)	掘削長(m)	断面積(m ²)	掘削土量(m ³)
岩塊玉石混じり土	2.000	4.04	3.142	12.7
土砂	2.000	5.60	3.142	17.6
中硬岩	2.000	4.16	3.142	13.1
合計	-	13.80	-	43.4

土質別掘削集計表 (m³)

土質	掘削土量
岩塊玉石混じり土	12.7
土砂	17.6
中硬岩	13.1
合計	43.4

2. 埋戻し

$$V = \pi / 4 \times 2.000^2 \times 5.298 = 16.6 \text{ m}^3$$

3. 残土

流用(埋戻し)

$$V = 16.6 \times 1 / \frac{0.90}{\text{土量変化率}} = 18.4 \text{ m}^3$$

a) 岩塊・玉石混じり土

$$V = \frac{12.7 \text{ m}^3}{\text{土砂掘削土量}} - \frac{12.7}{\text{流用18.4m}^3\text{のうち}} = 0.0 \text{ m}^3$$

b) 土砂

$$V = \frac{17.6 \text{ m}^3}{\text{土砂掘削土量}} - \frac{5.7}{\text{流用18.4m}^3\text{のうち}} = 11.9 \text{ m}^3$$

c) 中硬岩

$$V = \frac{13.10 \text{ m}^3}{\text{中硬岩掘削土量}} = 13.1 \text{ m}^3$$

下部工 数量総括表

種 別		規 格	区 分		単 位	A1橋台	P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	A2橋台	合 計
コンクリート	底版	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$			m^3			152.6			152.6
	縦壁				m^3						
	パラベット				m^3						
	ウイング				m^3						
	柱				m^3			50.4			50.4
	梁				m^3			36.9			36.9
	合計				m^3			240.0			240.0
型 枠	底版	一般型枠, 鉄筋・無筋構造物			m^2			68.4			68.4
	縦壁				m^2						
	パラベット				m^2						
	ウイング				m^2						
	柱				m^2			67.2			67.2
	梁				m^2			51.7			51.7
	合計				m^2			187.3			187.3
均しコンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ $t=10\text{cm}$			m^2			72.1			72.1
均しコンクリート型枠					m^3			7.2			7.2
基礎砕石		RC-40, $t=20\text{cm}$			m^2			3.7			3.7
伸縮後打ち					m^2			72.1			72.1
鉄 筋	SD345 一般構造物	D51			kg						
		D41			kg						
		D38			kg						
		D35			kg			10661			10661
		D32			kg			2227			2227
		D22			kg			6555			6555
		D19			kg			2475			2475
		D16			kg			2147			2147
		合 計			kg			24065			24065
足場工			手摺先行型枠組足場	$H \leq 30\text{m}$	掛 m^2			169.5			170
支保工		パイプサポート	$H < 4.0\text{m}$	$w \leq 40\text{kN/m}^2$	空 m^3			14.2			14
				$40\text{kN/m}^2 < w \leq 60\text{kN/m}^2$	空 m^3						
		くさび結合	$h \leq 30\text{m}$	$w \leq 40\text{kN/m}^2$	空 m^3						
円筒型枠		$\phi 150$			m			44.2			44.2
ガードレール延長		Gr-C-2B			m						
ガードレール箱抜き		$\phi 180$			m						
転落防止柵延長		P種			m						
転落防止柵箱抜き		$\phi 100$			m						
コンクリート塗装		CC-B			m^2						

P2橋脚

1. コンクリート ($\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$)

a) 底版

$$\begin{aligned}
 V1 &= 9.000 \times 9.000 \times 1.900 & = 153.90 \text{ m}^3 \\
 \text{杭控除 } V2 &= (-) \pi/4 \times 2.000^2 \times 0.100 \times 4 & = -1.26 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V1 & & = 152.64 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

b) 柱

$$\begin{aligned}
 V &= 2.000 \times 6.000 \times 4.200 & = 50.40 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V2 & & = 50.40 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

c) 梁

$$\begin{aligned}
 V1 &= 1/2 \times 2.000 \times 10.200 \times 0.030 & = 0.31 \text{ m}^3 \\
 V2 &= 2.000 \times 10.200 \times 1.000 & = 20.40 \text{ m}^3 \\
 V3 &= 2.000 \times 1/2 \times (10.200 + 6.000) \times 1.000 & = 16.20 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V3 & & = 36.91 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

コンクリート集計 (m³)

	数量
底版	152.640
柱	50.40
梁	36.91
合計	239.95

2. 型 枠 (一般型枠, 鉄筋・無筋構造物)

a) 底版

$$\begin{aligned}
 A &= (9.000 + 9.000) \times 1.900 \times 2 & = 68.40 \text{ m}^2 \\
 \hline
 \Sigma A1 & & = 68.40 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

b) 柱

$$\begin{aligned}
 A &= (2.000 + 6.000) \times 4.200 \times 2 & = 67.20 \text{ m}^2 \\
 \hline
 \Sigma A2 & & = 67.20 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

c) 梁

$$\begin{aligned}
 A1 &= (2.000 + 10.200) \times 1.000 \times 2 = 24.40 \text{ m}^2 \\
 A2 &= 1/2 \times (10.200 + 6.000) \times 1.000 \times 2 = 16.20 \text{ m}^2 \\
 A3 &= 1/2 \times 2.000 \times 0.030 \times 2 = 0.06 \text{ m}^2 \\
 \text{妻面 } A4 &= 2.000 \times 2.326 \times 2 = 9.30 \text{ m}^2 \\
 \text{支承 } A5 &= \{ (10.040 \times (0.050 + 0.030) \\
 &\quad + 0.660 \times (0.050 + 0.030)) \times 1/2 \times 2 \} \times 2 = 1.71 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

$$\Sigma A3 = 51.67 \text{ m}^2$$

型枠集計 (m²)

	数量
底版	68.40
柱	67.20
梁	51.67
合計	187.27

4. 均しコンクリート (σ_{ck}=18N/mm², t=10cm)

$$\begin{aligned}
 A1 &= 9.200 \times 9.200 = 84.64 \text{ m}^2 \\
 &\quad \text{m}^3 \\
 \text{杭控除 } A2 &= (-) \pi/4 \times 2.000^2 \times 4 = -12.57 \text{ m}^2 \\
 &\quad \text{m}^2 \\
 V &= 72.07 \times 0.100 = 7.21 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$\Sigma A = 72.07 \text{ m}^2$$

5. 均しコンクリート型枠

$$A = (9.200 + 9.200) \times 0.100 \times 2 = 3.68 \text{ m}^2$$

6. 基礎碎石 (RC-40, t=20cm)

$$\begin{aligned}
 A1 &= 9.200 \times 9.200 = 84.64 \text{ m}^2 \\
 &\quad \text{m}^3 \\
 \text{杭控除 } A2 &= (-) \pi/4 \times 2.000^2 \times 4 = -12.57 \text{ m}^2 \\
 &\quad \text{m}^2
 \end{aligned}$$

$$\Sigma A = 72.07 \text{ m}^2$$

7. 鉄筋 (SD345, 一般構造物)

(kg)

径	本体	合計
D35	10661	10661
D32	2227	2227
D29		
D25		
D22	6555	6555
D19	2475	2475
D16	2147	2147
D13		
合計	24065	24065

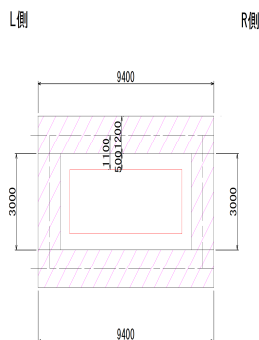
8. 足場工 (手摺先行型枠組足場, H≤30m)

柱部 H = 4.2 m
 $A = (9.400 + 3.000) \times 4.200 \times 2 = 104.2 \text{ 掛m}^2$

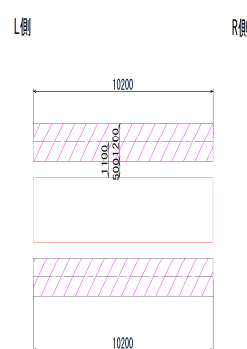
梁部
 $A = 10.200 \times (3.942 - 0.74) \times 2 = 65.3 \text{ 掛m}^2$

合計 169.5 掛m²

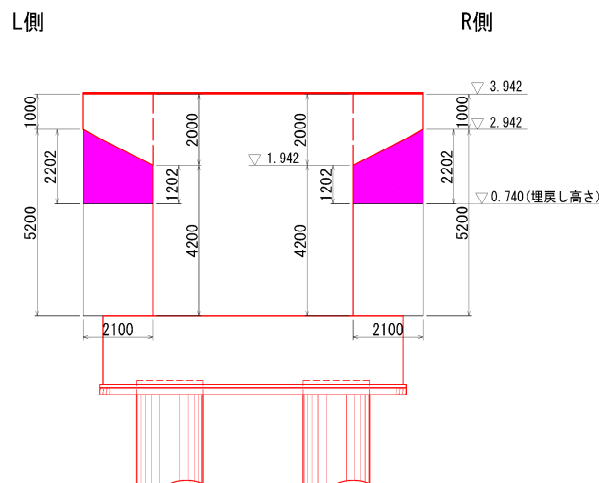
足場工根拠図
(橋脚 柱部)
(平面図)



足場工根拠図
(橋脚 梁部)
(平面図)



(断面図)



9. 支保工

a) L側梁

$$\begin{aligned}
 \text{平均厚 } t &= \frac{1}{2} \times (1.000 + 2.000) = 1.500 \text{ m} \\
 \text{支保耐力 } w &= 1.500 \times 24.5 = 36.75 \text{ kN/m}^2 \\
 \text{平均高 } h &= \frac{1}{2} \times (2.202 + 1.202) = 1.70 \text{ m} \\
 V &= 2.000 \times 2.100 \times \frac{1}{2} \times (2.202 + 1.202) = 7.1 \text{ 空m}^3
 \end{aligned}$$

b) R側梁

$$V = 8. \text{支保工 a) L側梁 より} = 7.1 \text{ 空m}^3$$

支保工集計				(空m ³)	
	平均設置高	支保耐力	L側梁	R側梁	合計
パイプサポート	h<4.0m	40kN/m ² 以下	7.1	7.1	14.2

(断面図)

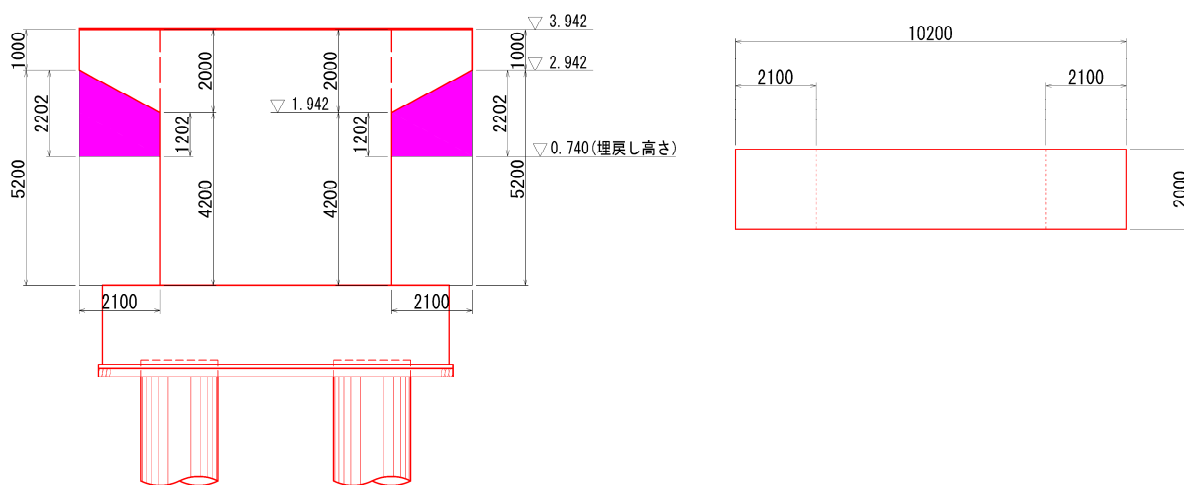
(平面図)

L側

R側

L側

R側



10. アンカーボルト箱抜き (φ150)

$$\begin{aligned}
 l &= 0.425 \text{ m} \\
 n &= 26 \times 4 = 104 \text{ 箇所} \\
 L &= 0.425 \times 104 = 44.20 \text{ m}
 \end{aligned}$$

仮締切工 数量総括表

種 別	規 格	単 位	P2橋脚	備 考
鋼矢板圧入	圧入(50<Nmax≤600)、補助クレーン有 IV型+異形加工鋼矢板	枚	108	Nmax=300 油圧式(硬質地盤クリア工法) 補助クレーン25t ラフタークレーン
鋼矢板継足し溶接	IV型 L=14.50+1.50m	箇所	14	縦方向の継溶接
鋼矢板引抜	IV型+異形加工鋼矢板	枚	108	油圧式
ガス切断		箇所	14	IV型 継溶接分
油圧式杭圧入引抜機 据付・解体	圧入(50<Nmax≤600)	回	1	
油圧式杭圧入引抜機 据付・解体	引抜	回	1	
鋼矢板(IV型)賃料		t	114.76	
鋼矢板(IV型)買取		t	1.60	
鋼矢板(異形加工鋼矢板)新品買取	材料費・加工費	t	3.31	
鋼矢板スクラップ		t	2.13	切断した鋼矢板(L=2.00m)分のみ対象
鋼矢板運搬	搬入(往路)	t	116.36	鋼矢板(IV型)を対象 114.76+1.60
鋼矢板運搬	搬出(復路)	t	114.23	鋼矢板(IV型)を対象 99.31+14.92
鋼矢板運搬	搬入(往路)	t	3.31	鋼矢板(異形加工)を対象
山留材設置	腹起し+隅火打ち	t	50.62	主部材+副部材(A)+副部材(B)
山留材撤去	腹起し+隅火打ち	t	50.62	主部材+副部材(A)+副部材(B)
山留材(腹起し)主部材 賃料	H-500×500×25×25(SS400)	t	36.58	副部材(A)賃料及び副部材(B)不足分弁償金を含む
山留材(隅火打ち)主部材 賃料	H-300×300×10×15(SS400)	t	3.60	副部材(A)賃料及び副部材(B)不足分弁償金を含む
山留材(腹起し)運搬	H-500×500×25×25(SS400) 搬入・搬出(往復)	t	44.63	主部材・副部材(A)を対象
山留材(隅火打ち)運搬	H-300×300×10×15(SS400) 搬入・搬出(往復)	t	4.39	主部材・副部材(A)を対象

現場搬入（鋼矢板）

種別	取扱方法	単位質量(kg/m)	長さ(mm)	本数	質量(t)
IV型	リース	76.1	14,500	104	114.76
	買取	76.1	1,500	14	1.60
異形加工矢板	新品買取	114.2	14,500	2	3.31
合計					119.67

現場搬出（鋼矢板）

種別	取扱方法	単位質量(kg/m)	長さ(mm)	本数	質量(t)
IV型	返却	76.1	14,500	90	99.31
		76.1	14,000	14	14.92
	スクラップ	76.1	2,000	14	2.13
異形加工鋼矢板B	現場残置	114.2	14,500	4	6.62
合計					122.98

(1) 鋼矢板（IV型）賃料

$$V = \underline{\quad 114.76 \quad} t$$

(2) 鋼矢板（IV型）買取

$$V = \underline{\quad 1.60 \quad} t$$

(3) 鋼矢板（異形加工矢板）新品買取 ※見積

$$V = \underline{\quad 3.31 \quad} t$$

(4) 鋼矢板スクラップ

$$V = \underline{\quad 2.13 \quad} t$$

現場搬入（山留材（主部材））

種別	細別	取扱方法	単位質量(kg/m)	長さ(mm)	本数	質量(t)
腹起し	H-500×500×25×25	リース	300	10,660	6	19.19
			300	9,660	6	17.39
隅火打ち	H-300×300×10×15		100	3,000	12	3.60
合計						40.18

現場搬出（山留材（主部材））

種別	細別	取扱方法	単位質量(kg/m)	長さ(mm)	本数	質量(t)
腹起し	H-500×500×25×25	リース	300	10,660	6	19.19
			300	9,660	6	17.39
隅火打ち	H-300×300×10×15		100	3,000	12	3.60
合計						40.18

(1) 山留材（腹起し：H-500×500×25×25）主部材 賃料

$$V = \underline{\quad 36.58 \quad} t$$

(2) 山留材（腹起し：H-500×500×25×25）副部材(A) 賃料

$$V = \underline{\quad 8.05 \quad} t \quad \text{主部材} \times 0.22$$

(3) 山留材（腹起し：H-500×500×25×25）副部材(B) 不足分弁償金

$$V = \underline{\quad 1.46 \quad} t \quad \text{主部材} \times 0.04$$

(4) 山留材（隅火打ち：H-300×300×10×15）主部材 賃料

$$V = \underline{\quad 3.60 \quad} t$$

(5) 山留材（隅火打ち：H-300×300×10×15）副部材(A) 賃料

$$V = \underline{\quad 0.79 \quad} t \quad \text{主部材} \times 0.22$$

(6) 山留材（隅火打ち：H-300×300×10×15）副部材(B) 不足分弁償金

$$V = \underline{\quad 0.14 \quad} t \quad \text{主部材} \times 0.04$$

P2橋脚

1. 鋼材質量

種別	寸 法							材質	長さ	本数	単位質量	質量	備考		
鋼矢板	IV型							SY295	14500	86	76.1	94897	引抜き		
鋼矢板	IV型							SY295	14500	14	76.1	15448	引抜き		
鋼矢板	IV型							SY295	1500	14	76.1	1598	引抜き		
鋼矢板	鋼矢板C:鋼矢板C3コーナー							SY295	14500	4	76.1	4414	引抜き		
											小計	116357	kg		
鋼矢板	鋼矢板B							SY295	14500	2	114.2	3312	引抜き		
鋼矢板	鋼矢板B:流用品							SY295	14500	2	114.2	3312	引抜き		
											小計	6624			
腹起し	H	-	500	×	500	×	25	×	25	SS400	10660	6	300.0	19188	加工材
腹起し	H	-	500	×	500	×	25	×	25	SS400	9660	6	300.0	17388	加工材
隅火打ち	H	-	300	×	300	×	10	×	15	SS400	3000	12	100.0	3600	加工材
											小計	40176	kg		
鋼矢板	IV型							(SY295)	(引抜き)		L=16.000m		17046	kg	
	IV型							(SY295)	(引抜き)		L=14.500m		94897	kg	
	鋼矢板C:鋼矢板C3コーナー							(SY295)	(引抜き)		L=14.500m		4414	kg	
	鋼矢板B:							(SY295)	(引抜き)		L=14.500m		3312	kg	
	鋼矢板B:流用品							(SY295)	(引抜き)		L=14.500m		3312	kg	
小計													122981	kg	
主部材	H	-	500	×	500	×	25	×	25	(SS400)	(加工材)			36576	kg
	H	-	300	×	300	×	10	×	15	(SS400)	(加工材)			3600	kg
小計(主部材)														40176	kg
副部材(A)	主部材		×	0.22										8839	kg
副部材(B)	主部材		×	0.04										1607	kg
小計(副部材)														10446	kg
合計(主部材+副部材)														50622	kg
運搬質量(主部材+副部材(A))														49015	kg
鋼矢板B:異形加工鋼矢板IV型											L=14.500m		2	枚	
鋼矢板B:異形加工鋼矢板IV型(流用品)											L=14.500m		2	枚	
継手箇所(IV型)											N=		14	箇所	

鋼矢板圧入(50<Nmax≤600)補助クレーンあり	IV型+異形加工鋼矢板	86+14+4+4(鋼矢板B)	L=14.500m	108	枚
鋼矢板継足し溶接	IV型	縦方向		14	箇所
鋼矢板引抜	IV型+異形加工鋼矢板			108	枚
ガス切断				14	箇所
油圧式杭圧入引抜機	据付・解体	圧入(50<Nmax≤600)		1	回
油圧式杭圧入引抜機	据付・解体	引き抜き		1	回

2. 打設長 (硬質地盤クリア工法)

a) 盛土(岩塊玉石混じり土を想定)

$$L1 = 4.04 \times 108 = 436.32 \text{ m}$$

$$\text{(1本当り) } L = \frac{436.32}{108} = 4.04 \text{ m}$$

b) 沖積粘性土

$$L1 = 2.80 \times 108 = 302.40 \text{ m}$$

$$\text{(1本当り) } L = \frac{302.40}{108} = 2.80 \text{ m}$$

c) 沖積砂質土

$$L = 1.70 \times 108 = 183.60 \text{ m}$$

$$\text{(1本当り) } L = \frac{183.60}{108} = 1.70 \text{ m}$$

d) 旧崖錐堆積物層砂礫層

$$L = 1.10 \times 108 = 118.80 \text{ m}$$

$$\text{(1本当り) } L = \frac{118.80}{108} = 1.10 \text{ m}$$

e) 旧崖錐堆積物層粘性層・中硬岩

$$L = 1 \times (0.220 + 3.970) \times 108 = 452.52 \text{ m}$$

$$\text{(1本当り) } L = \frac{452.52}{108} = 4.19 \text{ m}$$

3. 打込み長 (最大N値 600以下と想定) <クラッシュバイラー工法>

$$L = 13.830 \times 108 = 1493.64 \text{ m}$$

$$\text{(1枚当り) } L = \frac{1493.64}{108} = 13.83 \text{ m}$$

4. 引抜き長 <油圧引抜工>

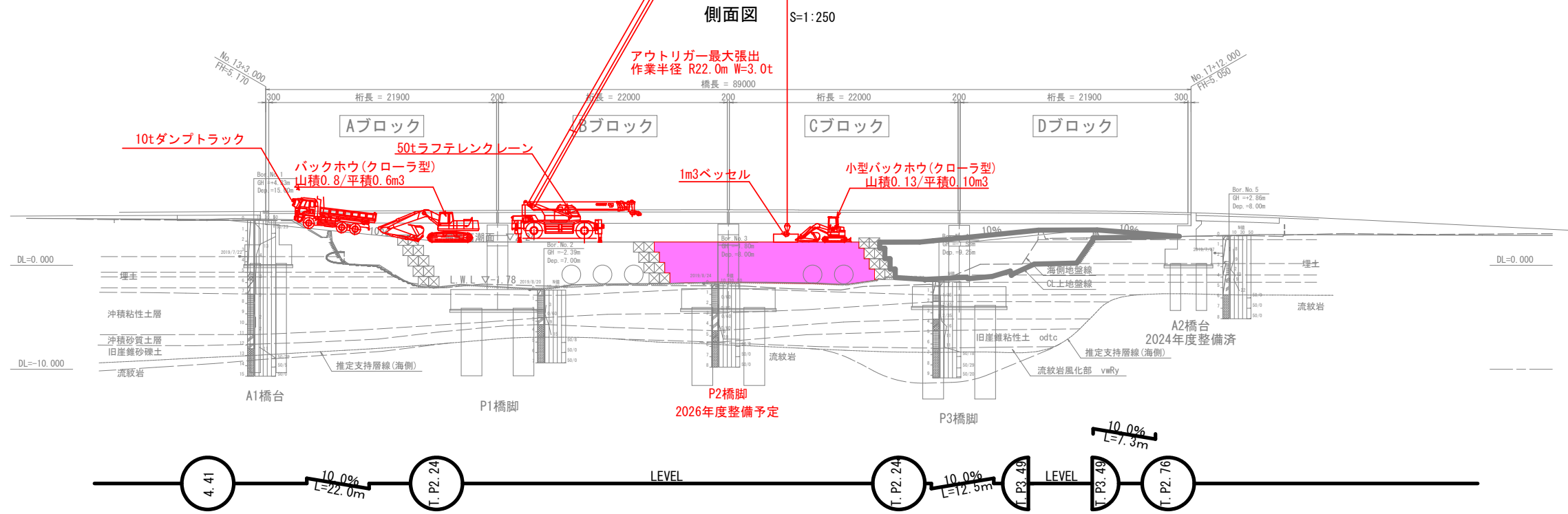
a) 鋼矢板 IV型および異形加工鋼矢板

$$L = 4. \text{打込み長 a) 鋼矢板 IV型および異形加工鋼矢板 L より} = 1493.64 \text{ m}$$

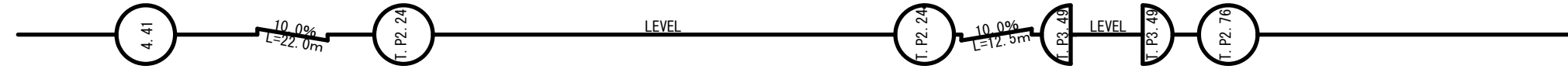
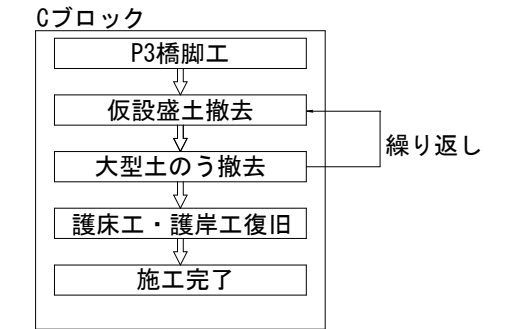
$$\text{(1枚当り) } L = 4. \text{打込み長 a) 鋼矢板 IV型および異形加工鋼矢板(1枚当り) L より} = 13.83 \text{ m}$$

参 考 图 面

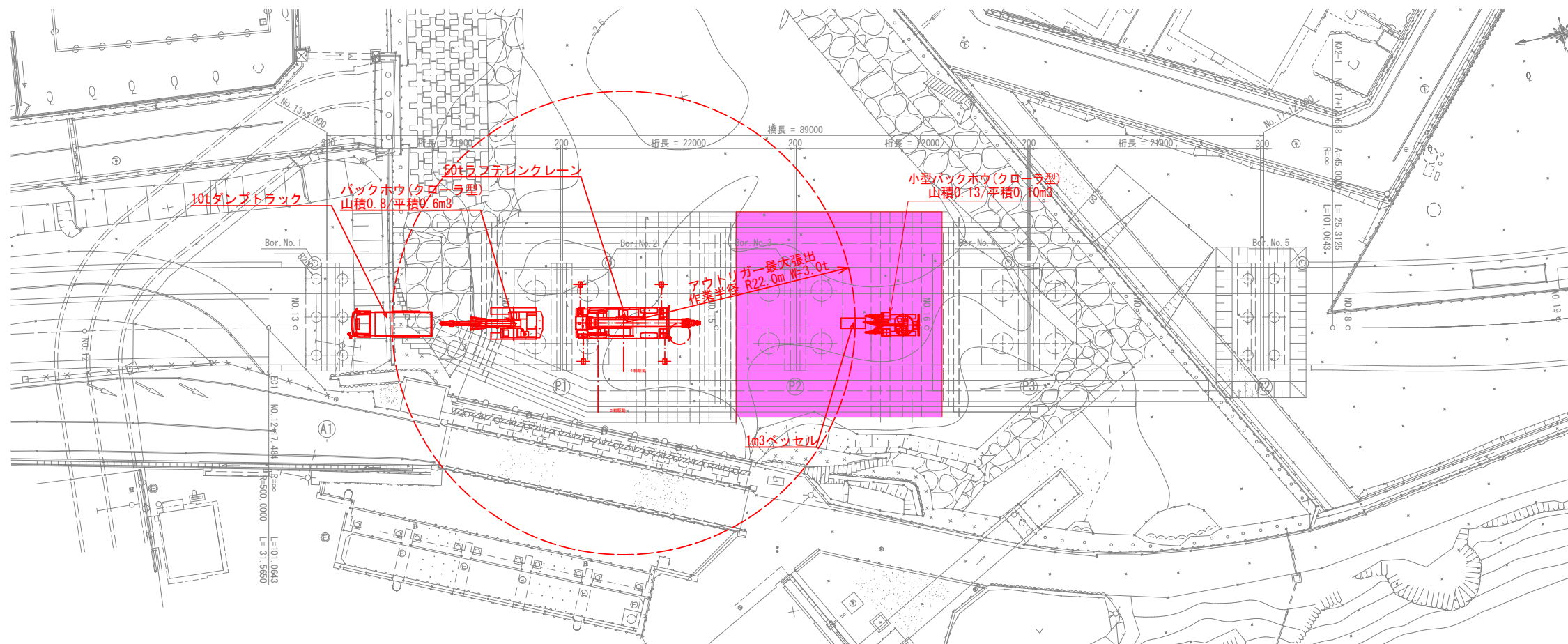
仮設盛土撤去工 施工要領図 Cブロック



Cブロック (潮待ち補正箇所)
 仮設盛土 V=754m³
 大型土のう N=422個



平面図 S=1:250



作業手順 (参考)
 ①50tラフテレンクレーンで小型バックホウ及びベッセルを終点側へ吊込
 ②小型バックホウで仮設盛土を掘削し、残土を1m3ベッセルに積込
 ③50tラフテレンクレーンで1m3ベッセルを起点側へ吊込
 ④0.7m3バックホウで残土の積込を行い、10tダンプトラックで場外搬出
 ※各作業は、Dブロックの潮待ち補正係数1.25の条件で施工する。
 ※P3橋脚終点側の仮設盛土撤去が完了したら、0.7m3バックホウで直接掘削する。

潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M.X.H.W.L	既往最高潮面	4.96 3.00
H.H.W.L	最高潮面	4.20 2.24
H.W.L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M.S.L	平均水面	2.10 0.14
T.M.S.L (旧称:T.P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M.L.W.L	平均低潮面	1.01 -0.95
L.W.L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C.D.L	最低水面	0.00 -1.96

※T.M.S.L (旧称T.P) で図示している。

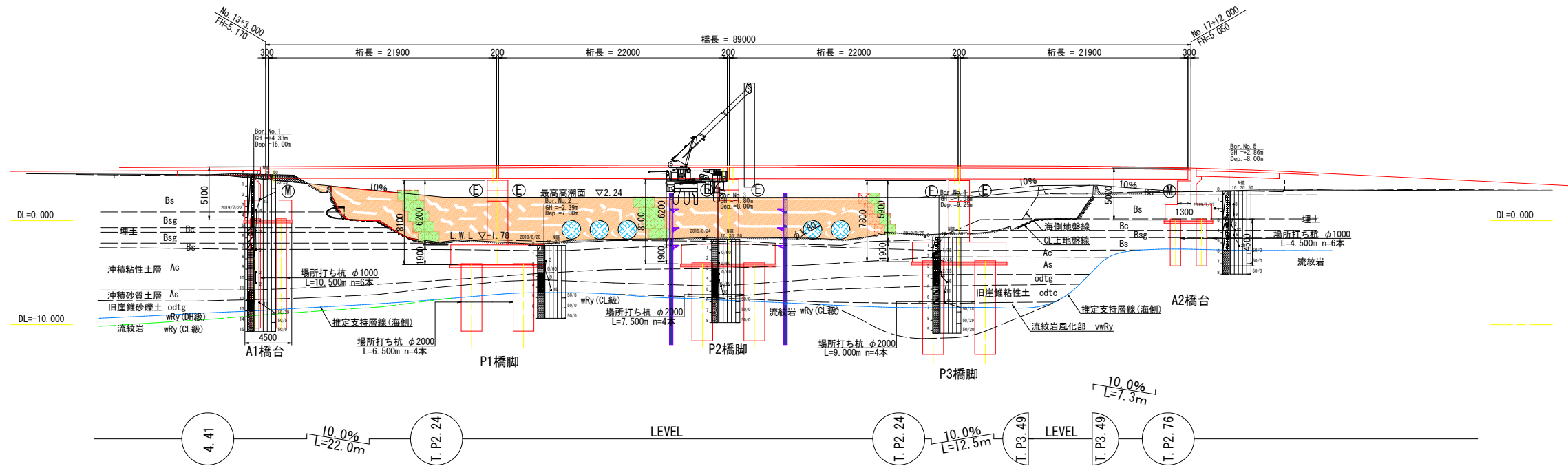


※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2026年(令和8年)5月

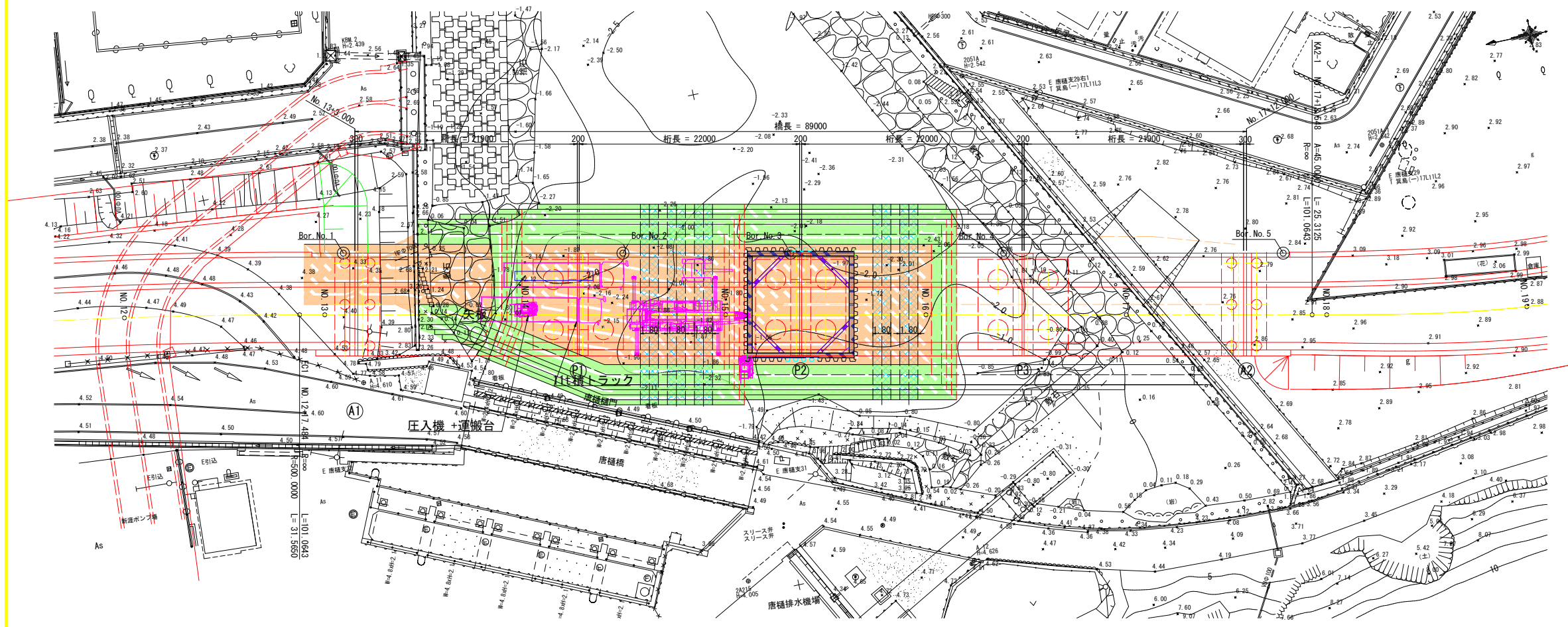
図面番号	参考図1	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	仮設盛土撤去工 施工要領図	番号	1/1
路線名	新湊箕島線 (橋梁下部) ・ 8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

P2橋脚仮締切工施工要領図

側面図 S=1:250



平面図 S=1:250



潮位種別	C.D.L	T.M.S.L
M. X. H. W. L	既往最高高潮面	4.96 3.00
H. H. W. L	最高高潮面	4.20 2.24
H. W. L	朔望平均満潮面	3.87 1.91
M. S. L	平均水面	2.10 0.14
T. M. S. L (旧称:T. P)	東京湾中等潮位	1.96 0.00
M. L. W. L	平均低潮面	1.01 -0.95
L. W. L	朔望平均干潮面	0.18 -1.78
C. D. L	最低水面	0.00 -1.96

※T. M. S. L (旧称T. P) で図示している。

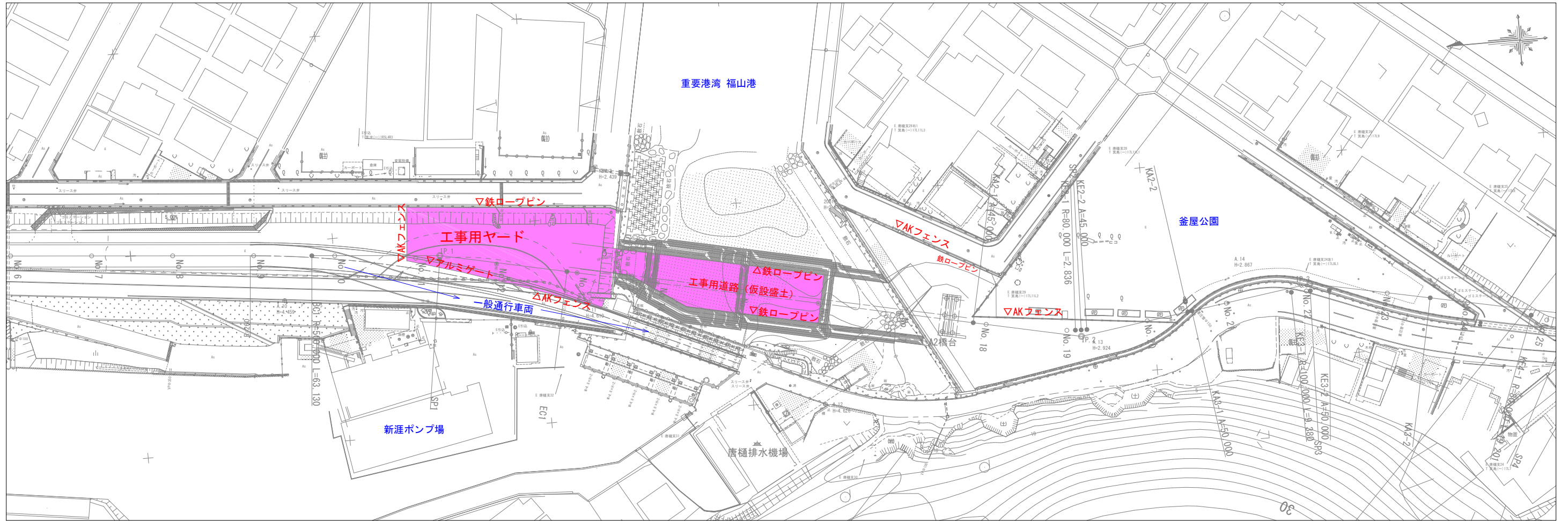


※この図面は実際の図面を約50%縮小している
作成年月 2026年(令和8年)5月

図面番号	参考図3	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	P2橋脚仮締切工 施工要領図	番号	1/1
路線名	新渥美島線(橋梁下部)・8-1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		

工事用ヤード 仮囲い平面図

平面図 S=1:500



※この図面は実際の図面を約50%縮小している
 作成年月 2026年(令和8年)5月

図面番号	参考図4	縮尺	図示
工種	道路改良工事		
種別	工事用ヤード 仮囲い平面図	番号	1 / 1
路線名	新湟箕島線 (橋梁下部) ・ 8 - 1		
工事箇所	福山市箕島町地内		
事業者名	福山市		